京城日報 夕刊 四月二日(月)

すき焼 鳥料理 水炊 本町三丁目 喜久家 電本二三八三

鮮內電力統制の基本調査終る

新興朝鮮の産業合理化を目標に 根本策樹立の前提として

電力統制問題は我國產業合理化の第一歩として今や內地を通して大問題たらんとしつゝあり內地においては政府は將來これをすべて國營とする方針らしくまづ送電線の買收より進めんとすでに內々調査を進めつゝありとさへ傳へられてゐる程である、ひるがへつて我朝鮮を見るに現在總發電所數百五十余のうち營業用七十、この總資本金四千四百余萬圓、電力三萬六千キロワツトに過ぎずといへども近く實現する朝鮮水電(資本金三千萬圓)の十二萬キロワツト長津江電力(資本金一億圓)の廿二萬キロワツトをはじめとして鴨綠江水電(資本金一千萬圓)の一萬四千キロワツトなど大規模の計畫續出し、從來の小規模火力發電は閉鎖して水力第一主義を顯現せんとする機運にあり、こゝにおいて朝鮮總督府はあらかじめこの傾勢に處するの方策を求むる必要あり、目下鐵道局をしてこれ詳細なる實地調査を遂げしめつゝあつたが今般その基本調査を完了した次第である 由來鐵道自體が將來の大需要者であると同時に又農村の電化は早晩招來さるべき運命にある點より大いに統制の必要を感じた結果にほかならぬ、しかも內地における水力電氣事業が漸く飽和狀態に入らんとするの傾きあるに對し、朝鮮のそれは今後の問題であり、豐富なる水力が現在むなしく遊棄せられてゐる點などより近時內地資本團にして漸くこれに着目するもの多きを加へ今や朝鮮の電化は我半島をして原始產業より一躍工業國の高に押し進めんとしずる機運を釀成しつゝあるのでこれ等の事業が比較的結線を纏めざる今日においてこれが統制の方針を確立して置くことは最も時宜に適したものといはねばならぬ

政府の肚決る

不信任案の如何に拘らず 總辭職すべきにあらず 强硬な態度で臨む

【東京電話】田中首相は數日來政界の形勢に鑑み政友會幹部を各別に招き對議會策並に對外對內の諸政策に關しその意見を徵し特別議會に臨む現內閣の對策に資した、その結果首相は左の强硬態度を以て議會に臨むに決したやうである

一、對內策としては結束第一主義を以つて猛進し閣內の統一は勿論與黨間の近接融和を圖ること

一、對外策としては政府に好意を有する實同、中立兩派議員の諒解を得て不信任案一蹴に努力すること

一、不信任案に就いては大體不通過を確信するが政局の進展如何に依つては今後如何に情勢の變化を見るやも計り難く此際油斷なく反對黨の策動を嚴重警戒すべきこと

一、政局急轉して政府の豫想を裏切り不信任案通過の急勢を呈し來るが如き場合は無論黨の主張する政府不信任の意を十分聽いた上で斷然たる態度に出づる方針であること

一、世上にはその際に於ける政府の進退として總辭職を斷行するであらうとの說を爲すものあるが既に總選擧の結果は政友會が明かに第一黨となり我黨の政策を遂行すべき使命に達してゐるに拘らず少數無責黨の向背に依つて不信任案を通過せんとし之がため政局に變動を來すが如きは大多數の國民の首肯せざる處である政府は衆議院を再解散して果して國民は政民何れの政黨の政策を支持するかを問ひその結果を待つて初めて進退を決すべきが責任內閣の採るべき唯一の方策であること

右の通り根本方針が決した模樣であるから昨今再解散が實際問題として可能なるやは第二段の問題としてこの際考慮の內に入れず『不信任案の成否如何に拘らず內閣は總辭職すべきにあらず』との趣旨に立脚しこの主張を貫徹せんためには强硬なる態度に出でんとするもの、如し

大妃殿下の四夫人御招待

李王大妃殿下には既報の如く總督、總監、政務總監、局長各夫人を二日午後二時昌德宮に御招待、午餐を賜ふ御催しとして李王職長官夫人を始め高等官各夫人を御招きあらせられたが同日午後三時御散會になつた

あすは記念植樹

半島の山野を綠の衣に包む

全鮮に滿つる樹を植えよの聲 世界に誇る行事

あすの神武天皇祭は第十八回目の記念植樹の當日である朝鮮に總督政治が確立した明治四十三年の次年から總督が變つても總監が變つても、制度に改變を加へられても、この記念植樹だけは連綿として今日に至つてゐる、過去十七回における成績は植栽本數二億七千萬本その面積九萬町步の多數に達し總督府の櫻、カエデを植栽した個所にしてすでに立派な櫻の名所となり、カエデの名所をなつてゐる所もある又桃木を植栽された個所では立派な桃園を形成した所もあり年一年と綠は濃くなつて朝鮮の山野を綠化しつゝある、記念植樹は既に朝鮮の誇りである、明三日總督府及び山林部では總督府所屬各課の職員總出で總督府裏手の景福宮池畔の地を選び櫻、カエデ等の植樹を數千本植栽する事になつてゐる、當日は山梨總督池上政務總監が夫人同伴で出席植栽する外、官吏市民有志等が二千余名出席して各自に鍬を執つて木を植ゑる事になつてゐる京城でもかゝる催しがあるばかりでなく地方では道、府、郡、面、學校等でも山野に遊歩地に桃木や記念樹を植栽することになつてゐて、全鮮を通ずると三萬の人が出動し一千五百萬本の苗木が五千余町步に植栽される大事業である、そして記念植樹に因んだ主要の人は苗木を街頭にて配布され、それを自宅の庭際に植栽す

南京事件の米支間交涉內容

一兩日中發表の豫定

【上海一日發】南京事件に關する米支間の交涉結果は一兩日中に發表さるゝはずであるが協定內容は大體

一、米支條約に稍々修正を加ふを承認す

二、米艦の南京砲擊に遺憾の意を表す

三、支那側は同じく本件に就きて遺憾の意を表し米、支共同委員會にて賠償並に慰問の策を講ず

四、今後責任者の處罰を爲さず

といふにあるなほマツクマレー氏は一兩日北上歸任することゝなつた

政務總監の碧蹄館視察

傍ら民情を視察

池上政務總監は四月一日晩府下高陽郡碧蹄館に小早川隆景の古戰場を訪ふた、米田知事、李學務局長、藤本學務課長等随行し目下修繕中の碧蹄館を見て後手の高所に登り碧蹄館の甲をかけたといふ古木を見て、郡守の說明を聽取し更に民情を調査する所があつた總監は面長をみると『面長の生活狀態はどうですか』と問ひ白衣の朝鮮兒童が『ハイ』などと內地語で答へると無性に滿足するのであつた、なほ碧蹄館は建ちくされのまゝとなりこのまゝ放棄するときは數年ならずして手もつけられぬ樣になるから總督府は多額の補助を與へ目下人夫を入れて大修繕の工事を進めてゐる(寫眞は碧蹄館に視察記念の植樹をなす總監と碧蹄館)

元田肇老を議長に推薦

與黨幹部も同意

【東京電報】最近與黨の總山、東等中堅幹部連は粕谷義三氏の推薦に鑑み與黨の長老元田肇氏を推擧すべしとの議がおこり政府當局に與黨幹部も大體これに同意してゐる模樣である氏推擧の理由としては與黨の長老として政府としても最適の途を講ずる議理合にあり氏を議長たらしめて今秋御大典に參列の榮を得しめるは最も當を得たることであり、かつ粕谷氏に對する尾崎一派の中立組の反對をも避けうべしといふにある

春の陽ざしを全身にあびて

記念植樹の喜び 園田山林部長

四月三日國民として最も記念すべき神武天皇祭の日をトし住例に依つて全鮮各地に記念植樹を行ふことになつて居る。記念植樹は新政の施行と共に創められたもので爾來回を重ぬること茲に十有八、而に意味深く且愉快なる年中行事として二千萬の人々老幼となく皆之を知つて居る記念植樹はまさしく萌された冬の門扉への春の訪れであつて、水温み草萌えそむるその折柄に行はれるのである、之れを序幕として愉悅に充ちた陽春の行樂は始まるのであるからこれだけでも我に欣び迎へらるゝ年中行事たるに値するのである況んや人々の手に植えられ培れた樹木は年と共に成育繁茂してやがては翠滴る茂林となつて林業の徳を示し或は春は花秋は紅葉の裝をこらして名勝の風致を添ふるに於ては尙更である。今日迄十七回の記念植樹で全鮮に亘り二億七千萬本の苗木を約九萬町步の地域に植栽した、此の簡單な儀式で記念植樹なるものが一片の儀式でもなく又形式でも無いことが明に立證されて居ると思ふ相當の努力が拂はれ顯著な成績を擧げて居ることは何人も之を承認するに吝でないと信ずるのであるがこの催の本來の目的は必しも斯る有形的の效果を收むるの一事にのみ止まつて居るのではない、これよりも寧ろ之に依つて冥々の裡に人々の腦裏に印象せらるゝ樹木愛護の觀念を徹底し普及せしめむとするに在るのである朝鮮に於ては多年の因習と林業の衰退が互に因と成り果と成つて愛上に山林を荒廢せしめた、從つて此の觀念、此の思想が二千萬の人々の胸に根強く懷かれぬ限りは林政上の凡百の施設も將來を期し得ぬ又經營上の苦心も其の效果を擧ぐるに萬全を得ぬ。今秋行はせらるゝ畏き御大典を記念し奉る植樹造林の計畫に就ては過日の各道林務主任官會議に於て明春を期し之を實施する方針を定め今後一兩年間に最善の考慮を費やして最も有意義なる計畫を立て實行の準備に着手することに取り極めたのであつて今次の催は恒例に依るものに過ぎないけれども植樹の精神は何處迄も之を強調して行きたい。京城に於ては午前十時より總督府主催の下に景福宮內慶會樓を中心とした附近の空地に之を行ふことに決し總督、總監、軍司令官其の他の高官をはじめ官民の紳士淑女多數を迎へ觀賞樹や實木の苗木の植栽を請ふ手筈になつて居る。尙參會者の希望に依つては朝鮮松、朝鮮樅、朝鮮山櫻、莪等の苗木を提供する他郁や梅へて居る庭の一隅にでも植えらるゝならば是亦好個の記念であらう

李王殿下

御歸朝期近し 李堈公殿下神戶へ

御渡歐中であつた李王同妃兩殿下には四月九日神戶に御歸着になるので李堈公殿下には御出迎へのため一日午前十時十分京城發の列車で神戶へ向はせ給ふた、なほ李王職長官韓昌洙男松寺事務官長も近く神戶へ向ふと

香港御着

【香港一日發】歐洲御巡遊の途一日夕六時半香港に上らせられた李王同妃兩殿下は香取丸で香港に御寄港あらせられ、二日正午上海に向け御出帆の御豫定である

京城府では延期

八日の日曜に奬忠壇で

例年四月三日神武天皇祭當日施行してゐた京城府の記念植樹は都合により四月八日(日曜)午前十時から奬忠壇公園で行ふ事になりこの植栽地にユノテカシワ、サクラの二種をうえる事になつた

人

◇末內仲藏氏(全北水利組合長)三日朝入城の豫定

◇今村邦典氏(前忠北警察部長)二日朝入城京城ホテルへ

◇今村武志氏(殖產局長)二日朝入京天信樓へ

◇菅山利世氏(黃海道知事官房主事)同上

◇森田糸一氏(朝鮮水電專務)二日夜入城の豫定

◇西田常三郎氏(元山每日新聞社長)二日朝入城旭前屋へ

◇武川盛一氏(殖銀新任滿洲支店長代理)明三日朝京城發

◇町田均氏(遞信省船舶管理局監視官)同部定期檢査の爲一日入城

◇松岡本社長出張中の處二日歸社

◇松本東寬局長 二日西大門町官舍に移轉(電光化門二七四番)

◇古川愈秀氏(江原道理事官)七日出發赴任の豫定

齋藤八十八氏 朝鮮商工新聞社事業部長齋藤八十八氏(同社齋藤社長令弟)は三月十五日以來忠南瑞山郡大山面における齋藤農場に出張中の處卅一日午後七時急性肺炎にて死去

幕末秘錄 劍俠艶魔

(六十) 渡邊默禪

禪機活法

默日船が出てから、風心は彌八に向つていつた。

『おい、彌公は何でも私の話むことはきいてくれるんだな。さういふ約束だつたな。あの約束は反古にはせまいな』

突然だつたので彌八は面くらつた『エ、、そりやアもう、一旦約束した以上は決して反古にはしない、お前の望みとあらば、できることなら何でもきいて上げる』

『ムン、さらなくてはならないはずだ。なればこそ、私もあの日から何でも臭氣をかぎ分けられるの御世話よりなかつたのだな。シテ見ると俺は陰謀師の偽善かも知れない。といふやうな顏で、この船の底から女の臭氣が立つのを不審に思ひ、だん〳〵深淵をしてチヤンと仔細を知つたのだ。聰明いとはできないもんだなア』

『……』彌八はひたとあきれて、靜かに風心の顏をみつめた。

『俺は相手といふことを知らないね』あんな處に押籠めて置いて、只飯を喰はせて置くよりは、外へ出して太飲どんがはりに働かせた方が、どんなに慰勞だか知れないぢやないか。第一當人も助かるし武骨な野郎ばかりの船中に女一人でも置いて見ろ。みんなよろこんで一生懸命に骨を折るぞ。その得分は皆な俺の懷中に入るだらう』

彌八は首を傾げた。

『でも彼女にはいろ〳〵面倒なきさつがからんでゐてなア。どう鬪いをしてか復讐の仇だなんていつちやあ、あぶねえ物騷な眼をしやがるので、うつかり外へ出す譯にはいかねえのだよ』

『それしきのことにびくつく奴がやあ、貴公も余程ヤキが廻つたんだな。女の子に取られるやうなもろい命なら、男の襟につけて置く値打がない。早くたゝみ込んでアノ世へ持つていつた方がいゝ。貴公はつまりあの娘をどこかへ賣飛ばす目算だらう』

『まづさうだ』

『寶物に花を飾れ、できるだけ美しくさせなければ値が安い。大事の玉をあんな便所に押ツ込んで置いたら、鬪素にようされてしまつて買手がつきやあしないぞ。それでもいゝか』

『よし〳〵。出してやる。出してやる。』いや、お前にはいつでもまかされツちまう。恐ろしい小僧だなア』

彼は鬪機活用の香に魅了されてさすが頑固の海賊頭目彌八も小僧がとう〳〵カブトをぬいでお香を暗室から解放することになつた。長い航海の日をモグラのやうに。長い航海に泣きつゞけた彼女に、はじめて明るい太陽の光りとさわやかな海洋の空氣とが惠まれた。その時、姉弟二人は互ひに名乘合ふよろこびを得たことであらうか。否、否。

ら一生懸命、骨身を惜まず働いてゐる。約束を守るのは俺、俺なき者は侍にひとし。孔子もいつたまづその言を行ふて、しかして後これに從ふ。朋友と交るにいふてへども、言は必ずこれを與びたり信あらば、未だ學ばずといふといはんと、な。貴公泥坊渡世を卒業した大學者だが、泥坊學の方ではそんなことは敎へまい』

この小僧、人を馬鹿にしてゐる醜くどころか、しよつちうぷらぷらしてへらず口を叩き、大飯をかツ食つてゐやあがる癖に――と彌八は苦笑ひして

『イヤ恐れ入つた。何か望みがあるならいつてくれ。遠慮なく』

『遠慮なんてえ事が泥坊仲間にもあるかい。ハヽ。不思議だな、外ちやない。ハヽ。あのお香といふ娘を下艙の艙から出してやつてくれ』

『えゝツ』彌八はびつくりしておほきい眼玉をくるくるツと廻轉させた。

『ど、ど、どうしてお前が……へえ』

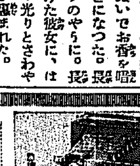
『それは分らあな。私の鼻には雌なはたらきがあつてな、一つタンと鳴らすと三里四方の匂にある雌な

あすの天氣 [3]

豫報	曇一時晴
氣溫	正午 最低

高氣壓は黑古及び北海道方面にあつて朝鮮附近は氣壓の不安定の爲めに一般に曇つて居るが滿洲方面は天氣が良い明日も曇がちである

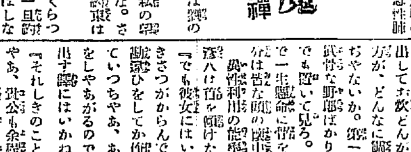
季節向品揃急告
メリヤス類一式、縮クレープ加工品
タオル、ハンカチフ、敷布
男女洋傘、化粧品、諸雜貨
ストロング靴下 アイゼアル靴下 モータ靴下 朝鮮總發賣元
現金卸問屋 京城府南大門通一丁目
瀬戶勝本店 電話光化門五九五番 振替京城二四〇番
相場表御入用の方へ御申越次第贈呈可仕候



歐米各社製 寫眞機材料
奉天浪速通り六番地 直輸入卸小賣 木村洋行
電話長三三四・一五四五 振替大連三六三三
獨逸ツアイスイコン、寫眞機、器具 同カールツアイス、鏡玉、双眼鏡 直輸入
定價表進呈
支店 大連市西通り二丁目三五 電話長六七四九

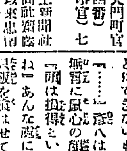
內科 胃腸病 石川醫院
京城明治町二丁目公設市場前 電話本局一三九〇番 三九五九

解雇廣告
中村太兵衛
右の者從來當家帳場(現仲介業)として使用致し居り候處都合に依り三月十日限り解雇致し居り候間弊店とは何等關係無之此段廣告候也
京釜線大田春日町 御料理 富士家 草野富士太郎

特許 吉野式算盤

堅牢輕快優秀至廉
(タカゲロ登錄) 京城府黃金町通三丁目角地
株式會社 伊藤商行 電話龍山二七〇六

チブス!!豫防消毒は?
ハイジン
知名藥店に販賣す

平壤土產
樂浪萬壽 樂浪落雁 浪煎餅
下江黃金堂 電話三〇三番


ペン習字上達法
東洋ペン習字會

東京神田 駿台高等豫備校 高等受驗科

日本自動車學校

世界一周少年フールド君（ゆふべ京城驛で）

世界一周の少年 ゆふべ北行
少年團の迎送裡に 大元氣で京城通過

多年憧れてゐたアドミラル東郷や田中首相にも會見し、非常な歡迎をうけ、たのしき思出の一つになりました 松山で踊つた今年とつて十五歳と思はれぬ程の體格と敏捷な態度をもつて我國朝野の名士と名所を訪問してゐる世界一周のデンマークの少年パールフールド君は一日午後七時四十分京城着第七列車で京城通過北行した、驛頭には田中半四郎氏加藤京城少年團長が多くの少年團員を引つれて出迎へる。そこで時内の名士約數名を加藤團長よりフールド君に紹介するや「サンクユー」とにこやかにほゝ笑む もう後十四日もたてば故國デンマークのコペンハーゲンに着く事が出來ます世界一周をと思ひたつた動機は只學問上だけでは實際の事がわからないと考へたからです、世界各地より集めたお土産の數にはキット故國の人々を喜ばせ驚かす事でしよう」とすこぶる快活であつた

十七階で爆彈破裂
十五階まで破壞さる

【ニューヨーク卅一日發聯合】卅一日當市の十七階建ビルディング最上層で爆彈破裂し十五階から十七階まで破茶苦茶に破壞され階内にあつた仕立工七名は負傷した

どしく殖える朝鮮への御客樣
團體客に親切な旅館がほしいとの要求

旅館は汚いもの辛いものとは昔のこと、今では愉快なものとなつたが、まだく苦勞の種となるものは旅館の選定で、立派な旅館のものは深山出來たが、氣樂に氣持ちよく泊れる旅館は案外に少い、鐵道局旅客課では總ての旅客が滿足するよう絶えず旅館業者に氣をつけさしてゐるが、問題になり易いのは

團體客 に對する待遇で人數が多いと旅館の手が十分に屆かず不愉快ならしめるとがあるしかし内地からの鮮滿視察團體は各鐵道驛内地の不斷の宣傳の効あつて逐年激増し昨年度の約八千四百人に對して今年度は約一萬四千人となり六割餘の増加といふ勢ひである、今後はなほ一層増加しようし朝鮮としては大切な客なので當局も苦心してゐる、觀察團の旅館は鐵道側から指定がなければ鮮滿案内所で適當に振當てる、そして團體から朝鮮における感想を集めてみるがそれを見ると鐵道その他の

取扱ひ は大體好評だが旅館の評判は余り上くないものもあるしかしまた相當の旅館が少いそこで内地の經營者で全國に公認旅館を定めてその使用を鐵道が折紙をつけ旅客の便を計つたならばよからうといふものもあるが、朝鮮では實行出來さうにもない、これが迎送店の様なものであれば取扱ひ數量や感謝料金などで公認非公認の標準が出來るが、何分にも旅館は設備、食事、態度、客へのサーヴイスその他容易なことでは

標準を 設けられぬその上ウカくと指定しては旅館業者の平和をみだすことになるのでこれまで通り、待遇や親切に、食事を興味に、宿泊料を低廉にと注意するより外よい方法がないといふてゐる、なほ鐵道局では經營難のために便宜をはかつて全鮮に指定旅館を設けてゐるが、面白いことにはこれで二、三流の旅館を指定してゐたがとの不評で一流旅館まで指定を希望しはじめ、今では『鐵道指定』の看板が一種の信用狀となつて來たと

日本アルプスの嶮難を御征服
來る五月白峯連峯を 御踏破の秩父宮殿下

【東京電話】秩父宮殿下は昨年日本アルプス中の最難とされる劒嶽の險峰を御踏破され槍や日本アルプスには殿下の御足跡を印する價値ある山はないが唯一ツ南アルプスの白峯連峰が殘り甲斐山岳會では若尾會長先月末上京し宮御殿に伺候し御内意を伺ひたるに差支へなければ登山するとの御意にて目下準備に着手してゐる、御日取は未定なるも五月中旬の白峯を御征服遊ばさることにならうと

急造中の大病舍 けふ愈々出來上る
あす竣工檢査の上で 醫院から患者の引越し

腸チフスの流行につれて京城府が本府補助の下に府立病院内に急造中であつた大病舍は二日竣工し同病舍は腰は煉瓦積、窓も二重ガラスで採光設備その他頗る完備せるものであり三日竣工檢査の上患者を收容する事となるが、現在總督府醫院の普通病室には多數のチフス患者を收容してゐるので、これ等を新病舍に移す事になつてゐる

チフスの總計 九百二十六名
一日までのしらべ

腸チフスの流行も漸次衰へて卅一日は二名、一日は一名の新患者があつたばかりで、累計をみると死亡八十七名、全治四百五十七名發生累計九百廿六名であり今後は流行期となるので、一層防疫につくす事になつて居る

鮮展審査員 けふ發表さる
矢澤弦月田邊至 加藤旭嶺の三氏に

來たる五月十日から開催する第七回朝鮮美術展覽會審査員は既報の如く全部選任されたといふので **斯界の興味** を集め、第一部は東洋畫、第二部は西洋畫、第三部は書の各氏候補の噂などもあつたが二日發表の結果第一部は矢澤弦月（弦月）、第二部は田邊至、第三部加藤太郎（旭嶺）の各氏に決定した第一部東洋畫部の

矢澤弦月氏 は美校出で帝展審査員であり日本畫壇の中堅として知れてをり、第二部西洋畫部の

田邊至氏 は三四年前渡歐してその研究を積んで歸り爾後は帝展審査員として又東京美術學校の講師として、これも現下洋畫壇の中堅である、又第三部

書及四君子 は今日まで東京からその鑑査員を得てゐたのに京都からはじめてその人を得た次第で、加藤氏は山形縣の人はじめ山形師範に學び次いで水産學校に學び水産技師をしてゐたが中途畫道に精進して大正時を作り讀をまなんで大正頃においては斯界の

首席の榮位 を占めて盛名を馳たもので京都においては長尾雨山氏と並び稱されてゐる人であるかくして第七回鮮展は各部とも中堅的な作者である鑑賞家を選定したのであるからその審査の結果にも非常なる興味が持たれるであらう。なほ

鮮展會場は 南大門通り總督府圖書館に決定したが開催者の爲には特にバラツク陳列室を作ることとなつた。なほ審査員は目下交涉中であるから近日中に發表の段取りとなるのであらう

【寫眞右は 矢澤氏左 邊田氏】

世界一周の飛行計畫を否認
リンドバーグ大佐が

【セントルイス卅一日發聯合】リンドバーグ大佐が今春を期して世界一周又は太平洋橫斷飛行を計畫してゐるとの報道に關しリンドバーグ大佐はサンヂエゴに向つて出發するに先立ち昨日之れを否認した

野田爭議團員 廿餘名を檢束
上京請願の途中で

【野田電報】野田爭議團員および家族は爭議解決の最後手段として請願の爲に出づるに決し約二千名は一日午前九時江戸川縣堤の金杉町に集合徒歩上京せんとするところを警官隊に解散を命ぜられ二十餘名の檢束者を出した

JODKが波長の變更
十キロ放送に伴つて けふ試驗放送開始

全鮮の鑛石化を目標に東京外六大放送局は聽取料を整ふと共にいよいよ近く十キロ大放送を開始するといふ事になり波長も三百四十五米乃至三百四十米を使用することにきまつたが京城放送局の波長も三百四十五米は十キロ放送開始のあかつきは波長變更の約束で割當てを受け遞信局試驗室で研究を重ねてゐたが長いところは東京波長との關係で使用困難であり又三百三十米附近は電波の感度が隨分變化するのみならずフエーヂングといつて地方では電波の感度が隨分ず從來無線の火花式三百米から受ける混信もかなりあるので十キロ放送波長帶内に割込んで三百六十六米を採用することに決し二日から試驗的に放送させてゐる、この波長は現在の名古屋三百六十米放送局の三百六十一米と相似よつてゐるので選擇性に富んだ受信機でなければ地方では分離困難かも知れぬが京城の三百四十五米大阪の四百米（十キロ放送）の中間となるので兩局に對しては好都合である

妻を殺した男
控訴を取下ぐ

忠南北鎭管邑面蘭紅里一〇三ノ三韓鍾澤（三〇）が六年前同面堂里朴才里村藝治の二女當時十二才の少女林玉年と結婚し同棲して來たが高鍾澤は性的關係から同女を嫌惡してゐた折柄昭和二年十二月一日飼育の小犬が逃去したのをきつかけに同女の不注意を詰り炊事場においてオンドルの火掻きの棒を以つて毆打し倒れた處を更に食刀を以つて同女の咽喉を數回突き刺し口腔内右脇等數ケ所に創傷を負はせ慘殺した殺人事件は公州地方法院で懲役五年を言渡され京城覆審法院に控訴し近く高木裁判長係村檢事立會で開廷の筈であつたが被告高は卅一日右控訴を取下げ第一審の刑に服した

スミルナ大地震
死傷者五十餘名を出す

【コンスタンチノープル卅一日發】スミルナより當地に達した無電によればスミルナ地方に地震起こりスミルナ市街地の四分の一は破壞し電信不通となり死者二十五名負傷者二十九名を出したと

電車の正面衝突
重輕傷十六名を出す

【名古屋電報】一日午前零時四十二分愛知電鐵熱田驛發岡崎行き電車と岡崎發熱田行電車は鳴海驛附近で正面衝突し車體大破し十六名の重輕傷者を出した原因は待ち合ぜ中ブレーキかゝらぬ爲である

大番狂はせ
二十圓配當が二回 第一日午後の競馬

盛況裡の競馬大會は第一の人氣を集めてゐるが、第一日目の一日は入場者八千八百三十三人、勝馬投票數二萬四千三百六十二、配當七千九百八十七、配當六萬六千二十一圓で平均四圓六十餘錢であるが最高配當金の二十圓が二度もあつて番狂はせを演じたので第二日の三日は一層盛況を見せるであらうなほ大四競馬からの記録は左の通りである

第四 競馬 古呼馬（一哩八分一）出場數九頭
一着 アラナミ（騎手山田）タイム二分七秒
二着 ミツク（騎手中島）着差一馬身
三着 タンク（騎手藤村）着差半馬身（配當金八圓七十錢）

第五 競馬 本倶樂部抽籤新馬（一哩八分一）出馬數五頭
一着 マルト（騎手平田）タイム二分五秒
二着 マツカセ（騎手竹田）着差六馬身半
三着 シユンプウ（騎手中島）着差首（配當金三圓）

第六 競馬 古呼馬（一哩四分一）出馬數九頭
一着 ハツユキ（騎手平田）タイム二分十八秒五分二
二着 マルニシ（騎手有吉）着差五馬身半
三着 ヨリトモ（騎手福本）着差七馬身（配當金四圓三十錢）

第七 競馬（甲） 新呼馬（一哩四分一）出馬數五頭
一着 アケボノ（騎手池ノ平）
二着 サクラヤマ（騎手山澤）タイム二分二十一秒 着差二馬身半
三着 ルイース（騎手福本）着差七馬身（配當金五圓二十錢）

第七 競馬（乙） 出馬數五頭
一着 イソナミ（騎手古澤）

タイム二分二十六秒六分一
二着 デトラヤーク（騎手細川）着差一馬身
三着 ナガサキロウ（騎手藤村）着差六馬身
イリナミよく拔き大番狂はせを演じ投票二千百五十に對し的中百二十六で配當金も最高の二十圓

第八 競馬 古呼馬（一哩八分一）出馬數六
一着 キリス（騎手有吉）タイム二分六秒
二着 カチドキ（騎手竹田）着差一馬身
三着 アリアケ（騎手福吉）着差七馬身半（配當六圓七十錢）

第九 競馬 倶樂部抽籤馬（一哩四分一）昌德宮賞典附出馬數八頭
一着 タイヤ（騎手竹田）タイム二分二十二秒
二着 フリー（騎手中島）着差七馬身
三着 シンイワキ（騎手山田）着差八馬身（配當金五圓六十錢）

第十 競馬 古呼馬（一哩四分一）朝鮮總督賞典附出馬數六頭
一着 カオー（騎手細川）タイム二分二十一秒五分四
二着 サンライト（騎手竹田）着差五馬身半
三着 ハヤカゼ（騎手中島）着差六馬身（配當金二圓三十錢）

第十一 競馬 各抽籤倶樂部馬競走（一哩二分一）出馬數六頭
一着 フシト（騎手藤村）タイム二分三十六秒五分二
二着 トヨシマ（騎手細川）着差二馬身
三着 シボレー（騎手池ノ平）（配當金二十圓）

第十二 競馬 古呼馬競走（一哩四分一）出場馬三頭
一着 ホールスキング（騎手竹田）タイム二分四十七秒
二着 スリーキヤツスル（騎手有吉）着差二馬身半
三着 メトラ（騎手山田）着差大差（配當金二圓四十錢）

うれしい入學 けふ京城第一高女て

京城醫專合格者

（受驗番號順）戸田消十郎、岡本良男、白石大、前田孝雄、寶本憲明、岡元太二、永井太郎、藤榮鉉、内藤全生、金晉榮、肥留川健三、朴應天、二反田三郎、山崎貢、分島外、安容奎、巖戸力、栗秋要、隅谷岡、森田治八、小島正錫、村田一、今村六郎、宋龍𤅷、桝井安治、坂倉保、三浦一三、姿案珪、高松澤三郎、尾崎夫、河野武、井上芳雄、延時忠男、劉桑、市川重臣、杜榮寶、杉田際紳尾雄、宇多村寶、金剛淳、真付芳三、西本健、中村春雄、安株進、内藤健太郎、黄治

…中垣久男、岡本節、堀川猶治、古賀柾、服部龍夫、向信明、玉野一雄、崔淳玉、李花萬、横山京介、松本徳夫、向鶴、保田宗武、猪川瑞弟、高木秀雄、石田保、川田武明、李鍾鎮、幸川龍八、張鍾毅、申鉉直、田村一男、白南福、金承浩、鄭良相、李貫芳、出羅世、近藤明、金昌榮、朴榮朋、吉崗誠、布本宏明、金善成、龜井秀城、金裕俊、千藤威、関泳井、小島隆遠、張起呂、尹鐘厚、廣瀬重信、崔正源、金鍾洙、朴興根（以上九十名）

京城高工合格者

【受驗者番號順】

▲紡織學科（十一名）姜禹馨、尾野治男、長井良治、兼清生男、荻原外、金再鼎、李昌植、辛宗源、内田武夫、中村登久雄、河合良一

▲應用化學科（十四名）小西尚、甲本丈夫、李羲洙、犬飼秀一、田隈鋪、北村英雄、李晟亮、松村武次、張基□、石井破雄、洪丽珍、伊藤正統、新木佳之介、大場八洲

▲土木學科（二十名）富田進、篠原卓二郎、浦上松蔵、清水一、趙文煥、阿武顯治、吉谷信夫、大原兵造、趙永祐、三浦滿、久常準也、受甲榮、加藤穂、佐藤吉太郎、藤澤昌、田島英男、大和大式、原昌俊、杉原忠雄、横山正德

▲建築學科（十四名）岩谷嗣、五十嵐錦一郎、内藤四郎、錢谷弘、金河續、山岸正滿、山本堯光、渡邊勝、篠原勉、井上千勝、白井直治、金元碩、森山正、北村計三

▲鑛山學科（十名）安川哲、池見龍一、緒方一、迎南田雄、劉鎔、横山皎、村上榮治、山口勇、増田秀雄、湯下健三

關學快勝 5—1
一勝者勝頭戰

【大阪電報】選拔中等學校野球大會第三日の一勝者戰關西學院中等部對甲陽中學の試合は午後三時十分甲陽先攻にて開始、五A對一にて關西學院中學部勝つ 試合終了五時十七分

松商勝つ 6-3
對平安中學

【大阪電報】平安中學對松山商業の試合は松山先攻午後零時十分開始、六對三で松山勝つ 閉戰三時

和歌中勝つ 9-0
對松本商業

【大阪電報】和歌山中學對松本商業は二日午前九時十分和中の先攻で開始結局九對〇にて和歌山大勝す 閉戰十一時五十五分。

四日目組合せ

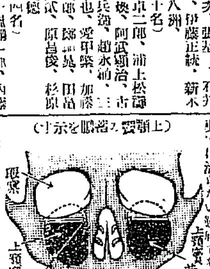
【大阪電報】全國選拔中等學校野球大會第四日目の一勝者戰組合せは左の通り決定した
二日午前九時より 松本商業對和歌山中學
正午より 松山商業對關學中學部
午後三時より 愛知商業對高松商業

小島の會

四月三日午後一時より南山町松葉亭前永井小島店樓上に於て京城島の會例會開催廣く一般の來觀を歡迎する

人間を不具や白痴にする
鼻病の難症
慢性蓄膿症と 肥厚性鼻炎を 切らずに治す藥療法
來れ
何度切つても再發する人
種々藥を飲んでも治らぬ人
鼻病の爲め成績の悪い學生

慢性蓄膿症や肥厚性鼻炎は大金をかけ苦しい手術を忍んで切開手術を施しても再發し易くかつ飲み藥では治らない難病である然るに今回この難症鼻病を切らずに治癒せしむる効力卓越の眞藥が醫學博士の多年の努力によつて完成され斯病患者に福音を齎す事になつた

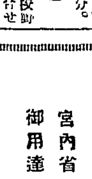


本劑は甲乙二種を以て一劑を成す本劑の科學的組合化學療法で從來の鼻病藥とは根本的に相違し飲み藥ではなく鼻孔より吸入し直接患部に浸透して奇蹟的効果を收める良藥である されば膿汁が出なくなり…

東京市芝區南佐久間町二ノ十八 信誠堂藥品部

李王家御用達の恩命を拜せる「味の素」

宮内省 御用達



宮内省御用達鈴木商店の發賣致します味の素は、最良の調味料として斯内外にその名聲輝き、益その世界的たるの實を加へて居りますが、今般畏くも李王職より李王家御用達たるの光榮を賜はりました。弊社は恐懼この難有御恩命を拜する當り、茲に各位に謹告し、以てその欣を分たんとする次第であります。

本舗 株式會社 鈴木商店
東京・大阪・名古屋・上海・紐育

株式名義書換停止公告
當社定款第十六條ノ規定ニ依リ四月一日ヨリ本期定時株主總會終結ノ日迄株式ノ名義書換ヲ停止致候
昭和三年三月卅一日
朝鮮煙草元賣捌株式會社

春の流行ご
洋服代の節約
丁子屋のレデイメードをお召になれば洋服代は三割以上節約が出來る——しかも——仕立は高級、柄ご型は本年流行界の先驅……
春のレデイメード
背廣三揃 三九、〇〇—五五、〇〇

京城南大門通
丁子屋洋服店

新特徴を具へた 新シボレー號
全國百餘の販賣店で 三月卅一日一齊に發賣

昨年日本で最大の賣行を以て斯界を風びしたるゼネラル、モータースのシボレー號自動車は今年の新製として『一九二八年式新シボレー號』を製作し、三月三十一日を以て全國百餘の都市における同社の販賣店で一齊に發賣することになつた。一九二八年式新シボレー號は世界最大の自動車製造會社の一大功績といはれるほどであつて左の刮目すべき新特徴をそなへてゐる。

◇この新車の三大特長とも稱すべき點は、その外觀の美と作動の圓滑と經濟的節約とにあるといはれてゐる。しかしてこれらの長處は完全に試驗すみの機構をおされてゐるのである。

輪距が長くなつて車がずつと大きくなつた。

運力と動力とが一層強大になつた。

四輪ブレーキを取附けて安全の度を增した。

フキツシヤー會社製車體は從前より長く廣くなつた。

光彩陸離たる新しきデユーコ塗を施した。

發電式冷却裝置と緩衝式座席を採用した。

發動機防振裝置と間接照明式器具裝備盤。

◇新シボレー號は其輪距が從來より四吋丈け長くなつて百七吋となつたので一見大型自動車の觀を呈した。構造もフレームの鋼材が從來より分厚く頑丈になつた爲め一層強大の感を增した。

◇自動車の調和とも稱すべき正面の放熱器は、新式の上品な輝く鍍銀き意匠に成り、カツルからラヂエーター、キヤツプの端まで殆ど水平の一直線を呈するに至つた

◇放熱器は不銹鋼飛行機用金屬で作られ溫度式の冷却装置は新特徴の重要なる一つである

◇輪距が四吋だけ長くなつたと同時に車體の寸法も增しセダン型ボデーは二吋四分の三だけ長くなつた

◇車體内の新改良點としては全部包封されてかつ間接照明になつた美しき儀表板の器具裝置があり、スピードメーター、アムメーター、オイルゲージ等は晝夜ともに最も見易くなつた

◇凡ての乘用車の新型は其標準裝置として、三十吋對四吋五のバルーンタイヤーと鋼鐵製圓盤式車輪とを有する以外に、スポツト、ライト、後部映寫鏡、ガソリン計器完備せる小道具一式、盜難除操舵器鎖火藥用鍵等を有してゐる。

◇新型ボデーは全部有名なるフキツシヤー會社製で、鋼鐵及堅木構造に成り、數種の美しきデユーコ塗色の取合せになつてゐる

◇潤滑油喞筒は凡ての軸承の表面に滑油を送り、AC空氣清淨器とAC滑油濾過器は完全に發動機の全運轉部分を保護してゐる。

◇新型四輪制動機のノン、ロツキング、タイプで最も確實なるブレーキ並に百八十九平方インチの全制動面を有し、外に手動の緊急用制動機を有する。」

◇新型機械仕掛輪形緩衝器はブレーキと並行して取つけられ延長されし全輪距の八十四パーセントに該當する。新型車は直徑十七インチの細き胡桃製操舵輪を有し、球狀軸承推力もまたこの操舵輪に裝置されてゐる。

◇御動機、自由關節、後車軸、電氣裝置、後部に安全油槽を取附けたる眞空給送式燃料裝置は、同會社が此新車につき特に高調する特徴である。

◇本車のシヤシーは新式の特に頑丈なる前車軸を有し、其の給油はアレマイト式壓搾注油器によつて行はれる。而して凡ての新モデルは車鋼製の一枚造り丸型打拔泥除を有する。

春先の神經衰弱と 綜合的の療法
＝藥食物及機械的療法＝ ＝最も必要な精神療法＝

春先と神經衰弱といへばこの頃では余りにありふれた事になつてしまつたやうではあるがその患者にとつては全く氣の毒な事であり、殊にそれが人事關係や社會關係や生活にからんで死へと急ぐ人の多くを見るなどは全くわらひごとや戲談としてはすまされなくなつた。然し問題は何といつても治病と豫防に本人自らつとめる以外に方法はない今日ではあるがその療法の要點を改めてしるすのも、時節柄無駄ではあるまい。まづこれには大體からいつて藥物的療法および機械的療法とに治療をわけることが出來やう。然しいづれかの一つ又は二つのみでもこれを治療が最もよい結果をもたらすものだと思ふ。今各の療法について概説する

藥物的療法 ―醫者は專らこれを行つてゐる。簡約すれば疲れた神經系統を整理して、平靜ならしめるために内服又は注射をするのである。それには鎮靜劑としてのブローム劑類の如きである、然し徒らに睡眠のみを目的として多量に鎮靜劑を用ふることはよくない。又これのみを以つて療法として遂行させることはよくない。又鎮痛劑を用ふることもあり胃腸藥や強壯劑としての藥、神經強壯劑や消化劑等も用ふる要もある。

機械的療法 ―冷水摩擦や乾燥摩擦や入浴等によつて皮膚の抵抗力を強めることで、これには多少の精神療法も加味されなければなりません。」

食物療法 ―なるべく淡白で滋養に富むものを多くとり時間および分量等をも出來る限り一定し、規則正しくこれを厳守し、刺戟性飲食物は一切これを排するなども必要である。

精神的療法 ―これは何病によらず療養中最も必要で患者自身が自己の疾病を驅逐すべく堅い決心をしなければならないのは他の病氣より遙に重要性をもつてゐる。」

學窓を出て（5）
自分の料理を ほめられる嬉しさ
平凡を愛する幸福 圓城寺俊子さん

◇『平凡を愛する者は幸福である』こゝは永樂町海上火災保險會社京城出張所の階上です『平凡にすごしましたのでこれといつてとれる』圓城寺出張所長の令嬢俊子さんは平凡のみが持つ幸福さを味はつてをられます。」

◇『京城で女學校にかよつてゐましたが二年生の時父がこちらに轉勤しましたのでついてまいりました初めはお友達がなくほんとに一人ぼつちで隨分さびしゆ御座居ました、その當時は東京が戀しくて歸りたいと思つた事は一度や二度では御座居ません

◇第一高女の三年生に轉校しまして、さびしさはうすらぎほんとの京城がわかる頃になりました、住めば都…古い言葉ですが實際その通りです

◇昨年四年を終了致しました時是非上級學校にと思つたのですが父母がはなしませんので五年にまいりました、もう一年で學校生活のすべてを終はると思つて一生懸命に勉強をと思つたのですがやはり遊んですごしました今春卒へますと自分の意志の弱かつた事がつくぐ〳〵うらめしく感ぜられます

◇何がすきとおつしやつても平凡な私の事ですから……でも音樂が一番すきです。しかし私は下手ですの……いゝ音樂をきいてゐますとほんとに嬉しいものです

◇次ぎは料理や裁縫か……時々母が一日の獻立を私にいひつける事があります、その時は喜んでならつたありつたけの材料でこしらへます……食事の際『おいしい』といはれますとうれしくてたまりません

◇卒業後は家庭に——と夫人のいはれるまゝに俊子さんは家事の手傳へをするときゝます（寫眞は俊子孃）

信春の『皿屋敷』
京劇所見

◇……女優陳茂尾信治一行の京劇初日を見なかつたが二日目に、のぞいて見た。」

◇……だしものは『大爆彈』『皿屋敷』『悲劇』である。女優ばかりの芝居だから、演技や時代がゝつたものは無理な方が無理、從つて『皿屋敷』などはこの一座に似合のだしものである。」

◇……皿屋敷は綺堂の新作によつたもの。信春の青山播磨、花若の腰元菊。

◇……信春の播磨も、花若の菊も大體において意氣が合つてよく出來た。殊に花若の菊は、皿の數を數へるあたりから嫉妬にかられて、いろ〳〵と妄想にかられる表情の變化、それから大事な皿をわつて、男の心を試さうと決心するまでの氣持の變化、悶え、さうしたものが、女ならではと思はるゝまでにこまかく表現された。」

◇……菊の期待通り、男の愛の強さをため得た時のよろこび、皿を故意に割つたことが發覺した時の驚き、さうした時の心の變動も自然でよかつた。

◇信春の播磨は熱情的な男の持味といふものが充分出ないのは、女優といふことに免じてやむを得まい。白も科も相當にこなれて居て、よく出來たといつてよからう

◇……この新作皿屋敷を選んだのは聰明といふべく、怪異殺伐な皿屋敷とちがつて戀愛劇の要素が、豐なかしかつたのは、これ女優の持味が出たものとしてうれしかつた（詢夫）

映畫

マキノプロダクシヨン御室スタヂオ超特作 西城寛太郎氏原作脚色

（時代）映畫『強者』全十巻

總指揮……マキノ省三　原作脚色……西城寛太郎
監督……西城寛太郎　監督……稲葉蛟兒
撮影……佐々木吉太郎　撮影……田中十三

◇…キヤスト…◇

松石平馬…嵐長三郎　父伊豫…尾上松緑
弟庄三郎…マキノ梅太郎　姉絹野…松浦築枝
松平忠直…金子新　太河原軍兵…児島武彦
大河原源八郎…川島清　蛇の清五郎…波田品
蟹蛇の三太…市原義夫　下僕呑助…大岡怪童
浪人荻原…小岩井昇三郎

◇梗概……越前福井七十五萬石松平三河守忠直の城下家老松石伊豫の息平馬は出府後三年振で故鄉の土を踏んだ。その頃伊豫は城中で忠直の逆鱗を諫言する事も出來ず家中の者から奸臣と見られてゐる事を知つた平馬はさすがに悶々鬱い思ひで父に對面した、弟庄三郎や姉の絹野はそれをどんなにか喜んだ、だがそれも束の間…父の部屋から親子の爭ふ聲が聞こえて來た平馬は父の意氣地ない樣が腹立しかつた、血の親子でありながら融合ふ事の出來ない自分を悲んだ、そして不幸な父子の生活が再び營まれる事になつた、けれど平馬は絹野との戀の芽ばへに幾分かなぐさめられてゐた、或日忠直は狩倉の歸途絹野を見そめ側女に所望した平馬はそれを知つて父や弟の爲にと絹野をつれて家出した事から弟に誤解される身となつた間もなく城中からは死體となつた伊豫が運ばれた平馬は涙をのんで父の死骸をだいて我家に歸らんとした時庄三郎は追つ手の爲に形切れて居た一家の爲に盡くすべく歸つて來たおのれがため死んで行つた父や弟のなきがらを抱いて平馬はたゞ暗涙にくれるばかりであつた（寫眞はその一場面、九日から大正館上映）

東亞の『極東俠客傳』もよく近く完成して花時には公開と決定。」

映畫界スナツプ

◇ワーナー、ブラザース社は超特作『マノン、レスコオ』の撮影でルイ十五世王朝時代の風俗を完全に現はすため佛國々立博物館所藏の衣裳等から模寫複製したが此の爲め五萬圓餘の保證金を政府に供託したと。

◇昨年末からその公開を期待されてゐたフオツクス社の『カルメン』は愈々邦樂座、東京舘に封切られる。ドロレス、デルリオのカルメンは斯界賞讚の名演技『カルメン』役者中の白眉

◇溝田本年度力作の一つ、モーパツサン原作の翻案『女の一生』近日完成

◇ファスト、ナショナル社の怪奇の探偵劇『ゴリラ』に出て來るゴリラは眞物の樣でもあり、人間が扮してゐる樣でもあると取りぐ〳〵これは正に本物でゴリラ仲間の名優だと云ふ話、尙ほ米國には玄關で客の取り次ぎをするゴリラのボイさんが居るさうだ。

◇日活春季超特作蓋を開けたら『續篇水戸黄門』矢張り池田富保氏は日活時代劇の第一人者である。

肝油の殺虫 殺菌力

肝油は藥品としてゞなくこの頃では榮養品としてよく用ひられるやうになつた。然し更に最近これは殺虫力をもつてゐる事が佛國の獸醫ドクトル、ラング氏によつて發見された氏の報告する所によれば、これを牛馬の創傷部に塗布した時このんでこれに群集する蛆を死滅又は驅逐させるから何等消毒劑を施さずして日光療法を施す場合などには頗る妙でバクテリアの侵入をさへ防ぎ得られる、又犬猫等の虱も肝油によつて充分死滅させる事が出來るからこれに使用することもよい。更に沼澤や溝渠などにこれを撒布すると石油と同じ性質によつて水の表面に薄く擴がり蚊の幼虫を殺すに妙を得てゐる。しかもこの作用は石油よりも強くかつ蒸發しないから有効期間においても長いといひ得られる

JODK プログラム

四月三日（火曜日）『神武天皇祭』

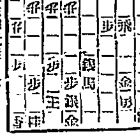
午後〇、三〇　お伽狂言源なほし　ひかりお伽會
一、〇〇　洋樂レコード數種
一、五〇　天氣豫報
二、〇〇　ニユース
六、〇〇　童謠獨唱　カナタ會員
映畫解說『旅浪』　ピアノ 表澳鐘 金永煥　P、S管絃四伴奏
伽倻琴並唱數種　沈相健
七、三〇頃　ニユース其他
セロ獨奏
1、ローマンス（カンパグノリ作）2、メニエツト（ダンベ作）3、スケルツオ（ゴーン作）4、トロウメライ（シユーマン作）5、メニユエツト（ボツケリニ作）6、コンセルトマヅルカ（ポツパー作）
ピアノ伴奏　高勇吉　金永煥
モダン掛合旅行漫談　橋本文枝　柳亭燕路
常盤津戻り橋　常盤津常盤太夫　同 松世志
小唄おけいこ講座（二）　後藤紫琴
時報、翌日プログラム發表

將棋新手合（五）

於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四 將棋研究所

左香落　△三段 志澤春吉（東京）　▲初段 市川一郎（東京）

（圖は前號指了の局面）



持駒　△志澤氏 角歩　▲市川氏 銀歩

△四九角成 ▲四三歩成 △同金 ▲三二飛成 △五三金 ▲六二銀（ソ） △三一歩（ツ） ▲一二龍 △五二歩（ネ） ▲六一銀 △同銀 ▲四二龍 △七二銀打 ▲四四歩（ナ） △一九龍（ラ） ▲四三歩成 △同金 ▲同龍（以下次號）

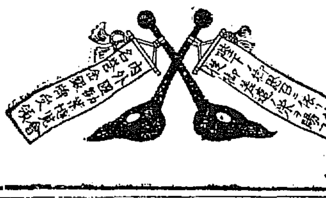
（ソ）▲六二銀打は、強い攻め手である

（ツ）△三一歩打は、敵龍を逃むつゝ防禦の手がゝりを造る意味である

（ネ）△五二歩打は、已むを得ない受け手である

（ナ）▲四四歩打は、堅實なる攻め手で當然の着手である

（ラ）△一九龍は、別に受け手がないから當然の手である



多木肥料

㋹印 九重肥料　しき島肥料

色の白いは七難かくす
隠さず云へば
牛乳石鹸の
愛用なのョ

ホーサン入
牛乳石鹸

皮膚の美を養ふクラブの
カテイフード
クラブ洗粉本店新發賣
美容學上最新最良の文化的美身料
正價 金二十五錢

誠
誠に良い酒は
誠鶴
仁川 深見釀造場
誠

あすの祭日は丁子屋へ！

第一高女及各女學校
京、龍、中學校御制服

通學服と新型子供服

新學期用文房具類何でも揃ひました。

洋傘とショール　新柄セル陳列　階上

京城南大門通
丁子屋洋服店

列車時刻表

昭和二年十一月一日改正　价川鐵道株式會社

下り

列車番號	11	1	3	5	21	7
接續		釜山ヨリ 急 7.58 定州ヨリ 混 3.24	平壌ヨリ 混 10.00 10.30	奉天ヨリ 急 12.22	安東ヨリ 混 2.34 新義州ヨリ 混 3.46	釜山ヨリ 急 5.44
新安州發		前 8.30	前 11.15	後 12.5[illegible]	後 3.50	後 6.15
安州着		8.40	11.34	1.0[illegible]	4.09	6.34
安州發		8.51	11.35	1.1[illegible]	4.12	6.35
北松里發		9.08	11.51	1.[illegible]7	4.29	6.51
龍興里發		9.31	後 12.12	[illegible]	4.50	7.12
球興里發		9.50	12.30	[illegible]	5.0[illegible]	7.30
价川着		10.17	12.57	[illegible]	5.[illegible]5	7.57
价川發	前 8.06	11.00	1.15	[illegible]		
東興里發	8.15	11.10	1.25	[illegible]		
泉洞着	8.29	11.24	1.30	[illegible]		

上り

列車番號	2	4	10	20	6	8
泉洞發		前 8.30	前 11.39		後 1.54	後 5.09
東興里發		8.54	11.54		2.09	5.24
价川着		9.03	後 12.03		2.18	5.[illegible]
价川發	前 8.00	9.20		後 1.00	3.20	[illegible]
球興里發	8.28	9.49		1.28	3.50	[illegible]
龍興里發	8.51	10.12		1.51	4.12	7.16
北松里發	9.09	10.29		2.08	4.30	7.[illegible]
安州着	9.24	10.44		2.23	4.45	7.48
安州發	9.25	10.46		2.25	4.47	7.49
新安州着	9.44	11.05		2.44	5.06	8.08
接續	安東行混 10.46 11.08	釜山行急 12.25		平壌行混 2.53 定州行混 3.56	奉天行急 5.47 平壌行混 6.47	定州行混 9.20 釜山行急 10.17

時の人

財界七新人 (四)

…本府商工課長…

兒島高信君

…が財務で河内山樂三が財務局長の責任が退職へ出れば立派な財界人だとすれば、現在の官人を立派な財界の財務局長に見立てると同時に、立派な財界の財界人に見立てゝもわるくはあるまい。どうせ將來のことだ、官吏でおはるか民吏でおはるか「吏」たる最大公約數は生涯抜けて落ちはしない。わが新商工課長兒島信君は暇なこれ。◇

京畿の第一回卒業生として、總督府の先輩だ。一歩から東大を經て大藏省々事務官として生ひ育つた兒島君の、寧ろ公先の節倹もうるはしく、經綸浦らてもとのねぐらの總督府へ、大正九年二月に歸つて來たといふ腹藏だ。東京を立つとき本來なら「赴任」とあるべきを「歸任」と總督府の人事往來が誤解した經緯はないのだが、實はまだその時兒島君はホンのボン〳〵。◇

本府へ「歸任」して總務、事務、財務する間、本府と機關を總めらるゝこと暫く、鐵道事務官で朝鮮總督府事務官の次位を占むること、やゝ久しく、初頭此たび総督府の人事往來に兒島との人となつたのだ。どこがあの人にいゝだらうといふものあらばそれだけのことだが──

商工課長の仕事の全部は財界人の仕事の全部だ、取引所の問題はもちろんのこと、金融組合の合同だつて、總督府も赤字まかせでもあるまいし、關係する所は商工會議所に任せと限らぬし、商工會議所法をどうするかなど、などといつたやうな問題も兒島君、新任の腕にそむくやうに随じて見らぬところが身上だ。

ふものあらば勝ち手にたどかぞんなに悪いかと問ひ返す必死の覚悟である。けれどもたゞ今までのところ、そんな必死の覚悟はいらない様子に見える。」

運合問題の前途

内通合同實現と

荷主の諒解を得て促進するか

朝鮮運送合同會社の創立に就し、反對派では到底實現せぬものと觀測し、實現運動に障りかゝつて目下行き惱みの狀態にあるが、しかし朝鮮の國際通運會社の新重役にした平田國際運輸常務および吉田内國通運常務が入つたことは朝鮮におけるの運合問題の前途を明るくしてをり、兩三日中に内國通運、國際通運兩社の現金出資に對する既定の合同規約に對する注文が決定するはずである。しかし前社としてこ荷主の反對を押し切つてまで合同を敢く必要はなからうといふておりまず荷主の諒解を求めることを先決問題としてゐるので、合同會社が實現するにしても相當の時日を要するであらう。また合同が實現しても貨物取扱及び規定の作成その他業務開始上多大の手數を要するので、業務開始は早くて來年の四月になるであらうと觀測されてゐる

手形交換増加

京城手形交換所、三月中の手形交換高は十萬四千六百二十七枚、五千五百五十一萬八千餘圓に達し前月中に比して一萬六千九百二十枚、六百七萬二千餘圓の激増を示した内譯左の如し(單位枚千圓)

小切手	五萬三千六百	四萬六千	[illegible]	[illegible]
爲替手形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
約手	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
政府小切手	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵便爲替	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公債々券				
同利札				
雜證票	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

一般商況が相當活潑に轉じた事に原因するものである。即ち取引が活潑になつたことなどによるがなかんづく小切手の狀態に比較して五百萬圓を増したことが注目である。總じて今後商取引の狀態が活潑なるにつれて益々交換高は増加するものと觀測されてゐる

不渡手形激増

京城手形交換所三月中の不渡手形は人員二十九名六十一枚二萬五千二百八十一圓八十八錢にして前月中に比し十四名四十枚一萬六千八百九圓四十一錢と何れも激増した

依然行惱

大洋票整理

北滿財界混沌

【ハルビン電報】哈爾賓大洋票の整理案は、奉天票の整理案を遷延し、張行政長官がさきに中國、交通の兩銀行より五百萬元を支出して貰ふこと、吉林省より六百萬元を支出して貰ふこと

の二項は劉參天省長の奉票整理の命により根本から覆され東支鐵道大洋建も全く行惱み、これがため五千萬元の不換紙幣を濫發してゐる、大洋票の前途はます〳〵暴落を許さず、北滿の經濟市場は尚ほ混沌たるものである

安炭坑

復舊工事竣成

出炭五萬トン

安州の安州炭坑は一昨年坑道陥落以來出炭高が二萬トンに減じたので、鑛業復舊を急いでゐたが今回工事の完成をつげた、この結果產炭高も本年からは一躍五萬トンに増加する見込である、なほ採掘中の坑道で報告無煙炭、陽離する良炭層を發見したので目下採炭を續けてゐる

朝鮮生命業績

淡銀缺損切捨

朝鮮生命保險は來たる五月上旬定時總會を開き、八朱配當案(據保ノを附議する事になつた、同社は淡銀との關係で東拓の噂があつたが今期淡銀は淡銀整理に關聯して手持有價證券が々約九千圓切落したにも拘らず純利益は二萬一千二百八圓を計上し保險契約者配當は前期より二、三厘方の増收を示した、假決算による利益金處分案左の如し

▲二萬一千二百八圓利益金▲一千五百圓法定準備金▲二千圓役員賞與金▲一萬圓配當金(年八朱)▲六千二百四十三圓契約者配當▲六千九百十二圓從業者退職手當▲七百七十圓後期繰越金

前年度の

工事契約

三千四百萬圓

昨年度の朝鮮工事契約高は總額三千四百卅一萬六千八十三圓で之を前年度に比すれば九十三萬六千百六十七圓の増加で大正十四年度に比すれば一千三百二十六萬八千三百二十六圓の激増で更に大正十三年度に比すれば實に二倍以上の勝盛を示し一千九百十四萬三千四百五十七圓の激増である、各年度各月別の契約高は左の如し(單位千圓)

月別	昭和二年度	十五年度	十四年度	十三年度
四月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

金組利下問題

目下考研中

金融組合聯合會では四月一日から組合からの借入金利率の引下げでそれだけ利下げの余地を生ずるので近く金融組合に對する貸出利率を引下げるべく目下調査中である右によれば聯合會の金組に對する貸出利率は現行日歩九分、短期九分乃至九分二厘となつてゐるが組合からの借入は日歩八分、短期八分二厘となり擔保五厘、短期三厘方の利下げとなるのでそれだけ利下げ可能となつた譯である。なほ組合以外に對する貸出利下げについては反對もあり實現不可能の模樣である

三南商銀合併問題

合併條件内定す

商銀に吸收し對等の條件

商銀と三南銀行との合併問題は來る二十三日の臨時總會の承認を得た上いよ〳〵決行することになつた、しかして合併條件は商銀を存續し三南銀行を解散せしめ三南の二十圓拂込株一株に付商銀二十圓株一株を交附し三南銀行員は全部採用の形式で商銀に引つぎ重役二名增員し三南銀行頭取鄭某氏は商銀取締役になり更に顧問に就任するとになつてゐる。然して三南銀行の積立金七萬圓のうち法定積立金四萬圓を除き三萬圓は解散費用として來たる六月十六日に合併するとに内定してゐる

一、株式會社三南銀行との合併假契約承認の件
二、合併により資本金增加の件
資本金七百九十六萬五千圓に百萬圓を增加し八百九十二萬五千圓とする事
三、合併に依り支店設置に關する件
全羅北道全州郡全州面及全羅北道益山郡益山面(裡里)に支店を設置する事
四、取締役定員に關する件
取締役定員六名以內を七名以內とすべきこと
五、前各項により定款變更の件
六、取締役補闕選擧の件
七、重役報酬の件
八、監査役一名補缺選擧の件
九、代表取締役に關する件
十、前取締役及監査役に慰勞金贈呈の件

銀行取引

漸次活潑

朝鮮銀行三月中の府内手形交換高は一萬六千餘枚、六百余萬圓の交換増加を示し、交換枚數、金額共に本年以來の最高額に達した一月以降の交換高この通り(單位枚千圓)

月別	枚數	金額
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]

これが原因は最近經濟界が近づくにつれ諸事業の資金需要が増加し…

合併總會

廿三日に開催

京城銀行と三南銀行との合併問題は順調に進捗し三南銀行は去月三十日百株以上の大株主會の承認を經て來る二十三日京城本店で臨時總會を開き商銀との合併案を附議することになつた。しかして一方商銀でも來る卅三日午後二時から京城本店で臨時總會を開き三南銀行との合併の件を附議することに決定したが、該總會三南銀行合併問題とは別に和田監査役死去につきその補選選擧を行ふはずである

京南鐵道

拂込徴收か

借入金不可能

京南鐵道は既報京南鐵道兵庫氏の取締役會長就任を見て經營を刷新するとともにその第一歩として近く新拂込金を徴收することに內定したしかしてその方法は目下考慮中であるが同社は現在資本金一千萬圓中七百萬圓の拂込であるが內百萬圓は海難問題で損失となつてをり拂込みを徴收するとしても五圓乃至十圓程度となる模樣で一般によれば銀行上の借入金をしても現在の鐵道を維持するとも云つてゐる

水利組合認可

水利組合の設立は三十一日認可されたがこれを以て昭和二年度の認可は終つた譯である、新設水利組合左の如し

▲平安川二百四十町歩▲古今百十九町歩▲馬山三百二十一町歩▲道高九百三十町歩▲谷城七百十三町歩▲揚光二百五十九町歩で星州、豆浦江の二水利組合は三年度に繰越された

帝國麥酒移轉

帝國麥酒京城支店は今回府内長谷川町元大日本麥酒出張所に移轉をした

商況

鮮魚不變

京城鮮魚市中相場は昨一日と變らず水揚高三千三百八十圓七十錢貫數は一千八百貫である(單位十貫目)

▲ベニ三五▲アマダイ三五▲ホニタイ八〇▲アマダイ三〇▲ホタイ三八▲チヌメイ三〇▲セラメイ五〇▲タイ一六〇▲ラ(?)スミ三五▲サバ二〇▲カ…

▲アナゴ一五▲ヒビ一〇▲ヒラメ二五▲タコ一五▲イカ三八▲セイエビ八〇▲カレイ八▲コチ一二▲ナマコ六▲上タツ二〇▲カジキ五〇▲並ダツ三▲カマボコ一四

鮮銀券況

(卅一日)(單位千圓)

		比前日増減
發行高	[illegible]	増 [illegible]
正貨準備	[illegible]	
保證準備	[illegible]	減

日銀券況

(卅一日)(單位千圓)

		比前日増減
發行高	[illegible]	増 [illegible]
正貨準備	[illegible]	
限外發行	[illegible]	
貸出高	[illegible]	減

東京コール (二日)

翌日拂	一錢より	一錢一厘
無條件	九厘より	一錢一厘
普通	九厘より	一錢一厘

海外爲替 (鮮銀建値)(二日)

上海	一志十一片卅二分七
紐育	四十七弗十六分十三
倫敦	七十五両四分一

海外經濟電報

倫敦銀塊	二六片一六分七
紐育銀塊	未着
米國爲替	四弗八六仙三二分五
日米爲替	四弗八八分七
不明	不明
同(?)	四十八錢二分五
スチール株	一四七、
アナゴンダ株	六二弗四分一

取引停止 (廿九日)

井町七四 菱谷 播月五三郎▲吉野町二ノ二〇一 不詳 西野重藏

落穂

前朝鮮銀行取締役の古宇田氏が退任に際し、三南銀行との合併に就ては京城を去る▲退職問題は、古宇田氏がかつた時からの問題であると、例によつて惜まれ口を叩き反感を買ふ▲職を退いたのであつて同氏がしりぞいてトン〳〵拍子に進捗し、遂に臨時總會といふことになつた▲この意味で古宇田氏が辭職を去つたのは合併促進といふことになり▲退職者は氏の退職を最も喜んである▲如何に古宇田氏とてこれを見せつけられて沈黙もまいにさりとは鳴かずば打たれまいに京城の士にどこまでも古宇田氏は京城の士にそぐはない人であつた▲一日京城を退いた京城野田新吉氏の送別會は、非常なる盛況を極めた。數百名の見送り人、萬歳を唱へ、氏の前途を祝した▲古宇田氏と比べて同じ銀行家でこれだけの相違があらうとは……▲人間は平素が肝心だ

株式 (二日)

京取短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三鮮新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三鮮新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砿新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砿新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
取新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
勧新	[illegible]	不足	[illegible]
新取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三新	[illegible]	不足	[illegible]
以上二日分日歩			

仁川短期

銘柄	短期 寄付	短期 賣方	玉數	累計
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

休會

大株長期

休會

東株短期市場

	寄付	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

つよきよわき

株式 東京の地場がもうやゝ屁古垂れてしまひ、大阪のみ光つて來た今日、大阪市場の傳會で人氣不透明、江戸ッ兒この際大阪方を一泡吹かせる氣はないか
△强氣も全く見送られ商ひも頗るさびしい、然し相場保合の折柄强氣はない方が助かる
△鯨上場の吹上げた安値取今日は鳴かず飛ばず、今に一泡吹かねばよいがと市場の噂

期米 新甫は豫想通り四十四丁の上鞘に生れた、これを一ケ月の金利倉敷料の採算からいへば正當な上鞘であるが
△取引所が天災の前途職といふべき六月限の四十四丁鞘は買方の氣迷ひ海ともいへる
△これでは如何に新甫とへ無活氣はやむを得ない殊に花の四月は長閑過ぎて動くに動かれないのが保相場の本質だといふことになれば、この六限處分は恰合ふと見る方が穩當かも知れない

株式

極度の閑散

前場 一昨後場無氣力閑散の一先、今朝は大阪が大新創立五十週年紀念で休會せるため一般に人氣引立たず京都の小變りを移して當所も下げ盛り風情に始まつたがアト伸惱み極度の閑散狀態を呈して結局一昨後場止に比し京取二十錢安大新二十錢安東新十錢高と殆ど前日狀態のまゝに終つた

依然底堅い

後場 前場極度の閑散の一般先、後場は益々手氣乘り閑散で京取新甫出來申の出來小相場とはなか〳〵底堅く結局一昨後場に比し大新三十錢高東新六十錢高を示した

透明を缺く

大株休會で 無氣力閑散を呈してゐる折柄、大株が五十週年紀念で休會せるため、今朝の當所は京都の情勢を移したが、其京都が大新九十二圓四十錢と十錢安東新百七十三圓七十錢と二十錢高、又その他の鐘新百三十九圓二十錢久原五十八圓六十錢と依然保合風情であり、又東京は百七十二圓八十錢と變りに寄付いて後三十錢と小鈍を免れず、只東新の大引で田中道の窓放ちがやゝ目立つた位であつた、これを要するに、昂所では各地は勿論東京大株市場の向背によつて引ずられるやうになつた折柄、大株が休會したので人氣透明を缺くの感が深かつた因みに、京都短期の今朝寄引の左の如し

	寄	引
大新	九二、四	九二、二
鐘新	一三九、二	一三九、一
久原	五八、六	五八、六
東新	一七三、七	一七六、二

入超は無反響

三月下旬貿易は一千九百萬圓の入超で前旬に比し約一千萬圓の入超を示したが、これは棉花輸入の増加の結果である、併し棉花輸入の増加は既に豫想せられた所であり、殊に一時懸念された輸出の一先小康狀態に入つた爲めに輸入超も前年同期に比すれば改善の跡を認め得るので、相場が大阪において氣迷ひ保合風情にあるのと相まつて卅日の入超も相場には殆んど無反響の狀態であつた

當限納會平穩

大株市場の當限納會は二十三日の日曜休場のため四日に繰延べされ、東京は二日の當限納會を見ることになつたが先般の波瀾で東西共玉整理を敢行し大阪、東京は既に七萬四千株に過ぎぬのと昨今の相場が高値で當、玉は皆安値にあるため、大阪も當の納會も順調として平穩に納會を見せるだらうとなく平穩に、これには何等期待出來ぬ形勢である

大阪取引所

五十週年紀念

祝賀會休會

大阪株式取引所は創立五十週年紀念祝賀會の爲め本日前後場を通じて休會す

逆日歩を繼續

今朝大新株不足し逆日歩七十四錢(二日々歩)をつけた併立替は三十枚に減少したが安取の立替は八十枚と變らず逆日歩を續けた

今日の手口

相場保合の折柄、大株の休會で極度の閑散を呈せるため出來高も一昨後場の三百〇枚に對し今朝も京取一七〇大新二〇東一〇六〇計三四〇枚に過ぎなかつた今朝の手口左の如し

京取 賣方田中友一〇〇古川一〇〇松山三〇古川三〇田中道一〇 買方洪股二〇新田四〇▲買方田中友一〇〇

大新 賣方田中道九〇金潤五〇新田一〇▲新田五〇市川五〇古川三〇松山一〇洪股一〇

期米

不氣乘乍ら

堅調を辿る

六月は好調

前場 今朝は與月が前天災翌日に直面する六月限の新甫發會なので、市場は緊張せる折柄、阪地が三十一圓三十七錢と中心から五十錢で、上鞘を發會で、やゝ買氣を刺戟して限井六圓七十錢中心が廿七〇五錢と伺れも休日前より小堅く寄付いた、從つて新甫六〇限は廿七〇四十九錢と四十四錢の上鞘に生れたが、各限の當物に節ゝはされたが、四十錢と押し、アト阪地が廿五錢から廿八九錢所の保合で、双方氣乘薄く四十錢摑みに崩付き、引際の買頂みに五十錢と手堅く前場を終つた

上寄つて

アト保合ふ

後場 前場小堅い機先、後場は先限廿七圓六十四錢と十四錢方上放れて寄付き、アト五十四錢に戻し、伸惱んだが三四六十一錢に反つた、結局六十錢所の小往來に終つた

六月限の前途

今朝發會した六月限の前途に付き過去の例に依ると、値頃の如何は兎角として、生れ値より安納會を告げたのは大正十三年と昭和二年の二ケ年丈けで其の他は多少に拘はらず殆んど、納會となつて居る、是れは限月が天災の前當職に入る結果であるが其他にも云ふまでもなく米の實物関係の方にも然して一方越して減殺しなくなるからである、これ等の點から今後の成行きを觀察すると目先に米山時代とて伸惱みは免れないとするも本年の如く野も山も豐作況の米と云ふ事が圏裡に籠み込んで居る年柄には六限方に至つて少し値付難を唱へる樣になつたら、意外の反動高を出現するかも知れないと觀測する向もある

六月限大上長

今期發會した六月限の限組を見ると、買方六店に賣方僅に三店で、これは中限に賣建て有する小口筋が先物の發會を好機として反對に賣物を注ぎ、中先兩建をなす向が多い結果だと言はれる、その他大手筋と目される買方側の內海筋も買方側い淺野筋も先限に對しては形勢の要である

期米 (二日)

東京現株

銘柄	前日本日 寄付	大引	前日本日 前引
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富士紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
取	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株式

安	[illegible]	[illegible]

▲仁川

限月	前場 當限	中限	先限
(一)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(八)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(九)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(十)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場(一)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●東京

	當限	中限	先限
前場(先)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(一)～(七)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場(八)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	[illegible]	[illegible]
取組高(石)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總入値段	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●大阪

	前場	後場
寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
(一)～(十)	[illegible]	[illegible]
引アト		四十六錢

大阪押米喰合

	賣方	買方	取組高
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●兵庫

	前場	後場
先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

●下關

	前場	後場
先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

●桑名

	前場	後場
先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

鮮内延べ(正米期)

●釜山

角ケ認良 丸ケ認良 出來高

	寄付	大引	高値	安値
四中	・	・	・	・
四米	休	會	・	・
五中	・	・	・	・
五米	・	・	・	・

●木浦

	寄付	大引	高値	安値
現物限良力	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●群山

	寄付	大引	高値	安値
現物丸七三等	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同四等	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●大阪三品

	寄付	止め
前限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
綿絲四限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

訂正の要あり

鮮米の考へ方

鮮米が内地の津々浦々まで歡迎され出した原因は石拔米の調製が著しく發達して來た結果であるのは云ふまでもない、京畿道管內に於ける石拔米の調製狀態を前年に比較して見ると昭和一年度產米は各數合計七萬六千七十九叺であるが、同二年度產米は昨年十一月以降二月末日まで早くも五萬七千五十七叺に達し、前年同期の調製高三萬九千三百四十七叺に比し約二萬叺の増加である、京畿道は白米の精産地として數量は問題とするに足らないがかくの如き趨勢を以て石拔米の調製が增加しつゝある事から推すと、玄米を主とする他の地方とは違ふ發達は略想像し得られると同時に、本年の移出米が名古屋東京方面に著しく增加せるは此の點に起因する、從つて從來厄介物扱ひにされて來た鮮米に對する一般の觀測も茲に改むる必要あると云ふ向もある

廻着米增加す

最近に於ける籾や正米の出廻狀態を過去に比較すると、幾分增加して來た觀がある、尤も値頃の關係で農家が平均買の態度を探つてゐる米としてまとまつた貨物は依然ないが二月から三月上旬にかけ政府の米問題とされた時代に一日の廻着籾で三四千俵玄米四五千叺を平均としてみたのが、此頃は籾で五六千俵玄米六七千叺から一萬叺以上に達する事も屢々ある、これは農家や仲買人の賣惜みを助長した政府の米價が不安定の風を脱したのと、政局が不安定、なつて來たと相俟つて思惑助に嫌氣が催すに至つたものでないかとも云はれてゐる

各地新甫鞘

	納會値	新甫	鞘
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]上
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]上
兵庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]上
下關	[illegible]	[illegible]	[illegible]上
桑名	[illegible]	[illegible]	[illegible]上
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]上
群山	[illegible]	休會	三上
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]

釜山米穀市場休會

釜山米穀市場は龍頭山の祭禮に付き休會である

在米稍減少

日現在の仁川在米數は前週に比し去る三十一日現在の外米は千六百六十叺を增加したが、一方合格米は三千六百五十六叺の減少となつたので差引千九百九十一叺を減じた譯で現在高の內譯左の如し

合格一二四、一八九叺▲等外米一六、〇二叺▲白米八〇〇叺▲外米一七、三八五俵▲大豆四二一

大豆

大豆前場出來不申

本日の出來値

	當限	中限	先限
一節	…	…	…
二節	…	…	…
三節	…	…	[illegible]
四節	…	…	…

四六一叺▲小麥二、七七〇叺▲滿州粟二、四三〇袋▲外米一四、五四六袋

正米

京城正米

京城正米市場は前落步調で各地新甫の活氣を殺き、當用筋賣び歸語で月初の相場は引立たず、當用には月末より十錢安であつた、⑤三等二十六圓二十錢四等二十二圓七十錢▲同上等白米三十二圓四十七錢▲上等白米二十三圓六十錢▲玄米五十錢白米二十六圓十錢▲京城大豆は安心貨物通に十錢高、咸山十七圓八十錢長溝十七圓六十錢

京城穀物組合建值

▲外米 ミートン窓地搗三三、八〇窓地搗三一、〇〇順賈米二一、八〇▲粟 滿城一一、九〇蔽饒一、八〇高圓一一、五〇四平街一一、四〇蔽陽一一、七〇黃粟一三、八〇▲小豆 龍山物一二、八〇滿洲物一一九、一〇北鮮物並七、四〇▲綠豆九、一〇大豆(?)▲大麥 南鮮物上一〇、一〇▲胡麻(滿)二八、〇〇▲蕎麥一七、〇〇(朝)一七〇、〇〇〇▲小麥(沙里院三)二〇、九〇▲胡鮮白一〇、〇〇▲朝鮮白米上物四二、五〇

仁川正米

⑤三等廿六圓四十錢⑤四等廿五圓四十錢白米廿八圓五十錢白米廿八圓四十錢五毛一▲長溝十七圓十七錢大豆裡山十七圓二十六錢天安平澤十七圓四十錢滿州十六圓卅錢所であるが何れも移出にの買控へで取引閑散であつた

仁川穀物出入 (二日)

		(俵)(叺)	(俵)
籾移出	米	(叺)	七、一一三	一、一五一六
	米	(叺)	八、八九〇	一、八七〇〇
	豆	(叺)	二、四五七	[illegible]
籾移入	米	(叺)	八、〇四九	七、八〇〇
白(?)	斗入(袋)	[illegible]	二、八五〇
	豆	(叺)	六、	九〇〇

大防市中在米

二日現在高は百四十四萬六千九十俵と前日の在米高に比較して八千五百五十八俵の減少である

大阪綿絲

限月	前場 寄付	同引	後場 寄付	同引
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●横濱生絲

	寄付	止め
前場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場四限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲印物取扱高 [illegible]

●綿平線

	前日	本日
後寄	[illegible]	[illegible]
大引	[illegible]	[illegible]
前寄	[illegible]	[illegible]
大引	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖

	前場	後場
當限 寄付	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

京城手形交換高 (二日)

枚數	[illegible]
金額	[illegible]

市中米穀相場

玄米(?)四等	二五圓七〇
白米御飯(?)	二〇圓〇〇
ヒ等(?)日用	二六圓四〇

薩摩義士傳 (17)

(上場上映)

中村兵衛作

神保朋世畫

青侍の大憤慨

表をたつとふ薩摩武士は、正月だりとも三日間の儀式以外に酒に醉ひを嬲かにはしなかつた。けれども鹿兒島城下の町人は七草の日に又正月氣分を出して、晴れの衣裳の婦女子供は右往左往して賑つた。

八日は八日正月といひ、中に十五、六の二日に互ひ人等の藪入り十七日は歲緒ひ休み、二十日は又二十日正月と遊樂の日を定めてゐた。

七草のその翌朝の事であつた、鹿兒島城内の空氣は緊張し、何となく士氣を憤激しはじめた。

『何事でござらうの』

『お家の一大事と申すやうな儀ではなからうか』

一同の上座に無手と座を構へた一青侍は、つゝましやかに坐し、膝の上に手を置いて鉄五十郎の言葉を存んで兵部のいふ所に耳を傾けた。

『このたび御當家へ對し、幕府より尾張、美濃、伊勢三ケ國にまたがる三大川、木曾、揖斐、長良の川普請お手傳ひを申つけられ申した』

鶴田の武士は、その言葉の切れるを待たず。

『御領地より數百里離れ遠き左様な他に、如何なる關係がござるにや』

兵部は雨眼をとぢて、もう觀念したらしい口吻。

『關係もゆかりもござらぬ。工事は十五萬兩の入用と聞くこの大工事を、何ゆゑか御當家を選んで申つけられてござる』

『誰殿か御家老に、その由を訊して、早く知りたいものでござる』

『御家老方は、皆國御殿へ參られた。』

『それこそ一大事』

われ〳〵もかうしてはをられぬ。御一統殿へ參らうではござらぬか

青侍の語所は、にはかに騒がしくなつた。

それは早打ちの早飛脚が到着した一刻が不安となつたのであつた。

政亭の動揺をさとつて、御家老の一人伊勢兵部は、磯から江戸に早打つて城內に着した。

その時には諸士頭や御頭も、青侍と共に緊張の目をみはる所であつた。

『オヽ伊勢殿がお見へになつた』

『御家老、今朝の早打ちは何事でござりまする』

臨所の樣へもう數人がにじり出た兵部は眼の色を即下に應じつゝ

『イヤお家の大事、疑近では申されぬ。まづ膝とつおつしやい』

申つけられてござる』

又一人代つて進み出た。

『不當とやいはん、御不職とやいはん。將軍の嚴命なりといへども左様な難題は定めしお斷りに相成るのでござらうな』

そのまゝ目を見かねた兵部は、投げに答へた。

『法を得ぬ』

『近ごろの我等は、われ〳〵輩臣は畝におかけ致す事に相成つた』

『ナニお聞け……此の儀にお聞け』

なさる。我等の思召は知らず、おそばにある老臣方が、何ゆゑおいさめ申上げて、直様お斷りはなさらぬにや』

今はたれかれとなく、諸侍から兵部に諸問の矢を放つた。

『鬪ひ致す時は、關ヶ原以來、御當家に對する幕府家の御不快な態度は、然も一度に酬する、懲る時は、弓矢を以ての御待遇と相成る。それを避けて平和勝負、お聞けを遊ばせ、ナニ四兩枚由なる平田殿、直に臨時をおすゝめ申すとは、何たる卑怯な申し條』

『御一統、速かに御出殿に諸武家さう。御家老とて御裁なあらうか』

殿中一統にして一齊にその……

夜方ピラミドン

流行風熱に一番ヨクキク

販賣店各地藥店ニアリ

京城府旭町二ノ八八

本舗 ⑪ 林藥房

京城日報

支那語速成講座

主幹 飯河道雄先生　北京馬冠標先生　内容見本贈呈　會員募集

第七卷出ツ

新學期開始（六ケ月完了）

分科合本　全六卷を各科目毎に分けた上で合本したもの　實費金六圓

申込及配本所　東方文化會　大阪屋號書店

財團法人 電機學校

高等工業科新設　生徒募集　晝夜共　東京神田錦町　新學期四月十一日

運勢叢書 占筮術精義

文學士 神山五黄先生著　大好評忽三版

開運成功の秘傳書　萬家必備の大寶典

本書は易學大家神山五黄先生が數十年間に亙る易理と實際との研究に基き、運勢開發法、易學、九星、十干、生れ月日による運勢、家相、人相、骨相、手相、その他凡ゆる……

【大特典】本書購讀者には神山五黄先生鑑定の
▽昭和參年月割運勢鑑定書
▽昭和參年各月株式豫斷書
▽昭和參年各月期米豫斷書
右三項の中御希望の一項を無料贈呈す（生年月日必要）

特價 參圓貳拾錢（送料共）

發行所 東京市本郷區駒込……　神山易斷所

白鶴

登錄商標　ハクツル　白鶴

白鶴の廉價は萬人向にあり

一、白鶴印酒は畏くも、先帝陛下が未だ東宮に在せし頃から、永年宮内省の御用命を賜つて居ります。弊社が無上の光榮とするところ茲に存するのであります。

一、白鶴印酒が優秀で好評嘖々たることは、その販賣高が如實に、之を說明致して居ります。

一、白鶴印酒は過去、内外幾多の品評會、博覽會に於て、最高賞を受けること、實に百數十回の多きに上つて居りますが、弊社は、今後之等に一切出品せず、廣く滿天下の大衆に向つて、その廉價を問ひ、絕對に他酒の追隨を許さぬ萬人向優良酒の醸造に努めて居ります。

白鶴一杯元氣百倍

兵庫縣御影町　嘉納合名會社釀

日本共立火災保險株式會社

資本金 五百萬圓

一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話又は御一報次第社員參上可仕候

出張所長 三鍋才次郎

大日本國民中學會

通信教育界のオーソリチー
最も完備せる最も價値ある大日本國民中學會の全景

通信教育界未曾有の壯擧　破天荒な御恩賞記念大特典!!

小學校卒業生

は必ず本會へ入會して立身成功の基礎を造れ

監綬褒章 日本一の中學講義錄

思想全集も文學全集も科學全集も中等教育の素養の無い者には理解出來ない。先づ基礎的な常識を完全に修得せよ!!

小學卒業後いろいろな事情で中等學校へ入學出來ない者は必ず讀め!!

一ケ年半卒業　會費一ケ月一圓廿錢　講義錄（雜誌共）毎月三回發行　毎月四百五十頁

正則 中學講義錄

講義全部改版

◎三段式教授法完成◎挿圖全部改刻◎表紙裝幀一切變更◎内容一層豐富

何から何まで日本一の中學講義錄

獨學で中學が卒業出來る!!!

◎今スグ入會して立身成功の基礎をつくれ！◎中學生も本會講義錄を家庭教師として良成績を得よ！

◉此際入會者に 御恩賞記念 大特典提供

貸費生三百名採用 ◉各種試驗合格者三千名に奬學資金贈呈

◉其他未曾有の大特典!!（詳細規則書を見よ）

世界有數の大通信學校・權威ある本會講義錄

見よ!!讀め!! 此の十大特長

一、創立が古い
二、内容が新しい
三、基礎が固い
四、學制が正しい
五、指導が良い
六、講師が偉い
七、教方が巧い
八、會費が廉い
九、卒業が早い
十、成功が確い

御恩賞記念大特典

正則中學講義錄・國民補習講義錄 見本規則進呈　至急ハガキで申し込め無代送附す。

東京駿河臺 大日本國民中學會　會長 尾崎行雄　電話神田 二二一・二二二・二二三番

新に開講せる 國民補習講義錄

◎一ケ年卒業◎會費五十錢◎補習學校青年訓練所生徒の良參考書◎中學科途中入學を許す

尋常科卒業後上の學校へ行けない男女は業務の傍ら此の講義錄に就いて學べ!!!

學科　修身・公民・國語・漢文・英語・地理・理科・農業・歷史・數學（算術及代數の初步）商業・工業其他

讀んでスグ役に立つ講義錄!!!

小學校高等科・中學校女學校一二學年程度

日本一の女學講義錄　高等女學講義錄

獨學で立派に高等女學校が卒業出來る!!!

一ケ年卒業◎月謝一ケ月八十錢◎全學期卒業まで八圓六十四錢

小學校卒業後いろいろな事情で女學校へ行けない人たちは今スグ本校へ入學して面目一新せる「高等女學講義錄」に就いて勉强なさい。本校の講義錄は日本で一番判り良く日本で一番新しい内容を持つて居ります。

學制・内容・組織大改革　講義錄見本無代進呈　大至急ハガキで申込め

東京・駿河臺・大日本國民中學會會館内　通信 大日本高等女學校（校長 下田歌子）　電話神田 1111. 1112. 1113. 振替東京 10456

大日本國民中學會 高等豫備校學生募集

日本音曲全集

本日〆切

機會は今！豫約界未曾有の壯擧選擇分賣即時配本の本全集は白熱的歡迎裡に愈々本日を以て〆切る！再び來ぬ絕好機會を逸せず即刻書店へ申込まれよ！

全十五卷の書目

1 長唄全集上卷
2 義太夫全集上卷
3 端唄小唄歌澤全集
4 清元全集
5 義太夫全集中卷
6 琵琶全集
7 俗曲全集
8 臺詞全集附合方
9 箏唄及地唄全集
10 謠曲全集
11 富本及新内全集
12 古曲（河東、薗八、一中、宮薗）全集
13 義太夫全集下卷
14 常磐津全集
15 長唄全集下卷

どの本でも選擇分賣

全冊豫約者へ書架進呈

◇裝幀と内容◇　◇豫約略規◇

申込は即刻書店又は發行所へ！今日の消印ある申込有效

東京神田區錦町一ノ一九・誠文堂内　日本音曲全集刊行會　振替東京六六〇六五・電話神田四七一・二六五六

即時配本

兩陛下行幸啓の御發着時刻決る
今秋御大禮前後の

【東京電報】御大禮事務局では豫て鐵道省側と天皇、皇后兩陛下の御大禮行幸啓御發着時刻を打合せてゐたが、二日左の如く決定された

一、京都行幸啓
十一月六日午前八時　東京驛御發
同　午後四時廿分　名古屋驛御着
七日午前十時卅分　名古屋驛御發
同　午後一時卅分　京都驛御着

一、神宮親閲の儀
十一月廿日午前十時廿分　京都驛御發
同　午後一時卅分　山田驛御着
廿一日午前十時卅分　山田驛御發
同　午後一時四十分　京都驛御着

一、仁孝、孝明兩御陵親閲
十一月廿四日午前九時卅分　自動車御料にて京都御所御出門

一、明治天皇御陵親閲
十一月廿五日午前九時卅五分　京都驛御發
同　九時五十分　桃山驛御着
同　十時廿分　桃山驛御發
同　十時卅五分　京都驛御着

一、東京還幸啓
十一月廿六日午前十時廿分　京都驛御發
同　午後二時四十分　名古屋驛御着
廿七日午前八時　名古屋驛御發
同　午後四時二十分　東京驛御着

一、多摩御陵親閲
十一月廿九日午前九時卅分　原宿驛御發
同　十時四十分　東淺川驛御着
同　十一時十分　東淺川驛御發
同　午後零時二十分　原宿驛御着
還幸啓遊ばさる

けふは記念植樹
―創始以來絶えざる此の擧は―　實に朝鮮の誇り

けふの神武天皇祭は實にわが朝鮮に於ける第十八回目の記念植樹の當日である、朝鮮に總督政治が確立した明治四十三年の次年から總督が變つても總督が變つても政治に改變を加へられてもこの記念植樹だけは連綿としてたゞの一ケ年といへども變る事なく今日に至り、年々歳々朝鮮の山野を緑化しつゝあることは實にわが朝鮮の誇りである。

記念植樹の意義
城大講師　石戸谷勉氏談

『記念植樹』『記念植林』といつてもほんとうに記念植樹の意義明確に會得して植樹を行つてゐる人が何人あるでせうか』と、京城帝國大學講師石戸谷勉氏は、『記念植樹デー』四月三日を前にして記念植樹の意義を左の如く說いた

記念植樹は、大體、二つの意義によつて始められたものである

その一つは偉人、傑士にあやかるために、その偉人傑士を記念して植樹するもので、これは以後繁殖とされてゐるから、多く後代に互樹、名木として保存されてゐる、從つてこのための植樹用の樹木は五つの條件がなくてはならぬ

第一、樹木が長命のものでなくてはならぬこと、
第二、後代に至つて堂々たる偉觀を呈するものであること
第三、植樹地に充分生育の見込あるもの
第四、有毒でないこと
第五、聖人君子に何らかの有緣あるものなること

即ち例をあげれば、公孫樹、松杉、柏、楠木類、柳楊、菩提樹、無患子木、等である、最もこの朝鮮でいふ菩提樹は印度の菩提樹とは全く違ふもので、何故こう誤つたのかを考へてみると、多分印度に菩提樹の種をとりにいつた高僧か誰かゞ歸途の種子を紛失したものだからそこらあたりの變つた風な木の種子をもつて歸つたものだらうと思はれる、現在、朝鮮にこの意味の記念植樹で現つてゐるものは約五十三百本である、このうち最も巨大なるものは京畿道楊平郡龍門面龍門寺にある公孫樹で、幹の周圍が四十八尺、高さが二百十尺、年代は約九百八十年前のものらしい、これは新羅の敬順王が植えたものといはれてゐる、また寺には一帶に菩提樹が多く植えられ、孔子廟には公孫樹が多く植えられてゐるが、これは前者は釋迦が菩提樹下に道を說き、後者は孔子が公孫樹下に道を說いたといふ理由からである、この種類の記念植樹は後代造林學上にも史學上にも非常に有力なる資料となるものであるが、朝鮮では充分これが保護方法が講ぜられてゐない、これはわれわれ研究者としては甚だ遺憾なことだと思つてゐる

第二に記念植樹する動機としてはその人の出生を記念するためのものがある、併しこれはあるいは今から十八年前に始められた記念植樹は總督が自らくわを入れて、島民に『植木月令』を示すものとして朝鮮に於ては非常に有意義な年中行事であるから今後とも永久にこの意義ある植樹をつゞけられたいと思ふ、この植樹も第十回頃にはもう中止してはとの說もあつた程であつたがこういふ行事はどこまでもつゞけられたいと思ふ

煙火を合圖
記念植樹する場合　本府の用意

記念植樹三日の天候は非常に氣づかはれてゐるが、總督府では當日植樹擧行の場合は午前八時獎忠壇公園で三發の煙火を打ち上げる、もし煙火を打上げない場合は中止したものと承知ありたしと

朝鮮の林政根幹決定
―林務主任官會議の決定事項

總督府山林部では三月二十七日から三日間本府第一會議室において各道林務主任官會議を開催し朝鮮の林政について協議したが、協議の結果決定した事項は大體左の通りである

一、砂防事業に關する件
▲既に行つた砂防事業の補習費は當分の内國費で負擔す▲保護に就ては山林の所有者關係者等により保護組合を組織せしめ保護に責任を負擔せしむ▲地方費で監視員を設置し砂防地を巡回監視せしむ▲其他砂防地植栽樹は從來針闊兩樹の樹木を混植してゐたが、濶葉樹の樹木はハンノ木、山ハンノ木、ヒメヤシヤブシ、ヤシヤブシ等であつたものを將來はハンノ木、山ハンノ木をやめ、ヒメヤシヤブシ、ヤシヤブシを多く使用する事、針葉樹は從來通り紅松、唐松、朝鮮松等とす▲濶葉樹の繁茂により針葉樹の成育を阻害する場合は適當に針葉樹の撫育を圖ること、

一、砂防工事施行ヶ所選定に關する件
治水上重要なる河川の流域を優先的に施行し、また流域の被害大にして砂防工事の効果顯著なる場所から迅速に行ふ▲一河川の流域を完了して他河川の流域に移ることゝして一河川にあつては支流から幹川へ及ぼすこと

一、保安林調査に關する件
荒廢林野の復舊策として保安林政策の遂行は必要であるから調査を開始する事

一、造林補助に關する件
指導監督を嚴にし且つ徹底せしむるため小規模の分は後に大規模の分から先にする補栽後の成績を保持する目的から地味佳良の個所を選ぶ▲濶葉樹の補助額を高め針葉樹の補助額を低下する但し唐松、朝鮮松杉、檜は低下せず▲各道間及內地朝鮮間の苗木の需給を圓滑にし不良苗木の市場に出る事は防ぐ▲指導費の充實配置を考慮し指導監督の周密を期し、また植栽後の指導取締を充分にするため保護の施設を確實にする

一、朝鮮特別緣故森林讓與令に依る處分に關する件
緣故林の讓與處分は可成迅速に且つ經費は出來るだけ節約する方針の下に各道宜に定む

一、薪炭備林設置に關する件
林野荒廢の結果日常生活の必需品たる燃料に著しき缺乏を告げつゝあるので薪炭備林の設置を圖るが場所は河岸河口の林地にポプラ、アカシヤ等成長の早い樹木を植へ燃料の多量を圖る▲私有林は施業拙劣で林産物の收穫が少いから樹種の改良、林層の保護を行ひ合理的に燃料林の形成を圖ること▲適當な場所ある場合は燃料林を設置すること▲需給の關係を調査し將來の計畫を確立すること

一、綠肥採取に關する件
田、畓には金肥、堆肥、栽培綠肥の使用を一層奬勵し山野よりナラ、カシワ等の濶葉樹の萌芽を採取せぬこと▲綠肥採取に適地あらば特に採取指定すること▲ハギの栽培適地を郡、面、農會等で經營せしめ又ハギ種の採取地を經營すること

等にして要に朝鮮林政の根幹を決定しこの方針により各道は今後の林政策の根本となすのである

造林課長放送
三日の記念植樹は世界に誇るべき朝鮮の年中行事といはれすでに十七回の歷史を有するが、植樹、造林に直接關係を有する山林部木谷造林課長は三日夕刻JODKで記念植樹に關して極めて通俗的な放送をする

南京事件米支協定內容
注目すべき米の態度

【上海廿七日發聯合】去る卅日調印を了した米支南京事件解決協定の解決條件は左の通り
一、南京國民政府は南京事件において蒙つたアメリカ人の財産のあらゆる損害に對し充分なる賠償金を支拂ふ
二、南京政府は南京事件に對する責任を認め且つ惡隱事に對しては充分なる陳謝をなす
三、アメリカ政府は南京砲擊の參加に對し陳謝す
四、南京政府は既に事件關係の共産激烈分子の處分を了したる故右暴行者處罰に關する未解決の問題は既に一掃されたものと認む
五、アメリカ政府は南京領事館を數日中に再開す
六、アメリカは現下の米支條約中片務的條項の一部もしくは全部を削除する至當と認め得る時に支那の狀態が改善された場合は新條約締結交涉に應ずる用意がある

目前の利害に捉はれ一時的人氣に走るは不可
田中總裁政調根本方針を示す
政友會の政務調査項目決る

【東京電報】政友會は二日午後二時本部に政務調査會を開き田中總裁、小川、水野、三土各大臣、島田、佐々木正副會長以下各理事、部長、部員、陸、海、外務總務、幹事長、その他二百餘名出席、田中總裁より

世の進運に應じ政策を考究し既定方針に背かぬ限り盛に抱負經綸を吐露し社會の共鳴を得られ度い但し此際に注意を要するは目前の利害に捉はるゝ事を避け一時世間の人氣を收め得べしとも他日國家に禍根を殘す如き事あるは斷じて排斥すべきである

と政策決定に關する注意的挨拶をなしたる後、調査會の研究に供すべき項目につき左の諸點につき各々意見を交換したる後、三土藏相より休會議理の經過につき說明をなし四時半散會した

一、本部調査會と連絡し支部調査會を設置す
一、産業立國の合理化に努め行政整理中政府の事業制を地方團體に移管すべし
一、行政官廳の併合整理
一、地租移讓、地方分權、知事公選の實現
一、勞働者小作人等無資者の生活に對象をおき適當なる社會政策を調査すべし
一、國家的見地より對支外交方針を確立し內閣更迭による方針の變更なからしむるを期すべし
一、兵役法の改正

政友會の三會
【東京電報】政友會では二日午後一時から議會再解散の決議および宣言附議のため新代議士會を、同二時から新政策樹立の根本方針並に調査項目決定のため政務調査會を、同五時から黨議の結束を固めるため芝三縁亭において議員大懇親會を開催した

政友新代議士會　昭和會と命名
【東京電報】政友會新代議士會は二日午後一時より前回に引つゞき開會、再解散要望決議並に宣言を附議決定し、更に新代議士八十八名の懇親團體を『昭和會』と命名し第一回會合を十五日に開くことに決定した

抗議　豫金部會議決定
【東京電報】二日大藏省預金部會議は
一、南滿鐵路問題に關する質問書の回答は不充分につき抗議を行ふ
一、渡滿幸公司問題は嚴重抗議し回答を促す
ことに決定した

櫻井錠二博士　ロシヤ學士院の名譽會員とする
【東京電報】帝國學士院長櫻井錠二博士は今回レニングラード、サヴエートロシア學士院の名譽會員に推薦されたので露國大使トルヤノフスキー氏は四日同博士を主賓とし祝賀の宴を開くことゝなつたが水野文相、後藤子爵、富井、田中館博士等學士院會員も列席するはず

御大禮豫算は切離しに決定す
一般豫算の形式變る

【東京電報】昭和三年度追加豫算の形式につき大藏省は御大禮費および既設歳費豫算を一般豫算より分離することに決定した結果、追加豫算は左の如き形式となるはず

一、昭和三年度一般會計　歳入歳出、總豫算追加
一、昭和三年度特別會計　歳入歳出、豫算追加
一、御大禮費及び御大禮費豫算　歳入歳出、豫算追加（第一號）
一、同上　同上　同（第二號）

從來の聲明には悖らぬ
◇―豫算分離について首相語る

【東京電報】政府は四日閣議において田中首相、三土藏相より御大禮豫算を一般豫算より分離すべきや否やにつき閣僚の意見を聽取してその方針を決定することゝなつた、即ち最近政府與黨に豫算ありといへども萬一不能臣送通過の大難關かとなりたる如き場合、政府は再解散を斷行するに方針の決定を見たるにつき御大禮豫算の不成立とならんことを恐慮した結果で、總裁及田の意見は其の通り決定する模樣である、右につき田中首相は語る

政府が前議會に於て御大禮豫算を本豫算に編成し今回追加豫算にて分離せんとするは何等前議會當時の聲明と矛盾するものではない、御大禮の儀は今秋御擧行に決定して居るが故に一般豫算に編入したのであるが今回の追加豫算は其の內容重要に於て既定の事實なるから分離の方針を採らんとするもので政府從來の聲明には悖るところがない

當分無配當
漢城銀行の整理案　大藏省の承認を得

【東京電報】大藏省は二日漢城銀行整理に關し協議を行つた結果
一、資本金を半額に減資すること
二、積立金全部をくずすこと
三、配當は當分行はざること
四、重役者の役任は重役會の處置に一任すること
との整理案を承認するに決し、すでに銀行に融通してゐる三百四十六萬圓の外に三百萬圓の特別融通をなすに決したので近く特別融通委員會において正式に決定することゝなつた

堅い決心で
國澤氏入城

京南鐵道取締役會長國澤新兵衛氏は二日午後七時四十分著列車で入城したが氏は語る

入城の要件は新任挨拶のためで四五日は滯在の豫定である、會社の業績は一日一哩平均四千圓見當の收入あり、一方八朱の補助で經營には心配はないが、新線の工事着手については資金調達の必要にかられてゐる、即ち今回來鮮して現用通線並に新延長線を踏査したが面川から群山まで四十五マイルの延長線は倣川から大川、鎭川、陽川、板橋を經て群山の對岸針川に至り、途中トンネルもあつて工費は約五萬圓を要する、これについて操込み增資か何れかの方法によらなければならぬが自分は未だ就任した計りで何れがよいかは目下研究してゐる處である

と具體的方針には觸れを避け、從來全く關係がなかつた京南へ入社した其の內容には會社の根本的遣直し問題などすでに堅い決心をしてゐるものゝやうであつた

授業料値上　京城學校組合
京城學校組合議會において、學校授業料、學校組合員にあらざる者の授業料月額を左の通り四月一日から改正された

高等女學校	七圓
商業學校	七圓
女子實業學校	五圓
小學校高等科	二圓五十錢
同　尋常科	一圓五十錢
慶子記念幼稚園	五圓

全鮮自動車業　創立發起人會
全鮮自動車營業者協會創立發起人會は二日午前十一時より京城商業會議所において開催、發起人三十余名出席、左の事項を協議したる後、三日は更に懇談會を開き發起人會において決定せる事項を附議するはずである
一、全鮮自動車協會又組合創立に關する件
二、協會又は組合規約審議の件
三、各地提出議案の整理に關する件
四、大會提出豫算承認の件
五、大會の議事進行に關する件
六、大會後の懇親會に關する件
七、テーブルスピーチ希望者申出の件
八、其他緊急事項

昨夜入城した京大柔道部員

海軍大將
【東京電報】二日左の通り辭令あり
海軍中將　百武三郎
同　谷口尙眞
任海軍大將（各通）

辭令（卅日）
朝鮮總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校教授　柳樂達見
朝鮮總督府醫院事務官　吉田鞆五右衛門
陞敍高等官三等（三月三十一日附）
同敎官　淵上長利
同醫官　高永珣
依願免本官（各通）
朝鮮總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校教授　柳樂達見
同　朴昌薫
朝鮮總督府道警視　江口長象
依願免本官（各通）
新潟高等學校教授從五位　島山喜一
任京城帝國大學教授
敍高等官三等
法文學部勤務を命ず
東洋史學第二講座擔任を命ず
靜岡高等學校教授正七位　加藤常賢
任京城帝國大學助教授
敍高等官六等
法文學部勤務を命ず
朝鮮公立師範學校教諭正七位　下川作次郎
任朝鮮公立師範學校長兼朝鮮公立師範學校教諭
敍高等官六等
補咸鏡北道公立師範學校長
朝鮮公立高等普通學校長兼朝鮮公立師範學校長　大田信之
免本官
平安北道知事　谷多喜麿
出府を命ず

安部選手ダブル選手權獲得
【オーガスタ一日發電】安部選手は一日フランシス、シールズと組みロット、ドーダ組とのダブル決勝戰を行ひ左のスコアで南大西洋ダブル選手權を獲得した

ロット・ドーダ	7	6	3
安部・シールズ	9	2	6

會
◇池田秀雄氏招宴　今回退官した前殖産局長同氏は四月四日午後四時朝鮮ホテルに官民有力者を招待して惜別茶話會を開く
◇士師前部長送別乘馬會　京畿道警察部乘馬會では前警察部長で愛馬家の士師盛貞氏のために三日午後一時から騎馬隊馬場で送別乘馬會を催すこととなつた

人
◇國澤新兵衛氏（京南鐵道取締役會長）二日夜入城朝鮮ホテル
◇西村保太郎氏（總督府通譯官）南鮮地方出張中の處一日夜歸城
◇五十嵐縣氏（憲兵大尉京城憲兵隊副官）岡山憲兵分隊長に轉じ挨拶のため二日本社來訪、五日京城發赴任の筈
◇田中中尉（京城憲兵隊副官）岡山分隊長から榮轉二日着任
◇難波大佐（京城憲兵隊長）近日着任の筈
◇長谷川海太郎氏夫妻（小說家）二日夜京城通過北行
◇玄角仲藏氏（東津水利組合長）三日朝入城巴城館
◇肯木勝氏（慶北自動車會社重役）◇中平五郎（同上）二日朝入城山本旅館
◇張憲根氏（江原道高城郡守）一日夜入城新屋

異動の人々
◇田中新京畿道警察部長　田中新京畿道警察部長は二日午後二時より道廳會議室において部內各課長以下幹部及び管內各署長以下幹部に對し新任の挨拶を述ぶ
◇京畿道の兩部長　新京畿道內務部長松井房次郎氏は目下外遊中であるが、來る十五日頃歸還、廿五日頃赴任する事となつてゐる、なほ古庄新財務部長外遊中は松井部長が代理する筈である
◇安邊新咸北知事　今回の異動で咸鏡北道知事に新任した同氏は二日挨拶のため來社したが來る八日頃赴任する筈
◇大島新全北內務部長　京畿道財務部長から全北內務部長に新任した大島良士氏は來る十日赴任すると
◇池田秀雄氏の退鮮　今回殖産局長を退官した同氏は挨拶のため二日本社を來訪したが來る六日午前十時十分京城發列車で名殘り惜しき朝鮮を去ると
◇今村與氏　忠北警察部長から本府事務官となつて退官した同氏は二日挨拶のため本社來訪
◇湯村新忠北警察部長　七日赴任
◇松村新任土地改良部長　東上中の處三日朝歸任の筈

本社參觀
北滿朝鮮人朝鮮視察團々長金守外六名は四月二日午後本社參觀

茶話
▲校正おそるべし『昨日は東、今日は西』と新聞京城驛長の供入社師長風子の述懷が『今日は東、今日は西』と誤植されてゐた▲文壇『淀のまに／＼移りゆく』は『流れゆく』だらうと一本突つ込まれた、この際訂正しておく▲けふは本府に記念植樹がある然に世界に誇る行事として年々盛んになつてゆくのは嬉しい▲茶話子朝鮮の土を踏んで北行汽車の沿道眼に入る禿山にうたゝ感慨無量▲聞く京城郊外の臥牛山も植栽始つて其頂點に『この禿山が緑のヴエールにつゝまれて初めてわれ／＼は安堵するのだ』と言いておいた、それがけふ行はれるのだ▲山林部の木谷造林課長の話によると現狀から押して十年後には半島の禿山も緑につゝまれるであらうと、それにちがひないとせばわが日本のために慶賀に堪へないことだ

經濟

鴨江流筏減少
鴨綠江採木公司の本年出材數量は昨年より三萬尺締減の三十五萬尺締と豫想してゐるが、現地で大刀會匪の跳梁今なほやまず、その都度東邊道尹を通じて奉天省當局に討伐隊の出動を交涉したが、兵力不足のため討伐不能の狀で、依然用材と流筏作業を妨害されること多く本年の流筏は頗る憂慮されてゐる

博覽會に取引紹介所
目下開催中の東京博覽會に於ては會期中會場正門前に商工相談所を設け取引の紹介其他商工業に關する各種の相談に應ずることゝした殊に取引紹介の點に就いて全國に於ける主要商工業者の優良品を食堂に陳列して居る關係上直接製品と出品者につき取引を開始し得るの便宜があると

局線下旬荷動
三月下旬中の鐵道局線內貨物輸送總量は十五萬六千九百二十五トンで前旬に比して二萬百五十一トン前年同期に比して約三千六百トンの增加である。右は穀類等は多少減少したが水田方面の建築材料たるセメントの增加と本旬に入りて肥料豆粕の輸送が急增したるによるものでこれが局先內一四九二七噸滿洲方面一五六五噸內地着噸一八六八噸其他通帶四二一七噸である

商議役員會
京城商議は卅一日の役員會で商工會議所聯合會解散式には古城副會頭を代表として出席せしめ在來家庭工業の調査は月報に掲載すること、巡回博覽會觀察團は商工業者繁忙期の爲め無期延期とすることを決定した

機關車購入
昭和三年度に於ける鐵道局研究要機關車中六輛は汽車製造會社及川崎造船所に注文することに決定し何れも一輛につき八萬四千九百餘圓にて契約を締結したと

手形交換週報
自三月廿六日至三月卅一日（單位枚千圓）

	枚數	金額
小切手	一四、一二九	七、六四〇
送金爲手	八三一	一、四三〇
約束手形	一、四四〇	八〇五
政府小切手	一、六〇三	一、七四三
郵便爲替	四、九七四	一、三八八
公債々券同利札	一〇	…
雜證票	五九九	六〇一
合計	二三、五六七	二三、七九九
比前週增	三、〇七三	三、九九三

鮮銀券週報
（自三月二十五日至三十一日）（金額單位圓）

最高	[illegible]	一〇六、七四一、〇一七
平均		七〇、一四五、八〇〇
正貨準備		四九、五三一、三五七
保證準備		[illegible]
發行		一〇六、一〇六、九六六

◎株式◎
東株短期後止
▲寄付一七三、四〇▲大引二六七〇▲高値三、〇〇▲安値二六

本玉
二日前場現在における百枚以上の建玉は左の如し
京取　賣方白井三六〇新田三五〇松山一五〇正崎一三〇田中友一〇〇（外小口三店）▲買方田中道五一〇新田三〇〇古川二八〇京取一三〇（外小口二店）▲賣方白井一三〇（外小口七店）
大新　賣方松山七二〇正崎四四〇大林三七〇洪〇一五〇市川一〇〇（外小口一店）▲買方田中道五六〇田中友二四〇白樂二六〇新田一八〇白井一六〇市川一四〇（外小口五店）
▲東新　賣方正崎七二〇大林二三〇市川二〇〇（外小口三店）▲買方市川二九〇白井一九〇新田一一〇白樂二八〇田中道二六〇

◎期米◎
小口六店
▲安取　賣方成槗一〇〇（外小口一店）（▲買方小口二店）

鮮內延べ（二日）
大邱米穀市場
	寄付	引値	高値	安値
三末	―	―	―	―
四中	―	―	―	―
四末	三五六	三五四	三五六	三五六
五中	三五六	三五三	三五三	三五六
出來高	二四〇石			

群山米穀市場
	寄付	引値	高値	安値
三末	―	―	―	―
四中	―	―	―	―
四末	三五三	三五三	三五六	三五六
五中	三五七	三五六	三五三	三五七
出來高	六〇〇石			

各地期米後止
桑名十一番九一▲十二番九一▲名古屋三〇、九一▲熊木三〇、三六▲下關三〇、六〇▲金澤二九、五〇

大阪期米市況（後場）
大阪最終氣配四十八錢　一錢安
村岡鐵野三木上田買り小河常野磯崎買ひて三十四錢と手堅く始まり双力の乘替へに株式筋買ひ踏ひ四十三錢と伸び正米筋賣り押へアト同事と煽付き四十九錢と氣丈に大引した

仁川各店俵合（單位石）
當限賣方　一、二〇七、九
同　買方　一、四〇一、三、九
中限賣方　八三〇九、七〇九
同　買方　五二〇三七〇八〇
先限賣方　六〇一、二〇七〇五
同　買方　一、九〇一、三〇二

東京深川在米
二日現在高は九十萬九千九百七十七俵と前日の在米高に比較して七千六百五十七俵の減少である

仁川大豆本玉表
當限賣方　一、一〇〇一、五〇
同　買方　一〇〇一、八五〇
中限賣方　三〇〇三五〇二〇〇六五〇
同　買方　九五〇五五〇
先限賣方　二五〇〇一五〇〇
同　買方　二〇〇〇一五〇〇五

▲輸入館當限中限先限不申
▲取組高當限中限先限不申
▲出來高合計不申累計七五、五〇〇石

◎市況◎
大阪市中外棉唱へ
前日比較
ストリクトミドリング	四五月積	六三七五	不變
ブローチ	同	四七五	不變
ベンゴール	同	三六五	不變

綿布弱含
米棉二十五錢高印棉四十錢安、材料に三品氣迷ひに新甫廿九圓とボンヤリ各限一二圓方下押し市中現物賣行不振に相場弱含みを示した
京城聯合會　三二〇七▲人參二〇〇鶴館一九八▲金剛山一八一▲長鼓一八一▲福管一七〇▲寶錢一七〇▲双口一六八▲花籠一二七▲飛犬一一、一▲圓面二三〇▲双女二二七

粟軟弱
滿洲粟は依然賣行捗々しからずヂリ安歩調なるが昨日は市中手持筋も相當ある關係にて新配軟弱商城十一圓八十錢鐵嶺十一圓七十錢遼陽十一圓六十錢昌圖錦州十一圓五十錢方下押した。

豆粕引返
先頃の銀安と内地筋の投物に氣を挫かれ九十七錢處まで引緩んだが昨今の銀高に又復含反撥をし直積二圓二錢四月二圓三錢五月二圓五錢と引戻した。

板硝子保合
板硝子は滲近は小口需要は弱々まだ本需要に入らないために商內閑散である相場も黑旗箱八圓と居据つてゐる

過燐酸小弛
過燐酸は先日來四十八錢と手堅く爽張つてゐたが此二三日會社が賣始めたゝめ一圓四十六錢と二錢方下押した

記念植樹

けふは四月三日である。全鮮を通じて年中行事たる記念植樹が行はれる。記念植樹は齋藤前總督作氏の語るところによれば、今より十八年前同氏の發案によりて初められ年々勵行し來たつたものだといふ。なるほど近數年の實績を見聞するも、この日の出動者は全鮮六七十萬人に達し、植栽樹は一千五六百萬本と稱せられるのである。まことに盛んなりといはざるを得ない。われ等はかくまでにも盛んなる植樹をなすにあらざれば治山の實を示しがたきこの朝鮮地方を愍まうとしない。むしろかくまでにも荒廢なる山野を征服して鬱々たる森林に化せしむる事功を愉快なりとする。愛山翁士を獻代より承けて、これをわれ等の時代にわれ等の樹木を植ゑわれ等の林野に化成するのほこりは何ものにもかへがたい喜びでなければならぬ。年々のこの日の出動者が六七十萬なるは未だなほ足らぬ。二千萬民衆最後の一人までにも總出動すべきだ。植樹の化成がもたらすよろこびは一人、百人のよろこびではない。國家を同じくし鄉土を同じくするあらゆる人々のよろこびでなければならぬからである。いな國家と鄉土とを同じくする同時代のすべての人々ばかりではない。實に次ぎの時代の人々のよろこびでもなければならないからである。」

◇

植士の國家、森林の化成はただに治山のため治水のためにたやすからざる功果をなし遂げるばかりではない。むろんそのことも閑却すべからざる目標である。けれどもこの事業は單に左樣なる功利的なる立場からばかり觀察すべきではない。もつと崇高なる、もつと偉大なる見地を發見することが出來るとわれ等は考へて居る。すなはち端的にこれをいはば、それは『愛』だ。愛國愛林は取も直さず愛、植林におよぶだ。いはんや人間相互おやその人間としての愛、愛國愛林は樹林そのものを愛するとの愛林の精神を發揮することだ。しかも愛國愛林は樹林そのものを愛することのみを意味しない。その鄉土の愛と、その時代の幸福と、更にその次ぎの時代の幸福をさへも基礎づけんとする人間の崇高精神を顯示することをも意味するのである。記念植樹は強ひられたる行事ではない。わざとらしき儀式でもない。われ等の鄉土愛國を、われ等の生活を一層崇高に一層快適ならしめんとする本然の要求を充たすための祭典であり、努力である。われ等が之を最高意識とし最高道德とするゆえんはこゝにある。それも避けがたき道理があるわけではない。動しがたき理由があるわけでもない。一本の樹手が牛ち最高最善の外談であり、一般國が牛ち最高最善の道德の顯現であること、此國民のごときはない。それは老若男女をえらばぬ、國籍職業をえらばぬ、一塊の苗木と一塊の土くれと、これあれば即ちけふの行事とけふの儀式は、無窮のほこりの中に、また無盡のよろこびの中に興され得るのである。」

◇

この意味にわれ等が記念植樹を重しとするところを語るならば、植樹は木を植ゑるといふことである。國家を愛することは各その分に應じ一本の樹をからしめるがごとき、その麗々しき愛兒の死と感慨を同じくするの機地まで植林木を植栽することによりての完結するものではない。植栽したものは中途枯死したり折損したり野火に燒かれたりすることなしに、すくすくと生ひ育たしむることをも含むものである。一本の樹を植ゑることは一本の國家を愛すると同じことである。一林を育つるは一林を失はざると相如くものである。鄉約は生産なりとの平凡なる眞理はこの植樹の場合においてもその通り適用せられるのである。植樹にして折損され林相萎縮となるものが野火の襲ふところとなるがごとき、その麗々しき愛兒の死と感慨を同じくするの機地までわれ等の同胞をして植栽あらしめたい。國に鄉土愛に生きんとするものはよろしくかゝる理想を胸奧に温へ、時に節ひ所に節ふて、自ら實踐すると共に獎勵を指導するやうにすべきである。」

裁きの廷の廿年(12)
古い殻を脱ぎ捨てゝ
夕立があれば雨の歇むまで休憩
法廷は焦熱地獄で汗ダクダク

狹い第一號法廷や第二號法廷だけでは到底百名以上の被告を容れる事が出來ぬといふので、こゝに此大公判にだけ間に合せるといふ假建物で急造されたのが今の第四、五、六、七號の四つにしきつて臨時法廷にあてられてゐるバラック建の法廷である。との

法廷 は工費七千圓で總督府營繕課で公判廷臨時になつて起工したものであるが、工事場には高級のアーク燈が數ケ所に點ぜられ大工、石工、人夫等約二百名が徹夜で工事に努めさながら、戰時の樣な大活動で僅々二十日間で竣工した。そして速成建築の新レコードを作り當時の建築界を驚かしたといふ有名な工事であつた。敷地は平理院時代からの池のあつた所で、その池が

何故 にほられたものか、また何が沈められてゐるかは韓國政府時代の裁判官の外は誰も知るものがない、寄を好む迷信家達は當時斬首された罪人の死體を沈めるために掘られたもので、その底には何百といふ死體が沈められてゐるとか噂されてゐたが、與所が地所なので一般にそれが可なり事實として信じられてゐたものであつた、その池はこの時すつかり埋られてしまつた

急造 の大法廷は激成したそしてその翌日から公判は開廷された。新法廷には百廿六名の被告と、十數名の辯護士と、それから百五六十名の傍聽者を收容する事が出來た、しかし何しろ屋根の事とてヂリ／＼てりつける炎熱はトタン屋根を焼いて、中にをる者は蒸される樣な暑さであつた、それでもボタン一つはづす事のならぬ嚴肅な法廷である、法服の裁判官は背中に瀧の樣な汗が淋漓と流れる。裁く人も裁かれる人もまた傍聽きく人もまるで

焦熱 地獄の苦しみであつた、また時々夕立が降つて來るとトタン屋根に打ちつける雨の音で裁判長の審問も被告の答へも少しも聞きとれず、そこでやむを得ず裁判長は

『雨の歇むまで休憩』

といふ異例な無期休憩を宣した事もたび／＼あつたといふ、また每々正午の休憩には構內の日陰のケ所には傍聽席から吐き出された人々が陣どつて辨當を喫し、そこには

食器 が散亂してゐて狂時のうたげのあとを思はせたものであるといふ

被告は柳東說を除いた外は全部憲兵警務總監部で自白した犯罪事實を否認したが、尹致昊以下百六名は有罪の判決をいひ渡された、その有罪の宣告を受けた百六名の被告は直に不服で覆審法院に控訴した

控訴 公判もまた矢張この法廷で、翌大正二年四月から開廷された裁判長は鈴木伍三郎氏、陪席は現京城地方法院長の原正鼎氏と丸山阿太郎氏、檢事は當時京城覆審法院檢事長であつた中村竹藏氏等で、辯護士には大久保雅彥氏、鵜澤總明、京都の勝本勘三郎の諸氏等內地の錚々たる辯護士連が

乘り 込んで來たのも、この第二審からで、中でも大久保雅彥氏の如きは有力な反證を擧げて熱辯をふるひ『京城にこの名辯護士あり』と名を上げたのもこの時であつた（氏はその後間もなく病死した）そして第二審では、第一審で有罪の判決を受けた百六名の被告の中、尹致昊六名だけが有罪となり、他は全部

無罪 となつた、この公判で外國人間にまで名判官として名聲を博した、鈴木伍三郎氏はその後名古屋で辯護士を開業してゐたが數年前病沒した、丸山阿太郎氏は今なほ東京で辯護士を開業してゐる、中村竹藏氏もその後官を辭して今勢の津市に辯護士を開業してゐるといふ（寫眞は當時の陪席判事たりし原京城地方法院長）

極東ユダヤ自治共和國

【ハルビン一日發】當地ロシヤ側に達した情報によるとモスクワ政府の極東ユダヤ自治共和國建設計畫は漸次具體化し代表ドクター、サイルヴェルマン一行四名はモスクワより浦潮州（ハバロフスク）に到着することとなつた、現下露國內の各都市を中心に約三十萬のユダヤ人が昭和年中に約二千萬の計畫を進めてゐる、同年中にアムール州のビールスタビレジャンスキー（面積二百五十萬ヘクタール）地方に移住するはずであると

メートル制に電話規則改正
四月一日から實施

【東京】遞信省では今回電話の技術に關するものに總てメートル法を實施する事となり、これに伴ふ電話に關する諸規則たとへば共同線加入および電話加入の制限、距離區域外加入の電話距離、接續料附加使用料等もことごとくメートル法により四月一日から實施することとなつた

御大禮獻上手續
內規を設ける
國民の赤誠を容れて　地方長官に內達

【東京電話】御大禮を前に各地方團體並に個人から宮內省に對し大禮獻上品の申込みおよび手續き方法を頻に問合せて來る宮內省ではそれ等について打合せを行つた結果國家的御慶儀たる御大禮を祝ぐ國民の赤誠に鑑み獻上方につき指示指導するに決し獻上方法を以て近く大禮獻上品內規を制定し四月中までに各地方長官に對し內達する事となつた、右によれば各地方長官は內規により獻上品の選擇をなした上宮內大臣に獻上しこれは總て赤坂離宮に陳列して大禮終了後觀覽に供することゝなつてゐるな獻納品は國產物品に限り殊に易きものは保管上の困難から受けつけぬ事となつてゐるが天皇陛下御研究の植物學御研究材料又は御研究中の陸稻等は何等差つかへないことになつてゐる

今迄不可能だつた
馬鈴薯の二期作
水原模範場で成功　食糧政策上に貢獻

朝鮮農業界の水先案內として水原にある總督府勸業模範場では昔國將來の食糧問題解決上良種の馬鈴薯二期作の成功を收めた、これまで馬鈴薯の二期作が朝鮮では不能となつてゐたのは、主として馬鈴薯の休眠期が長いのに反して成熟期が短かいためであつたが、今回同場で苦心の結果、馬鈴薯の二期作を完全に成功させることに成功した、その方法は二つあつて一つは智利硝石の四乃至五パーセント液に約一時間ひたすもので、他の一つはエチレン、クロールハイドリンで一日間燻蒸するもので、この方法が前の方法よりも効果が大きい、いづれにしても秋季の收穫が五割乃至九割を增すといふことで米國でも最近同じ方法で試驗したさうであるが、やはり模範場の得た成績を凌駕してゐるさうで、この馬鈴薯は氣候の影響を受けることが少く、またどんな痩土にでもよく成育する上に栽培も容易なので全鮮至る處で盛んに栽培されてゐる、昭和元年中の生產額は約一億二千萬貫を示し北鮮から七割を出してゐる、しかしまだ／＼十分とはいへぬ、もつと栽培しなければならぬといふのは北鮮では農民の生活程度がひくい關係から高い米を買つて、その代用に馬鈴薯を消費してゐるのでまだ他に大消費するまでに至つてゐない、その馬鈴薯が二期作に成功したことは農家にとつては福音で、このち馬鈴薯の耕地をふやさずとも收益はふえ、農家のふところが段々あたゝかになるであらうといふものである

二月中の簡保事業成績
遞信省發表

（東京）遞信省の發表になる二月中簡易生命保險事業の狀況をみるに月末現在契約件數は千百二十六萬三千八十三件、保險金額十四億四千四百六十一萬六十六圓にして之れを前年同月に比すれば件數において百五十九萬六千三百九十三件を增加した、新契約件數は十三萬二千六百八十四件にして平均保險料八十四錢である、次ぎに復活死亡件數をみるに復活件數は七千二百四件にして前年同月に比し二千七十三件多い、死亡件數は一萬六百三十二件にして死亡率は、〇〇〇九四であり更に失效、解約件數は六萬六百八十九件にして失效解約率は、〇〇五三九である、滿期件數は千三百八十五件である、なほ各遞信局別に新契約數および保險料をみるに左の如し

遞信局	件數	保險料
東京	二九、八〇三	三五、二六五、九
名古屋	一五、三一二	一〇、六四四、三
大阪	一三、五九七	一三、九〇一、一
廣島	一三、〇五五	一三、三五三、一
熊本	一〇、五四四	六、七一八、四
仙臺	六、九八八	四、六六九、六
北海道	五、四四三	五、六六九、七
南洋	―	―
關東州	九四〇	一七二、三
樺太	一、〇二九	四四九、八
臺灣	一、五〇四	二、五三一、八

叺と堆肥褒賞授與式

慶山郡叺組合主催叺優良多數者表彰並に堆肥品評會褒賞授與式は三十日午後一時沙里院小學校で擧行され來賓多數參列し會長の告辭あり次いで知事の訓辭、褒賞授與等あり

春萌えんとする
碧蹄館を訪ふ（上）
池上政務總監に陪して　向江生

池上政務總監は本月中旬京城郡部の道路開通式に政府委員として出席するため上京する事になつてゐる、上京を前にして出來るだけいきた朝鮮の風相に觸れて置きたいと一日の暇を利用し郊外の碧蹄館を觀察した、當日の行程は京畿道は良し小早川隆景戰蹟の跡を訪ひ察の感興に觸むといふ細い氣分であつたが米田京畿道知事や李京畿參與官がおともにまかり出で西大門署からは清廐の警官を數名差向けられるなどで、すつかり大がかりな巡遊になつてしまつた。

◇

午前十時總督府官邸を出た西泰の自動車は一氣に四里の道を突破し目的地に着く、郡守、學校長、面長、土地の有志が嚴々しく出迎へた中を總監は例の通りで、自動車をドりて一行はまづ碧蹄館に入つて、李京畿參與官から碧蹄館の由來の史蹟に關する說明を聞く、この建物は慶長役に一度も兵燹を加へられず妙齡の昔から今日にいたるまで三百餘年間風雨にさらされてゐるので非常に傷んでゐる、愈にここを總督した所の史蹟を保存にすることにしてこのまゝでは捨り館の保護を改出したので數棟が玉を運んだり瓦を入れたりして大修繕を加へてゐるが、この建物は明時代、この建物が最も古く使用されたとかこれに新たな附近の史蹟を一應說明したが時々その方には案內で興味を示さぬはずの米田知事がトテモ熱心に說明をしてゐた、かくの如き史蹟には中々角にはあけぬ人である、それから裏手の高臺に登る、こゝからは朝鮮が利き文祿の役に小早川隆景と立花宗茂が明將李如松を迎撃したといふ古戰場は全く一望の下に眺まるのである、十數年以來この戰場に居て戰跡何百何千人かの使者に說明を加へたといふ案內者の佐伯園氏が戰勝圖と磯ドする地圖とを對比して手に入つた說明をする『勝ち誇る敵軍は凄げる明軍を追つてソレ、その碧蹄館の山の下手で數千の首をきつた所で、今でもそこを若殺場といつて砂が血であかく染つたといふ意味の噂名がついてゐます』と說明

明軍李如松を追ひ小早川隆景や立花宗茂等の雅勝が前線の甲をかけたといふ拝中樹の柵の附近に總監の一行を物珍しげに集りながめてゐる白衣の朝鮮兒童の方へ總監はアカ／＼と遊み色々な話を持ちかける、中に內地語の判る兒童がゐて總監の相手になると總監ともが鮮を遁るのを喜びになつて

我が軍の追擊がそこまでで中止されたといへば總監『おしい事ちやそウ一足追へばよいのに』と冠兄な事をオッシヤる、

『オウ……さうか／＼』と大滿足してゐるといふことである、これであら／＼せて來たサンドウイッチが總士さんの手から持から兒童のへ手、與られる、殊勝なる貧物に有ついた、子供達が各自の嬉しい顏をしてゐる圖を見て一般に『可愛らしのちや』と總監は語つたで見るのであつた、まずは將中樹の邊りで寺衣の兒童と語る一時（未完）

京城見物
李王家のお庭
和島紅雨

秘は未だ東京の中央新聞社にゐた時、外務大臣の夜會、即ち天長節のあの盛觀な夜會に招かれたことがある、今の商工省政務次官の吉植さんが社長の頃である、年若い一記者として、あの奇麗な庭園や美しい數々の花に魅せられた記憶が未だに消え失せずにある、それからやまゝ朝鮮時代だと記憶してゐるが、新宿御苑のあの立派な櫻の花、さう／＼あの有難い觀櫻御會に拜見した園と櫻、それから宮內省記者團を出て行くと宮城の紅葉山、お局部屋の近くにある櫻、實に日本新聞の社會部長時代に拜觀の光榮に浴した赤坂離宮の菊、新聞記者でなければ滅多に拜觀の出來ない光榮、浴した私は、朝鮮に來てこゝに李王家の秘苑を、しかも時間はづれに肥田代議士と共に拜見することを得たのは、誠に有難い仕合せといはねばならぬ。

それで私は今、往時を回想しながら喜びの雛を廻らしてゐる。友人の肥田代議士が來鮮したので共に朝鮮神宮を參拜した歸途、小雨が降つてゐたけれど、折角來鮮したのだから李王家のお庭を拜見さして頂ひなさい、とすゝめて依光秘書官を煩はし、李王職に交涉して直に許諾を受け、總督府の名倉技師の案內で自動車を走らしたのである、自然の丘陵を取入れて十二萬坪、說明を聞いてまづ驚かされた、一日勞働人夫二百人で掃除が行屆きかねるさうだが、さもあらうと思はれた、秘苑にある太極殿といつて王様が一週一度內御散步の折御休みになられる建物を拜見しそばにある藥水をも頂戴して掬したが、ラヂウムを多量に含んでゐる結構な清水であるのだと說明されたとへ私の飮んだのはその直下にある唯の清水であるとはいへ實に如何ないと思つた、それから平常御宴會遊ばされる御殿のおそば近くまで案內されて拜見した、建物の多くは三百年以上を經てゐると聞いたが、建式は如何にも原始的な素撲そのものゝやうな朝鮮建築を避るゝ感で、有益にかつ興味深く拜見することが出來たのは有難いことである

お庭の風趣については勿論ないものである、聞く處によると、或る迄所までは花時に時間を限つて拜觀させるさうだが、いよ／＼以て有難いことである、こゝで私の感じたことは、京城の眞ん中に十二萬坪といふ廣大なお庭が、李王家時代そのまゝの形で今日もなほ存在してゐるといふことである、これは內鮮融和の精神といふ點から內地人にも朝鮮人にも忘れてはならない、と思ふ、私はお庭の拜見して、平常ゆきかひ申上げたくない事の多いことだが、要慰を廻らしたのである、肥田代議士もまた、しばし私と語りつゝ、朝鮮の御様子の一層盛んならんことを期しつゝ、感慨無量であつた（未完）

當選御禮

今般釜山商業會議所評議員改選に際し不肖等當選の榮を得候事は偏に有權者各位の深甚なる御厚情御後援の賜と存じ奉感謝候
不取敢以紙上御禮申上候　敬具

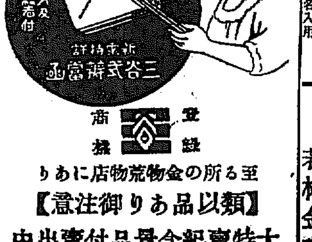
（イロハ順）

釜山商業會議所評議員

石原源三郎
伊藤庄之助
池田綠次郎
岩橋一郎
濱田惟怨
西野爲作
富原研二
小原爲
香椎源太郎
谷本喜代一
立石良雄
田口愛治
大黑南海堂
堤貞之
中谷廣吉
內藤八藏
山村正夫
五島合名會社
小宮萬次郎
東原嘉次郎
淺野幸太郎
淺谷長輔
澤山兄弟商會
木下元次郎
水野巖
崔浩成
金斗瑟
金章泰
金升泰
尹大善

小賣店新商賣　ハギレ卸問屋　大阪市南區日本橋筋三番丁九六　岡田商店

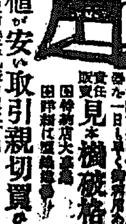
製造問屋　新案玩具　若林金次郎



三谷式辨當函　至る所の金物荒物店にあり　【類似品あり御注意】　大特賣記念景品付賣出中　大阪三谷式辨當函製造元

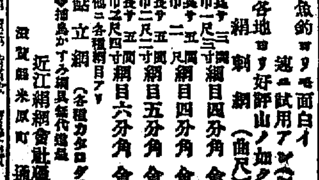
男女　電療學士養成　大阪市　東洋電療專門學院

堺庖刀　諸刄物　品質優良　發賣元　酒井包義商店　大阪市



特許エス式氷削機械　見本機破格提供　機械が良くて値が安い取引親切買ひよい店　日本勸農社

肺病　難病根治の秘書！　「全快の栞」無代進呈　岡本幾太郎



魚釣　面白イ　各地ヨリ好評山ノ如ク來ル　絹剌網　近江絹網會社　漁具研究部

尿の病　淋尿煎　小便が近く…小便が…　長倉製藥所

ヒフ病に…ハイルハイル　本欄特別廣告取扱　大阪浪速廣告社

税關の立場から觀た 國境の特殊事情

新義州税關長 澤慶治郎

◇社會上の事象は表面單純の樣に見えて而も交互に複雜微妙な關係のある場合が尠くないのであるが税關の立場より國境の地方的經濟現象を觀察し亦其の感を深ふするものがある

◇新義州に於ける商工業の消長に就て關税制度の變遷又は關税改正の歷跡より沿革的に之を考察するに先づ商取引の方面に於ては併合後大正九年までの舊關税制度時代には關税率が現在の支那に於けるが如く從價五分か七分五厘の低いものであつたことと其の他國境特殊の事情に基き安東を重なる取引市場とし例へば日用雜貨類の如き商品は多くは對岸から供給を受けて居つたのであるが大正九年所謂統一關税制度實施の結果內地税率が其の儘朝鮮に施行されることとなり而も其の税率は前の三倍乃至七倍と云ふ高率に變つた爲從來のやうに安東より輸入することが採算不利となり勢ひ內地取引へと經路が一變するに至つた即ち內鮮間關税制度の統一に依り新義州は商業經濟の上に於ては安東の商權より解放せられ商取引の沿革上一時期を劃するものと云ふべきである

其後大正十二年移入税の撤廢に依り對內地取引に一層有利の影響を與へ就中市價の低下を促進した爲に物資の需給を圓滑ならしめ尙此の關係は鴨綠江二百里の流域一帶にまでも及んで約二百萬圓の商勢力を新義州商人の手に收めることが出來た更に大正十三年所謂實質關税實施の結果絹布等は實際上殆ど輸入禁止の狀態に陷り當地の對內地取引關係は爲に一層密接且濃厚となつて來た

◇次に關税の改正が當地方の工業的方面に如何なる影響を與へたるかを觀るに統一關税制度實施及移入税の撤廢に依る影響としては殆ど見るべきものが無かつたけれども奢侈税の施行は家內工業的生産に刺戟を與へ一時擡頭を促されたものも多少あつたことは事實であるが密輸品の跋扈跳梁に依り忽ち壓倒せらるゝ運命に陷り折角の保護關税も工業的方面に充分其の効果を現はし得なかつたのは遺憾なことと謂はねばならぬ當時燒酎や酒精の密輸入が年額二百萬圓絹布の密輸入が年額百萬圓を下らぬ見込であつた事實に徵しても猶叙消息を窺知するに足ると思ふ併し最近に至り關税警察機關も略ぼ充實し漸次反則も防遏せらるる機運に到達したので當局の奨勵も加はり現に燒酎製造の如きは漸く頭を擡げて來たことは明に認めらるゝ事實であつて關税制度を經濟政策又は國民經濟と云ふが如き大きな關係を離れ極めて狹い地方的の見地より觀察しても其の影響の現はれが如何に切實なるかを窺ひ知ることが出來る木材工業の如きも彼の木關問題が解決するに至らば將來刮目して觀るべきものがあらう

◇更に眼を轉じて當地消費者の側より關税關係を觀察するに由來關税は多くの場合間接税たる性質を有し輸入者の納むる關税は消費者に轉嫁せらるゝのが常態なるが故に關税が高ければ高い程消費者は理論上高價の物資を消費する結果となるも商人の手に依り商品として輸入せらるゝ場合には關税負擔の關係は間接である爲に消費者は殆ど意識せずに之を負擔し居るやうな狀態で比較的苦痛を感じないが消費者自ら即ち自家用として輸入する場合には關税負擔の關係が恰も直接税の關係となるので苦痛も深刻であり從て假令國內産業の保護奨勵と云ふ國策に基くにせよ之を喜ばぬのは人情として亦無理からぬ點もある

◇今新義州地場の直接消費に當てらるゝ物資の內木材や石炭の如き工業原料又は工業助成品を除き主として生活必需品と認むべき物資であつて對岸安東より輸入せらるゝ額を調査するに一ヶ年少くとも七十萬圓を下らぬ見込であるが其の內自家用として携帶輸入せられ關税の免除を受けたものは昨年中の實績に依れば凡そ左の如くである

種別	價額
穀類	一四、五八〇圓
其他の食料品（主なるもの砂糖）	一一四、四八〇
布帛類	六、四九二
其他の衣料品	四、一四〇
雜品	一一、六九五
合計	一五一、三八七

◇以上の表の內砂糖の如きは其の數量平均七百四十斤以上一ヶ年二十七萬四千四百四十斤（即ち一千七百十四俵）に當り價額約七萬圓税金の免除だけが三萬圓以上に上る夫れに日用雜貨品の價額五萬餘圓もあり即ち夫れ丈消費者は關税負擔のない物資を消費して居る形となるのみならずとにかく一般商品の市價を牽制するので當地は同じ朝鮮の內でも他の都市に比較すれば消費經濟の上に於ては頗る有利の關係に在ると謂はねばならぬ併し商人の立場より之を觀れば其の利害關係は全然相反することとなるは言ふまでもない即ち前記各種の免税品は多くは元來課税せらるゝものなるが故に若し課税せらるゝとすれば恐らく總て商人の手を經て輸入せらるゝこととなるであらうと思はるゝ夫れだけ新義州の商人には不利の影響を與へ居る道理である此の狹い土地で一ヶ年二十萬圓の商賣上の相違は實に當地商人の利害關係上相當重要の問題であるのみならず土地の繁榮上亦輕視出來ぬ數字と思ふ

◇新義州は前に述べた如く關税制度又は關税の改正に依り商取引の方面に於ては特殊の商品を除き大體安東の商權より獨立し得るに至つたけれども消費經濟の關係に於ては却て安東の商權內に立つが如き狀態に陷りたることは注意すべき事であり此の點は商人側にも消費者側にも考慮すべきものがあるやうに思ふ國內産業の保護奨勵貿易の伸長促進を重要の使命とする税關の立場としては之を遺憾とすべきことは勿論なるが世界の實勢であり從て商品市場的價値であり低廉な原料は云はずもがな生活必需品さへも大半は國外に仰がねばならぬやうに天然の資源に乏しく從て物價の極めて高い國と接して居る場合に於て水の低きに就くが如く物價の高きに向つて流るるのが經濟上の原理であり商品は價の高きに向つて流るるのが經濟上の原則であるから關税障壁に當面する國際上相當の輸入に障碍を設けても尙物資の移動を統制せむとすることの困難を痛感せざるを得ないのである

慶尚南道

釜山商議 選擧終る

有權者九百八十二名中 棄權四十一

釜山商業會議所議員改選は一日府廳樓上の選擧場で擧行したが前日松岡龍太郎氏の出馬撤回の爲代表安井浦英氏の出馬で各派を通じて猛烈の度を增し更に鳴りを靜めて機をうかゞつて居た選擧之氏が醸造業、釀酒販賣店を背景として突然名乘をあげたので混戰となり爲に內鮮各候補者は一日朝から選擧事務所を設けて有權者の結束に運動員を督勵する一方統切り自動車を驅つて府內有權者の狩出しに努むる等百方手段を講じ正午までに約三百票の投票あり午後に至つて漸次增加し午後三時までに全部終了し香椎選擧長武久、阪田、魚大成兩立會人立會の上で開票し有權者九百八十二名中棄權者四十一名、投票總數九四一票中無効三票、有効投票九三八票で左の如く當選となり午後四時半終了

◆內地人評議員定員廿五名
九五 山村 正夫（新）
五六 谷本嘉代一（新）
五五 香椎源太郎（再）
五四 立石 良雄（新）
四七 五島合名會社（新）
四六 西野 爲作（新）
四六 濱田 恒惣（新）
三七 石原源三郎（再）
三六 迫間房太郎（再）
三四 中谷 竹吉（再）
三三 伊藤任之助（再）
三〇 水野 巖（再）
三〇 小原 爲（再）
二九 渡谷 長輔（再）
二七 澤山兄弟商會（再）
二七 東原嘉太郎（再）
二六 小宮萬次郎（再）
二五 田口 禎治（再）
二四 木下元次郎（再）
二四 宮原 研二（再）
二三 內藤 八藏（再）
一六 桃 貞之（再）
一六 大黑南會（再）
一一 岩槻 一郎（新）
八 池田錄次郎（新）
次點一票 慶南信託社

◆朝鮮人評議員定員五名
二一 崔 浩成（新）
二〇 金 斗必（新）
一六 金 瑋泰（新）
一三 金 升憲（再）
一二 尹 大善（再）

全南方面へ 電話直通

釜山郵便局では慶山方面から全羅木浦、光州方面へは郵便その他の關係から通話の要求が頻繁であるので遞信局では本年度に於て直通線を架設して一般通話の便利に供する事になつて居るが該工事は近く着手さるゝ筈で完成の曉は一層便利を加ふる筈である

鮮令

慶南警察部長では三十日付にて左の通り任命をした（釜山）
任巡査部長 岩田 國藏
任道警部補（高等課） 同 和田 平一
同上（同上） 同 熊谷 新作
同上（同上）

話を開始する事となり試驗に通信を開始したが現在の晉州順天にて中繼を要するのでこれを接續して直通線となすはず

馬山の櫻 中旬が見頃

夜櫻の裝飾に取掛る

南鮮の櫻はまだ遲いが海岸の櫻は早くも春風の訪る處となり櫻風に水一時に來を思はしめて居るが櫻の枝頭には早くも紅色を匂いて全くツく/\と突きかけ中旬頃が滿開で蕾は開きかけた、八日頃からはボあらうと思はれるが、馬山府年中行では馬山府と協議して例年の如く馬山神社や馬山公園に夜櫻の裝飾設備に取りかゝるべく、花見界においても各料亭が成るべく美しい趣を集めて花見踊りの計畫が進められつゝある、一方太郎方面、統營方面、晉州方面からの花見團體もくる準備が着々と進められてるらしい、馬山地方もこれから益々賑かになるであらう

火砲祭と觀櫻デー

馬山重砲兵大隊では來る十四日の土曜日を卜して本年はじめての試みとして火砲祭を執行、多數官民を招待して祭典および觀兵並に實彈射擊を開き餘興として觀兵および官民の出演にかゝる各種の餘興もあるが翌十五日の日曜日は觀櫻デーを催し一般官民の爲に營內を解放して各種の餘興を催す事となつた（馬山）

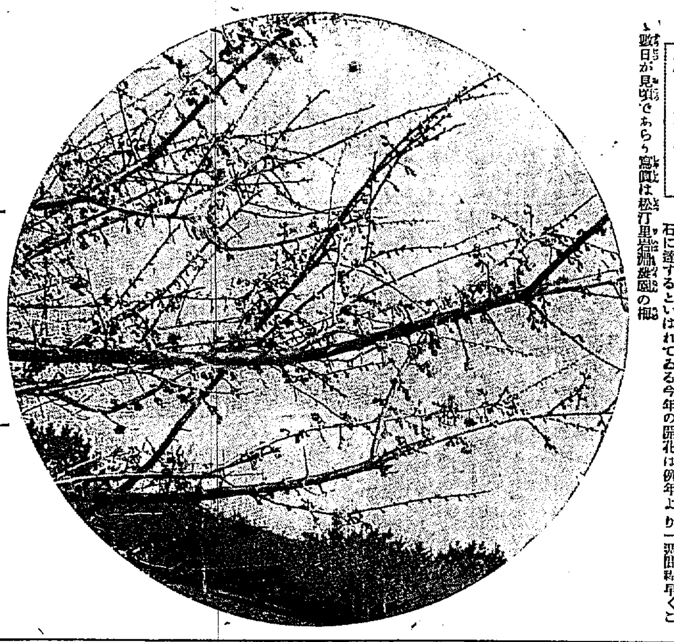
平安北道

異動したひと/\

矢野財務 今回營林署長に榮轉した財務部長矢野桃郎氏は『在勤二年、別にこれといふ仕事もしなかつた、平北は國境といふ關係で燒酎の密輸が八千石もあるので道內の生産を盛んにして國家收入をあげやうとしたが、たいした成績もあがらなかつたと謙遜してゐるが氏は來任當時人事の刷新を圖り同時に內部行政の統一を期し着々之の實

梅の初便り

全南の松汀里は梅の名所として聞こへてゐる果實の收穫も六百余石に達するといはれてゐる今年の開花は例年より一週間程早く數日が見頃であらう寫眞は松汀里岩瀧農園の梅



澤林務課長

林務課長に榮轉の澤慶治郎氏は『新義州税關にはなすべきことが澤山ある之れを殘して去るのは惜しい殊に今回漸やく人員增加の目的を達し日本唯一の陸接國境税關として活動すべくお膳立をしたところであるから心殘りがある』と言つてゐる國境税關の監視網を完成せしめたのは全く氏の計畫に成るものである

劉參與官

江原道に轉任の參與官劉鎭淳氏は去る明治四十三年溯原郡守として來任平北道に在勤すること二十年の長きに及んでゐる氏は語る『私が官界の第一歩は明治四十一年三月三十日で二十年後の恰かも同月同日本道を去るといふことは奇しき因縁である揶揄以上の親しみある平北道を去ることは忍びないが然し他道を知らぬ私としては却つてよいかも知れない』尙氏は平南平原郡の人で在任中直接間接道治に貢獻したところは尠なくない（新義州）

教職員異動

任	氏名
任宜川普長	西宮龍太郎
任江界普長	筒井 澄人
任中江鎭小長	田中佐記知
任楚山普長	森川 信吉
任碧潼普長	齋藤 昇二
任昌城普長	坂本 常吉
任朔州普長	稻月 茂
任雲山北鎭小長	宮田 重
任內中普長	錦田 牧保

任慈城普長 奈良虎治郎
任龍岩浦小長 高塚 雅夫
任雲山普長 內海 竣
任熙川普長 伊藤 中
任楚山普長 堀舘忠三郎
任高山鎭普長 渡邊 彦
任嘉南普長 筒井 武
任球場普長 和田 勝男
宣川公普校長 三木 松尚
楚山同 杉崎 稱五郎
慈城同 石淵 登
熙川同 梅澤朋三郎
內中同 丸毛 林造
球場同 川原芳太郎
雲山同 篠田 駒吉
新義州公普訓導 松崎 辰次
新義州公小訓導 井上 雪町
同 向山 千代
同 上田 彌惣
定州公普校訓導 內尾 エチ
同 川上 久
武坪同 長見 光代
朔州同 片桐 ハマ
新義州同 白 潤成
龍岩浦公小訓導 李 一潤
佐藤免本官（各通） 朝田 ミツ
玉泉公普囑託 文扶 斗星
龍岩浦同 末田 政子
清城同 林 明熙
願に依り囑託を解く（各通）
昌山公普訓導 洪 淳
東林同 閔 文長
定州同 中島 忠次
休職を命ず

兩郵便局新築

遞信局では新義州および龍岩浦の兩郵便局舍は頗る狹隘を告げ改築の要に迫られ近く着手し鎭南浦局に新築する事に決し近く建築に着手する筈であるが何れも約七十坪の木造平家で八月までに竣工のはず

平北から

◆鹿兒島縣大島郡生れ當時新義州鐵井町六有馬某（三二）は安東縣正木清次郎氏に屆けれ新義州における同氏の借地料取立をなしつゝあつたが朝鮮人酌婦に溺れ二百餘圓を毀ち込んだと發覺し新義州署の取調べをうけてゐる

◆鐵山郡水鐵公立普通校は最近校舍を增築し學級を延長し六學年制を施行したため志願兒童も尠なく定員に充たぬ狀態であるその理由は從來經營して居た寄宿舍が經營不足のため有名無實となつたに因るといふので今回民は普校後援會を組織し一戶税比例により約五千圓を醵金しそれを基本金としてその利子を以て寄宿舍の復活を圖るといふのである（新義州）

平安南道

平壤の降誕會

全市を花で埋める計畫

平壤佛教會では例年の通り四月八日の釋迦誕辰には午後一時から公會堂に於て大會を開き花祭を行ひ稚兒行列、樂隊や大白象にのせた誕生佛を先頭に太白象にのせた誕生佛を擁して二十名の稚兒に一隊の人も加はり公會堂から山手町、大和町、黃金町の順に賑ある大行進を行ふはずであるが當日は花をもつて全市を美しく飾る計畫である

飛行隊 記念式

創立來る八日 盛大に行ふ

平壤飛行第六聯隊は來る八日午前十時から官民五百余名を招待し創立七周年記念式を擧行する當日は特に觀兵式以上を同隊兵營に開催する外に戰時行進演習から飛行演習まで約十五台の飛行機が五機を配置して來賓者の便宜をはかるはずで飛行演習並に航空閱覽、餘興等を催し物のため數萬の府民が殺到すべく豫想されているなほ記念式典次第は左の如し（平壤）

一、式典午前十時より
二、飛行演習午前十時三十分より
三、航空展覽會午前十時卅分より
四、宴會 正午
五、餘興午後一時より四時まで

なほ當日市中に花の飾りを爲せる外各商店の軒先装飾および各戶には花を以て飾り全市を花を以て埋める計畫である（平壤）

合財袋

◇……昇格した平壤醫學校は目下新入學生五十名を募集中であるが受付は廿日まで試驗は二十三、四、五の三日間二十八日成績を發表する

◇……平壤電車料金五錢均一制になつた結果日増電氣に故障を生じ三十分程立往生

◇……鎭南浦府廳ではメートル法實施第二年記念の爲め一萬枚のビラ數千枚を市內に撒布した

◇……平壤府廳では府費醫院主催で來る六日午後二時から會議所で開催

◇……一日午後五時過ぎ鎭南浦碑石里九〇金基德方宅の松葉から出火金基德宅及隣家を燒失七時鎭火

◇……兵舍新築委員會は五日午後二時から平壤府廳會議所で開く

◇……平壤醫協總會は卅一日午後一時から府廳樓上で開催、役員改選、二年度決算報告、三年度豫算案を附議す

◇……鎭南浦府立幼稚園は一日午前十時入園式を擧行入園兒は五十三名

◇……姦夫と共謀して夫を殺した黃海道遂安郡富民面安明里朴先批（二四）は上告棄却となり三十一日午前十時半平壤刑務所で死刑執行

水産品檢査成績

鎭南浦水産品檢査所の二月中の檢査成績は鹹鮮鮭魚數六二六件數量二四八二七、鹹鮭二、八七一、九三六斤金額一〇八、五四八圓でこの內七五九件九八、〇五三斤一五、九六三圓不合格として返還された即ち三分五厘に當たるこれは昨年秋から業者に對し一般的に檢査を嚴重にした爲年の大正十八年の同期に比し

全羅北道

鎭安の鑛山に

久原が着目

鎭安郡一帶は古來金、銅、黑鉛、石炭石、滑石と鑛石に富んだ土地であるが交通の不便と資金難の爲そのまゝ埋藏のやむなき狀態にあるが最近久原鑛業はこの附近の將來も有望なるに着目し近く尾山技師を同地に出張せしめ實地踏査を行ふこととなり管理者の山田弘殿氏に依頼して來た（全州）

錦山に電燈

大田電氣を送電

錦山は南鮮に次ぐ都會であるが未だ電燈の設備がないが先般大田電氣から送電方を申込んで來たので市民協議の結果點燈することに決まり近く點燈するはずであるがその曉は市街の面目を一新することであらう（錦山）

店員慰安運動會

五日群山で擧行

群山の店員慰安春季運動會は來る五日群山公園下グラウンドで開催することゝなつた參加する店員の店員その他を合する時は約五六百名に達する豫定でこれが經費として一千圓を計上し商工組合、會議所、米穀組合から六百圓其他の寄附を仰ぐ豫定で

……その直接市場から支那に輸出せらるゝものは極少で大部分は神戶下關等の市場に移出し同地から更に南支方面へ輸出せられてゐる（鎭南浦）

比するときは約四倍に相當し又前年の總數量に對しては優に二倍に近き增加を見たこれ本年において各種製品の出廻り旺盛を極め從來當所受檢品の大宗としてその大部分を占めた乾玉筋魚に拮抗しうるに至りたる爲で受檢品種は平安南北、黃海各道の地方的特産品である水産製品中淨乾蝦、蝦脯乾蝦、櫻蝦の如き輸出を見たるは內地における櫻蝦の本場漁業地たる地方において近年不漁なる結果その補充として仕向けられた爲で本年の如き巨額は未曾有の事で總額は約一〇七萬斤十五萬圓に達し正に一大販路を見出したのであるかもこれ等取引狀況は內地移出と對支貿易とに區別さるゝも直接當港から支那に輸出せらるゝ

黃海道

海州學組豫算確定

昭和三年度海州學校組合歲入歲出豫算は左の通り確定した（海州）

▲經常部豫算歲入 二八二五六圓戶別割一九、九九五圓小學校授業料九二六圓女學校授業料六八〇四圓督促手數料五圓財産收入四〇六圓雜收入一〇二圓

▲臨時部（歲入）二一、五六四圓繰越金二、四〇〇圓補助金一八、九一二圓寄附金九四圓過年度收入一〇五圓積立金收入五三圓歲入總計四九八二〇圓

▲經常部歲出 事務所費二、五一二圓會議費二四五圓小學校費一七、一四五圓女學校費二三、五三五圓基本財産造成費六三九圓財産管理費三九五圓國庫納金一七〇圓雜支出一二〇圓豫備費五〇〇圓

▲臨時部歲出 小學校費五〇圓女學校費二、八九〇圓積立金七一六圓組合債費九〇三圓歲出總計四八〇二〇圓

撒水自動車

全州で購入

夏期に向ひ全州市內の撒水は從來人力では到底完全を期し難いので撒水自動車購入の件が先般の面協議會で起こりこれが具體的方法について全州郡廳では不日各町內有志の參集を求めて協議の結果購入することになるはずである

……

……である（群山）

鐵技係、千頭、上田、脇田、齋附、金係渡邊、井內、山本設備係、町井、金永輔、會計神林、賞品係辰巳、工藤、淺野、接待係增田、岡田、香原、森田庶務係手尾、松前

一團を組成するはずである五ヶ年振の運動會であり盛況を豫想されてゐる當日の委員は左の如くで

海州から

◆臨時部歲出 小學校費五〇圓女學校費二、八九〇圓積立金七一六圓組合債費九〇三圓歲出總計四八〇二〇圓

◇昨年多から暫に上つて居つた黃海道幹部の大地震が發表された今村知事の施策局長は腕の人として適材適所である往く處として可ならざるはなく、無論終始に天資の才を揮ふ事であらう本道では仕事は仕盡したと云ふてもよい位だ海州の市民は破天荒の送別會を催すべく準備中である

◇二十九日は食堂山の送別會三十日は食堂員の招待會一日は今村局長は美家堂に官民招待の留別會夫れより同夜京城行引返し三日は記念館四日は全市民の大送別會五日は記者團の送別會日く何々と晝夜に亘る送別攻め恐らく累代の知事中に其比を見ない

◇朴內務部長の全北の參與官として榮轉は餘りに早いのであつけない氏は溫厚篤實の君子人で大人格の持主であるやがては民二千石として名をなすであらう

◇道內一の秀才であると謳はれた高尾地方課長の本府入りは當然の昇進だと云はれてゐる氏の前途の光明は確なものである西田新太郎氏の理事官に昇進して成北學務課長に有望だ前途多幸なれと祈つて置く

◇海州高女の高橋先生は本校が實科女學校時代から滿三年の奮鬪は其勞を多とする送る人も送らるゝ人も共に涙であつた沖本管理者完谷各職員武谷小林牧野の各父兄が發起人として記念品を贈呈して其勞に酬ゆべき賛成者を求めつつあるは結構なことだ

江原道

道議の重要意見書（二）

農業倉庫建設促進の件

農業倉庫の必要なるは世間一般の認むる所なり然るに未だ實現せざるは官設農業倉庫の設置を觀みとするによるものゝ如し本道の如き米穀の產出高および販賣比較的……

寧越種牡牛品評會

寧越郡畜産同業組合主催の第二回種牡牛品評會は廿七、八の兩日寧越邑內牛市場で開催出品總頭數六十頭で審査長として道畜産技手古島氏來郡し郡畜産技手山下氏と嚴密な審査をなし廿八日授賞授與式を擧行した一等賞および褒狀主の氏名で二等賞金寧越外三名三等賞李鐘吉外七名四等賞宗斗默外十四名である（寧越）

鹿野氏勇退

實業界に入る

鹿野春川郡守の勇退說はかねてしばく世間に傳へられてゐたが今回いよ/\勇退夫人はすでに居を京城へ移してゐる程であるが氏が春川の人となつたのは大正四年で十一年間江原道官房主事をつとめ歷代の知事に使へ大正十三年三月春川郡守に任命されて今日におよんだ在任中の氏の功績は瑕疵特記すべきものはないが牛頭水利組合創立を初め數多の足跡を殘した。殊に氏の圓滿な人格は上下共に非常に受けがよかつた。なほ氏は官界をやめて實業界にいり活動する由である（春川）

全羅南道

京城大田間 汽車時間變更

鐵道局では一日から京釜線中京城大田間上り二十四列車と龍山成歡間上り三十四列車の時刻を左記の通り變更した從來午後十一時二十分大田發は午後九時五十分に變更されたので非常に便利となつた譯であるが三十四列車は成歡で打ち切となつた（大田）

京城大田出上り二四列車
京城發午後三時三十分
大田着午後九時五十分
龍山成歡間上り三四列車
龍山發午前五時十分
成歡着午前十時三十分

大田の春期消防演習

大田消防組では三日左記により春期消防演習を擧行する（大田）
一、午前八時出動大田驛集合、服裝備具の點檢を了し十時より安井、橫丸工場前にて放水演習
一、午後一時頭領に於て消防組員の慰安運動會開始
一、午後三時頭領に於て慰勞宴開始

江景小學校工事

江景小學校舍の一部移轉その他の增築工事を六千三百圓で又同校に新設する寄宿舍を一千圓でいづれも江景業地組の手で請負ふ事となつた（江景）

大田から

◇……大田小學校第二十二回卒業生父兄有志は卒業を永久に記念すべく醵金中の處二百餘圓を得たので同校兒童圖書館に寄贈した

◇……大田郡內各金融組合の總會は高橋財務部長の臨席の都合で十一日大田、十二日懷德で開催する

◇……大田憲兵隊附に榮轉後任は木浦分駐所長に決した

◇……大田中學校創立十週年記念祝賀會は二十二日擧行するが同校では『記念事業溫室』設置『十年前總職員表彰』其他生徒の作品展覽會、記念運動競技其他祝賀會の準備に夫々着手した

◇……鮮內巡講中の昌慶宮話研究會員森脇孝之、寶井馬吉郎、山田堅輔三氏の來田を機とし鐵道局友會主催の下に三十日夜俱樂部で宣話會を開催した

◇……鐵道局大田工務事務所では目下測量中の湖全北部線（裡里參禮間）の線路工事の入札を四月上旬行ふ

◇……大田基督教會は傳道資金調達を目的とし東都のファンを熱狂せしめた母性愛、隣人愛の大映畫『神を忘れし街』美しき宗教物語、絢爛の繪巻物『古典大史劇ダビデ大王』の二大映畫十八卷二萬尺を四日夜大田座に上演する

運轉主任更迭

鐵道局大田運轉事務所運轉主任技師小野延太郎氏は今回釜山事務所運轉主任に榮轉五、六日中出發赴任後任は鐵道局運轉課勤務大久保潮氏である（大田）

……恐らく十數年の後なるべきを以て官設を待たず適當の方法によりこれが促進を計畫せられん事を望む

東海岸鐵道促進に關する件

多年の懸案たる半島東海岸貫通鐵道建設を見んとするは本道開發上喜ぶべき現象であるこれが實施計畫編成については道當局の盡力を感謝してやまざる次第なり、この際たゞに年次計畫の實施を待つのみに止まらず官民一致協力してこれが建設促進の途を講ぜられたし

本道管內にある有望なる國有林野を付付或は讓與を受けて地方發財源に充つるの件

有利有望なる國有林野所在地の關査選擧は道評議會員中より五名を選定し道當局と共に協力してこれに當たらしめられたし

咸鏡北道

除隊兵を國境へ

植付ける 產業開發に

第十九師團高級副官武雄中佐は廿九日雄基に來り郡廳で郡守および面學校長等と會見し種々打合せする處があつたが次期する處によると在鮮軍の退營者を今年の除隊から漸次國境地方に植つけ林業および農業開發に從事せしめる準備のためであるらしい（雄基）

清津の開港記念祝賀

清津開港二十週年紀念日たる一日は正午より清津座を會場として祝賀會を開催したが參會した府民三百六十名を算し定刻國歌の合唱にはじまり、三上府尹から開會の辭を述べ引續き來賓數名の祝辭あり各地よりの祝電を朗讀して式をとぢ直に祝宴に移つたが、內鮮藝妓酌婦の餘興を演じ鮮極では余興數番の興を添え頗る盛會を極めた（清津）

滿洲

歸りは命懸け

露領へ出稼ぎの勞働者

露領に出稼ぎして間島で多暖する朝鮮人の多くがきまつたように密安線國境の國警鐵路ケベウ驛から身體檢査を受け現金二、三十圓以上の所持者はこと/\く同國の味覺を國外に持ち出す者として沒收の憂き目にあはせ血と汗の結晶も徒らに彼等の私嚢を肥やすが實であるが右につき龍井鮮人民會長は鑑る補地と云へば先づ沿海縣各地に商店を開いて居る鮮人商人で間島から出稼ぎし銀行の補地支店を經て龍井の私の店へ送金して來る金員も未だ當かと統計に……

昭和二年 安東縣貿易

近來稀れな減退

昭和二年度の安東貿易狀況は左の通りで總移入額は近年稀なる減退を示したこれが原因は經濟界の不況のため前途を顧念され購買力をそがれたによる

▲滿洲特産 輸出五三、七七三八九四三兩▲移出八、九〇九、六〇八兩▲計六三、六四八、五五一兩
▲外國貨物 輸入三六、六九一、一三九兩▲移入一、一四五、八一九兩▲計三七、七八三、六九五八兩
▲外國貨物 再輸出五三九、四六六兩▲再移出一二七、〇二七兩▲計六六六、四八三兩
▲滿洲特產 移入四、七八九、三三三兩▲再輸出七、三五九三兩▲再移出三、八五〇兩▲計七七四四三兩

なほこれを昨年度に比すれば滿洲特産輸出において一〇、七四四、八九三兩移出三、九〇〇六九兩計一四、六四四九六二兩の增加を示し外國貨物の輸入において一、八四九、九八一兩の減退移入において六六、〇二二兩の增加差引一七八三、九五九兩の減退を示して居る（安東縣）

間島雜俎

◇浦鹽サヴエット政廳では此の程縣執行委員會に命じ東洋勞働者失業紹介所を浦鹽レーニンスカヤ百十三號に新設し中國、高麗（朝鮮人）日本人の各勞働失業者を救濟保護に努むる事となつたが同紹介所の內規は大要次ぎの通りである。

一、失業紹介所東方部は一九二八年三月一日より事務を開始し失業勞働者の就職申込みと取扱ひ職業に從事せしむ

二、就職を求む可く該所に申込む者は日曜、祭日を除き毎日午後一時より午後四時迄の時間とす

三、各勞働會員たりし者新たに他の職を求めんとする時は必ず會員證及び勞働事業に從事せし證明書を添へ申込むべし

四、勞働者、職業會に當つて入會したる事なき者の申込みは必ず六ケ月以上勞働に從事したる證明書を添付するか又は各勞働會員二名以上保證連署の上申込むべし

五、就職方を申込みたる者は隨時本紹介所へ出頭し聞顧することを得。

◇海外指定間島尋常高等小學校では去る廿五日午後一時から高等科第四回尋常科第十二回の卒業式を擧行したが本年の高等科卒業生は男女各二名尋常科は男子六名女子八名計十四名又た學業操行優良者として賞表されたのは次ぎの通りで此の中森田幸子さんは六ケ年間皆勤者で善行者でもあるのみならず父親を助けて家事の手傳ひ尊孝子の模範として龍井內地人民の方から賞讚された時計一個を贈られた

▲學業操行優良者氏名 尋六齋川勳、森田幸子、東俊子、下田正治、尋四小野川毅一、峰田弘子、知場キクエ、佐藤々木光夫、鶴田光代、尋三須名政和、芥川孝、小川ツユ子、尋二潤川榮一郎、大森あさ子、尋一工藤良雄、鈴木宏、知場武子、岸田常子、齋藤すみ、山口久美子、（以上二十一名）▲皆勤者高一館竜外二十九名。

◇露國領咸境南に居住する朝鮮人農夫尹萬甫（二五）は去る一日同家に間借りしてゐる安基栞（一八）の爲め賭博の資金を貸さぬと云ふ簡單な事から夜半押切で前頸部を切斷されたが安は更に物音に驚いて眺何した被害者の妻金姓女（二四）も前記同樣の手段で殺害更らに母の悲鳴を聞き付けて起き上つた李春甫の長男長孫（六）には兇器を叩き付けて頭部に負傷人事不省に至らしめ其場を立ち去つたが翌朝に至り昏倒から蘇生した長孫から此の事が發覺間民聽出で加害者の搜索を行ひ附近い山頂で發見するや餘りの憎たらしき殺害振りを見て憤慨の極に達して被害者の親戚等は加害者を取り巻いて打殺し私刑を行つたので露國ケベウ局は親族一同を引致目下留置取調べを行つてゐるが其後露國病院に收容中の子供も本月十日死亡李春甫の一家は全滅した

◇信ずべき情報に依ると最近三道溝方面には大刀會の加盟隊とも見る可き數個の團體出現したのみか南京政府の便衣隊も入り込んだらしい

◇サヴエット浦鹽政廳財政部では昨年十月一日から國家公債十留券（三ケ年返還年五分利付）を發行願來今日まで官公使民一般に對し國防委員會の手を經て購入方を勸誘しつゝあるが此の公債の賣出し期間は賣出しの當月から向ふ七ケ月間で購入者に對する特典としては國家上の税金一割を免除する規定だと

熊拘引さる

鄉外を放棄して

先頃鎭領事館警察署員數名が變化へ出張した際同地有力者から小熊一匹を手土産として贈られたがさて運搬つて見ると余りの愛くるしさにその肉を賞味しようとの希望者もなく賜物として領事館構內の馬小屋の隅につながれて居たが去る廿七日午前十一時頃俄めいて來た四方の景色に觸公すつかり浮かれ出し郊外散策としやれたのを商埠局巡警に發見され直に商埠局へ拘引される騷ぎ、が受取りにいつたが何時かな巡警が應ぜぬとあるので馬賊/\しい事だが領事館から商埠局へ謝罪一札を入れ熊公の身柄を貰ひ取つた

地方集會

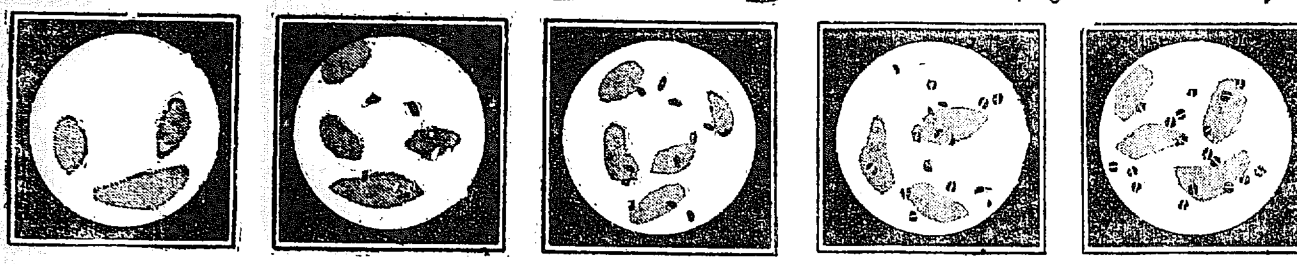
▲聯合送別會 今回慶南から轉任となつた村山本府衞生課長、狗部成北警察部長、泉崎咸南內務部長、松島京畿道警部、丸山元士木出張所長各氏の爲め滿友會及び釜山記者團聯合で三日午後六時から鐵道ホテルにて送別會を開く（釜山）

地方人事

▲大櫃鶴氏（第一銀行釜山支店長）一日朝內地へ
▲木島信治氏（釜山米穀信託支配人）同上
▲迫間一男氏（釜山實業家）一日朝歸釜
▲萩原平南高等課長 一日內地から歸任
▲九大滿鮮視察團卅名 三日平壤著四日新義州方面へ向ふ豫定
▲金森安次郎氏（鳥取毎日新聞社長）卅一日平壤着
▲花田廷介氏（平壤專賣支局屬田沙里院に榮轉）卅一日赴任
▲水谷鑑一大尉（鎭海要港部司令部附）三十一日朝釜山へ
▲山野秀一氏（釜山實業家）三十一日朝內地へ
▲古川貞吉氏（忠南警察部長）三十一日大田へ歸任

男のりん病・女のせうかち
絶對的効力本位
特製リベール

リベールのキ、メを顯微鏡にかけて視れば



服藥初日 尿道に潜む無數の淋毒菌に對し直ちに殺菌作用を行ふ

二日目 黴菌は著しく破壞されてゐるそれ故膿も痛みもみごとに止る

三日目 大部分の菌は完全に破壞されてゐる

四日目 菌の破片を散見するに過ぎず

五日目 痕跡を認めず

心配御無用この經路に基き忽ちよくなる

男のりん病　女のせうかち

黴菌は同じだ、うみは出る、痛みは烈しい、過つてこの黴菌が眼へ這入つたなればそれこそ大變數時間後には一生取り返しのつかぬ盲目となる、又膀胱内へ侵入すれば膀胱炎を起し日に何十回となく痛い思ひの小便に通はねばならず、睾丸へ侵入すれば忽ち淋毒性睾丸炎を起し風船玉の如くに腫れ上り熱發して身動きもならぬ程疼痛を感じる、兩方の睾丸を侵されて了つたなれば最早終生子種を失ふ、女は又淋毒性子宮内膜炎、淋毒性關節炎、腎盂炎等樣々の病氣を誘發する、恐らくこれ程つらい恐ろしい病氣はあるまい

余も嘗て同病に惱まされた一人で當時あらゆる治淋劑を服用し樣々と手を盡したが何の效果もなくその頃唯一の治淋藥だと稱した白檀油（サンタル油）もあびる程服用したが更に完全に目的を達するとが出來なかつた、りん病は永びくに隨ひ白色のねば〳〵した糊水の樣なうみが絶へず出て却々止まり難いその心持の惡いとと極まりなき不愉快なとは何物にも譬へやうがなかつた。

そこで有らゆる高貴藥を集めて深甚なる研究を行つた結果漸くにしてその曙光を見出すを得遂に『之れならば確かに效く』と言ふ強き〳〵自信ある藥劑を完成する事を得た之れが即ちこの**特製リベール**を創製した最初だ、

さて余は幸ひにしてみごと快くなつた、だが世間多くの患者に果して同樣の偉效を奏するか未だ自らは信ずるとが出來なかつた、爾來多數の慢性症患者に用ひて實驗を試みて見たが何れも豫想以上の微妙なる效果を顯はし、中には全く悲觀に陷つてゐた患者がみごと本劑に由つて甦つたやうに快くなり衷心悦んでくれた、之ならばと堅き信念の下に世の同病者のために擴賣するに至つた、偶々本劑が世に現われるや忽ち四圍の歡迎を受け服用患者の悦びの聲と共に忽ちそれからそれへと藥の**キ、メ**が傳つて遂に現在の如く津々浦々の端迄も絶對的効力本位のりん病藥として**特製リベール**の聲價は名實共に世界的信用を博するに至つた。今では内地海外の山奥に到る迄汎く販路を有しその賣れ行き又治淋藥中一頭群を拔くに至つた、之れは全くこの恐ろしいキ、メの偉力に他ならぬ

特製リベールの能く効くのは

自分の體驗より案み出したこの藥は數種の高貴藥を極めて微妙なる方法に依つて配劑したもので服藥と同時に急速に吸收され服んだ翌朝早くも尿は藍色に變じ強き藥の臭氣を放つて排出するこの尿中の藥劑こそ淋菌に對し極めて強烈なる殺菌力を有し尿道奧深く潜む黴菌をみごとに掃滅して排尿と同時に洗ひ出されて了ふ、だから忽ちにしてうみも痛みも夢の如くに消散する。

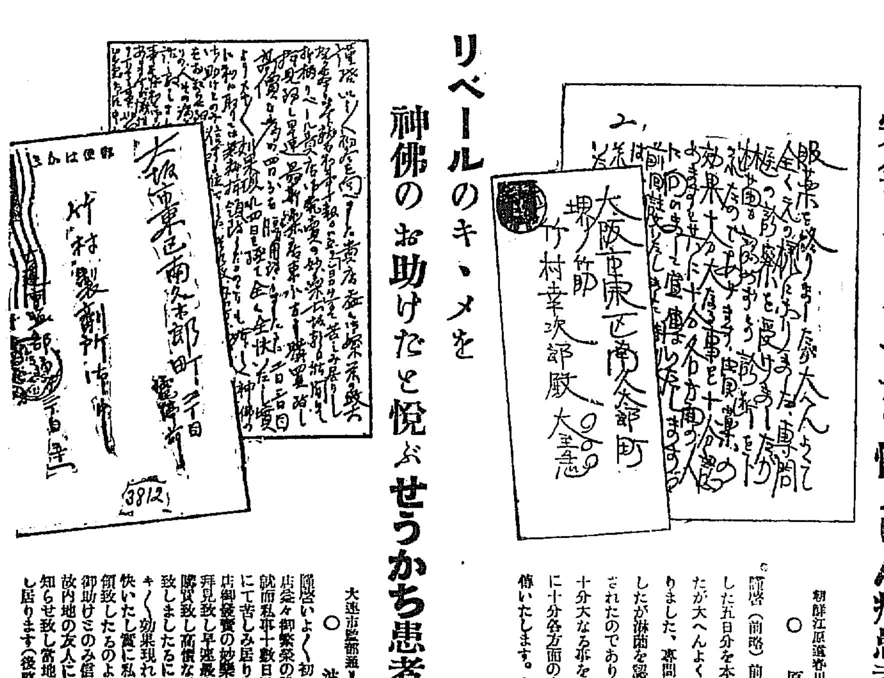
患者に警告

りん病患者程心の變り易い病人はない甲の言藥を信じてはつまらない藥を服み、又乙の話を聽いては手療治を行ひなどして樣々迷ひ遂に自ら病氣を重らせるのだ、之れは患者自身の自覺が最も必要だ、一日早ければそれだけ早く樂しき日を迎へるとが出來るのだから、りん病、せうかち、で苦しむ人は何はさて措き先づこの優秀なる治淋劑**特製リベール**の五日分をお驗しあれ。さうして滿足なる結果を見られた貴方の體驗によつて更に世の同病者にこの貴き藥のあるとを知らしめてもらいたい。

特に御注意

りん病藥は數多き故藥店にて〝へんてこ〟なりん病藥を言葉巧みに奬められても決して迷ひ給ふな　必ず竹村製劑所の**特製リベール**と御指名あれ萬一品切の節は下記取次店若くは本舖へ直接申込あれ

何よりも事實が證明



特製リベール五日分にて淋菌が完全になくなつたと悦ぶりん病患者

朝鮮江原道春川郡史内面史倉里　○原○吉

拜啓（前略）前回御送り下さいました五日分を本日服藥を終りましたが大へんよくて全く元の樣になりました、專門醫の診察を受けましたが淋菌を認めずとの診斷を下されたのであります、貴藥の効果十分大なる事を十分認めますと共に十分各方面の人に向ひまして宣傳いたします。（後略）

リベールのキ、メを神佛のお助けだと悦ぶせうかち患者

大連市監部通り二丁目　○波○

謹啓いよ〳〵初冬を向へました貴店益々御繁榮の段大賀奉ります。就而私事十數日に互り「シヨカチ」にて苦しみ居り折柄リベール貴店御發賣の妙藥大阪朝日新聞にて拜見致し早速最寄藥店東永方より購買致し高價な爲め四日分を服用致しましたるに二日三日目よりメキ〳〵効果現れ四日目も經て全く全快いたし實に私に取りては無料拜領致したるのよりも嬉しく神佛の御助けとのみ信ずる位でしたそれ故内地の友人にも早速此の事をお知らせ致し當地の人にもお傳へ致し居ります（後略）

藥價

惡性用 特製リベール　五日分 金貳圓　七日半分 金參圓　十三日分 金五圓

輕症用 リベール　五日分 金壹圓　十日分 金貳圓

送料　内地 十二錢　海外 四十五錢　代金引換廿八錢

發賣元　大阪市東區南久太郎町堺筋

竹村製劑所

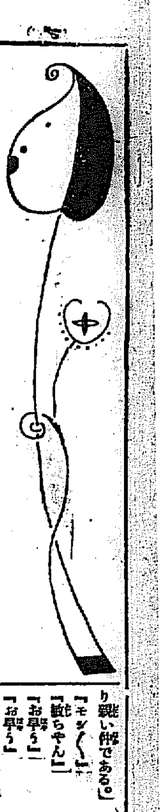
藥劑師 竹村幸次郎

電話船場一五〇〇番　振替大阪三六〇〇番

大取次店

釜山辨天町一丁目　大黑南海堂
釜山辨天町一丁目　藤田大藥房
京城南大門通二丁目　新井大藥房
京城本町四丁目　木村大藥房
平壤大和町　森田大藥房
元山本町二丁目　池田回天堂
群山全州通り　神林大藥房
大邱元町　町田回春堂
馬山都町　石見屋藥房
（其他各藥店ニアリ）

◉内地海外到る處の藥店に販賣す



京日俳壇（課題春季雜詠）（十）　臼田亞浪選

卒業の日の朝の掠め風霞んで　瑞興　酒井　暁波
新刈りの背に霜解の泥はねて　同
夕日あかく庭の柳に風うつる　新幕
接ぎ冷めたし遠山の霜見える　同
蝶々飛ぶ償靈の霧の汚れ見す　同　篠原　蘆芳
柳風ぐ夜の明るみを人行けり　同
囀りや日向青くさい風が吹く　公州　三崎　松瓢
（病弱の妻の外出を―）
久々に妻が化粧や春の風　同
朧ると月夜の窓に囲さらす　同
山裏に日矢の注ぎてもつれ卯　同
うたげの外の二月の星がもくもくりたり　新幕　黄山　時風
雨晴の野面ぼちぼち土動く　同

美術家　二人の對話（9）

花井緋紗夫

花井「あなた方は鮮展のどんな人を推讃されますか」

O「鮮展にでない意味でせうねえ」

花井「いや必ずしもさういふ意味でなくてもよいのですが」

O「僕はどうしても基礎的といふやうなものを持つた人でないと危な氣が見えて同感出來ないんだが」

N「それは全く君の常識的基礎にまるものだよ。われわれにいはすればその間のことは可成り自由でよい。日本畫壇にどんな人がゐるか微妙の畫壇、美術界がどう動いてゐるかといふやうなことを知らねでも立派な作品が出來ないとは信じられぬ。どうも學校出の人は奇妙な處に力みたがる嫌があるよ。さうしてかへつてじようちような處があるからねえ」

O「N君にいはせるとすぐそれだが然し君だつていはゆる學校だが基礎的といふやうなものはやつてゐてさうしてその上に立つて自由を得てゐるのぢやないか。然そんなものなしにはさ、その常識なしにはどうしても作者といふ立場が淺い處に居ることになりはしないかな」

N「僕はそれが困るんだ。基礎的といふ私の或るものなどは智識の足りないものいひ替へれば天分不足のものをも人並にする必要である場合が多い。一つの形式を指示する。然し天分ある者にとつてはその形式が障害となつて一生涯ぬく人も多いのではないかね、現在君なんかでも殻を破ることの苦勞を日々續けてゐるのではないのかね」

O「日々續けてゐるとはチト手厳しいが實際においてその苦勞はしてゐる然し形々破るといふやうな苦勞は不自然でまづ僕が天分不足なんだよハヽヽ」

O「どうもそのお話は兩方の中間が私には適當であると信ずるのですが」

O「まづさうでせうねえ、さうして僕は東洋畫で土居彩畝、李英一、三戸萬鶴、洋畫で遠田運雄、野守健、山形精智、都田金七、鶴又の如、日吉守それに彫刻で金鎮堺」

N「君それは皮肉だよ君、今選んだ人々の畫風がどうもさつきの話のみせしめみたいぢやないか、よしそれでは僕は、東洋畫で加藤松林、松田正雄、李象範、洋畫で高木背水、伊藤秋畝、米田國一、村上菊里、八島俊雄、彫刻で淺川伯教氏を推すね」

N「やつたねえ」

O「やつた」

花井、N、O、（哄笑）。

O「からなりました上は、何とかその色わけに就する御意見が伺へるわけでせうねえ」

N「それはやりますとも」

O「うんやるぐ」

O「僕の方からまづ君の方の攻撃をしやう。多田彼三君も君の方に色わけしては何うだ」

N「さうだあれも入れて置から」

O「でだねえ、大體の色わけの傾向について論ずるんだから一個人の獨立した立場について反撥を試みないことにしやうぜ。先づ君の方の組か（酸だな）その組の示してゐる形式は甚だ自由であるかは知らないが、作品の構成などの上に粗漏な處が非常に多いのが目だつやうだ何でもない注意が忘られてゐる場合も非常に多いと思ふ。それは美術家としての常識を缺いでゐるといつてもよい場合もあるだらうさうして作家としてはその常識を缺いでゐることはその作家達が發現すべき多量を持つてゐればゐるほど損失だといふことを大きく感じて來るだらうと思ふ。まづいはゞ醜悪な俗部を暴露して喰ふてゐるやうなもので一つ處一つ處のわかりきつた處にまで苦勞をしてゐるといふことがいへはしないか。」

創作　拳銃　四

寺田壽夫

その、翌々日の朝。敏子が朝のお化粧をして居るところへ、電話がかゝつて來た。

「どこから……」

敏子は鏡の前から振返の方に向つて、聲をかけた。

「滿子さんから」

傳母の方から、女中の聲が答へた。

「さう」

敏子は、氣輕に立つて電話口へ急いだ。

滿子といふのは、カフエー、マツバに居る女給で、敏子とはかなり親い仲である。

「モシモシ」

「敏ちやん」

「お早う」

「お早う」

「何か、御用？馬鹿に早いぢやないの。わたし今起きたばかりよ」

敏子は笑ひながらさういつた。

すると向ふで、クスクスと笑ふ聲がした。

「何がをかしいの！滿ちやん。厭だねえ」

敏子も、つりこまれたやうに笑つて、相手をなじつた。

「敏ちやん」

「なアに？」

「オホヽヽヽ」

「厭だね。何がそんなにおかしいのさ！」

滿子は、少しムツとした調子でいつた。

「敏ちやんお樂み！」

敏子はハツとして、顔を赤くした。そして少しあはて氣味に

「滿ちやん、それは何のこと……」

「そんなに白ばくれなくてもいゝでせう。ちやんと證據があがつて居るから」

「だからさ、いつて御覧てば」

「それなら、いつてあげるわ。あんた、あの人と、或所に行つて、おそく歸つたでせう」

「まだとぼけてる。そんなに隠さなくてもいゝわ。わたしに隠すなんて、隠しからんわ」

「だつて、だしぬけに、そんなこといつたつて、わからないぢやないの……」

「困ちやん。あんたも隅に置けないね。いつの間に、そんなに大膽になつたの……？」

「いぢめるのね。もういゝわ。そんな譯だつたら、深山！」

敏子は、滿子が、誰から聞いたか、不思議でならなかつた。

「滿ちやん、誰から聞いたの、ねいつて……」

「いつてもいゝけど、今は駄目。會つて話してあげるから、家に來ないこと」

「行つてもいゝけど」

「何時來るの？」

「すぐ行くわ」

「ぢや、さようなら」

「さようなら」

敏子は、自分と水谷の秘密を、滿子にかぎつけられたとは、さほど苦痛ではなかつた。といふのは滿子は、すでに薄々二人の關係を知つて居たからである。何かの話のついでに滿子は、

「敏ちやん、あんた水谷さんを思つて居るのぢやないの……？」

無遠慮に聞いたことがある其時

「えゝすきだわ、だけども、たゞそれだけ、ちつとも嬉しいことなんかないわ、ろくろく話もしたことがないから……」

敏子はさう答へた。

「それならいゝけれど、相手は奥さんがあるんだから、つまらないぢやないの……」

「それは知つてるわ、だからわたし決して深入りしないわ」二人はこんなことまで打明けて話す仲であつた。ところが水谷と二人きりでお茶屋へ行つて、遅くまで遊んだことは、敏子としては、滿子に對して說明した手前、少しきまりが悪かつたのである。

それにしても、敏子は、滿子がまだ何かしら、自分達の秘密を握つて居るやうな氣がしてならなかつたので、急いで仕度して出かけたのである。勿論カフエーマツバに滿子を訪ねるために……。

砂の崩れ

赤松　松女

草萌を歩めば砂の崩れけり
汚れ掃く土の黒さよ草萌ゆる
下萌や新のまばらにお陽さして
草萌の山家明るく吹かるる
春雪風に吹かれて消ゆくや
春の雪雨をふりふり馬ゆく
菜の花の香り風なき庭に來し
日暖の風となりゆく夕花菜
たんぽゝの吹かれ堤に鳴る
子守娘の實摘みゐて唄唱る

京日川柳　スケート…（一）　井上劍花坊選

曲がれよくスケート氷をかんで行き　愚山館　松楓
氣味よくスケート春を輕く踏み　德二道　赤門
遊びなりやこそ國境を一滑り　同　花
スケートへ閣下齒袋を噛みしめる　公州　雄心坊
スケートの腰を危なく丘で見る　同
スケート場側で子供は宿に乘り　同
スケートへ暫らく待ては宮遊なり　同
スケートに倒んで靴の紐をしめ　水原　青柳
一點の紅スケートで度々ころび　京城　香玉坊
スケートの鳳凰江の魚の國　京城　大氣坊
スケートは終點迄を歩くなり　京城　長鼓劍
スケートのねちが浸んだはなれわざ　同
スケートに扱ぐ風の子上くすべり　京城　大一坊

旅日記（三）

於巴里　三木　弘

夜、アントナといふボヘミアの青年が遊びに來た。七年かゝつて自轉車で世界一周したとかつて色々の寫眞や新聞の切ぬきを見せ日本のキネマ女優の寫眞など出して如何に上手にすばやく彼女等の手に接吻したかを面白く話す、個この青年は私の所に來たのでなく向ふの娘を貰りに來て居るのである、その內近所の宿のダリーノ人チエツノ人も來て三人で私の部屋に十時迄の小賑で時に賑いでたハリヤ

一時すぎるられたので臥床した、睡眠不足のせるか氣分が悪いので一緒の人にカルモチンをもらつて三人共眠の良すぐ床につく

◇

十月一日カルモチンの效驗でシベリヤで一番寒いといふウエルネフチンスタも知らず臥寢したので、すつかり元氣を回復した、晝頃早朝からバイカル湖にかゝつて中る水はつめたくすんでるる底はかなり低い、岸の岩に立つて魚を釣つて居るのも良いどこか瀬戸內海を思はせる景色である

◇

1ス魚のくんせいや人見きぬ江國島の丸焼きを買つて食事を食る、皆非常においしかつたといふいづれも美味であつた

◇

バイカル湖にそつて走る汽車二時間この間にトンネルが四十幾つかあるといふがごく短いトンネルばかりである、ロシアの客室のトンネルを一ケ所に集めた感がある湖を半分まはつて湖岸に達した所からアンガラ河の河口に出る、遊覧松のもみ葉がネーブル色に光る湖を美しい湖が澄んだ小さな數つもの島々には白樺の森りその間を小舟が往來する景は又なく美しい自然の大公園である

◇

アメリカのブルジョアに見せたら廣大な別莊を建てたがるであらう、日本人に見せたら新聞紙や折詰をちらかしに來たがるであらうそしてしまひにあやしい女が住む家まで出來るであらう

◇

アンガラ河口にそつて走る汽車三十分でかすみの間に汽船の煙と工場の煙突が見える、イルクツクである、近づくに從つて大寺院に敎會の塔が數を増すマルで敎會の市の感がある、チタよりは遙かに大きい市も善い都市である、イルクツク驛で散歩しながら食つたブドウは忘れられない美味である

◇

向ふの娘さんはこの邊で下車した入れ違つて漢露組合に勤めて居るとかいふ人がマンドリンを持つて入つて來た、イルクツクを過ぎる頃から山もなくなりなだらかな野が原どこまでも遠く打つてあまりにといひたいほど膨くひらけてゐる、夜のマンドリンを借りて上手でないウクライナのワルツ二、三のロシア小唄など弾いたら皆も一緒に歌ひ出しさすがは音樂家だロシア民族を知つてゐると御ほゝにあづかつたロシアには入つての第一い夜が遅くまでさわいだ事だつた

臨鏡吟社（東北鶴乳洞選）

長閑や自炊してゐる湯治客　皆井
蜜蜂のあまた飛び交ふ和哉　明朗
城跡の玉垣る門や藤かづら　有明
料亭ゞ灯る雪灯や藤の花　しげ女
茶摘笠冠りたる仙髪飾哉　百合女
農園の蜂の子馴れする日哉　旅火
雛祭ときめて又侵ち襲ひ日哉　灯舟
雛壇きの自在はづせし扶哉　星影
蜆取り川口はろか潮ひきぬ　岳州
朝々や捨車ゞ賣ひし蜆汁　鶴乳洞
捨頭巾ふらさげてゐる舍師哉　同

共樂吟社（光州星羽選）

新らしく打ちし杭や春の雪　金櫻子
春の雪解しを雨と言ひ止みぬ　一水
芽柳の枝に消えけり春の雪　雄柿
淡雪や芽彼の畦に四十雀　星羽

學藝界

◇末石休山氏（俳人）試驗の休暇に温陽温泉に遊び水原に一泊の上卅一日歸城の豫定。温陽にて
右牙山左禮山木の芽道
湯上りや東風の玻璃戸の日に出づる

◇汐測吟社例會　二十四日午後石華居に於いて開いた。

◇後藤鬼橋氏（俳人）木浦へ出張二十七日カリタゴ發行所に於いて同氏の歡迎會を開いた。

◇寶外氏　今度宇外と改名した。

◇新幕「楢」　公風氏歡迎會を二十八日に開いた

◇「山楓楢」友社設立句會　四所方、三月二日午後七時より、市內大和町二ノ九七有馬草歩氏會費十錢

◇俳誌（鳩の子）第十四號課題雜詠十句東洋選、結び菜三句うしほ選、鶴田三句鳴門選、締切四月末日會費十錢、投吟所釜山府土城町一丁目二五、陽非樹九路

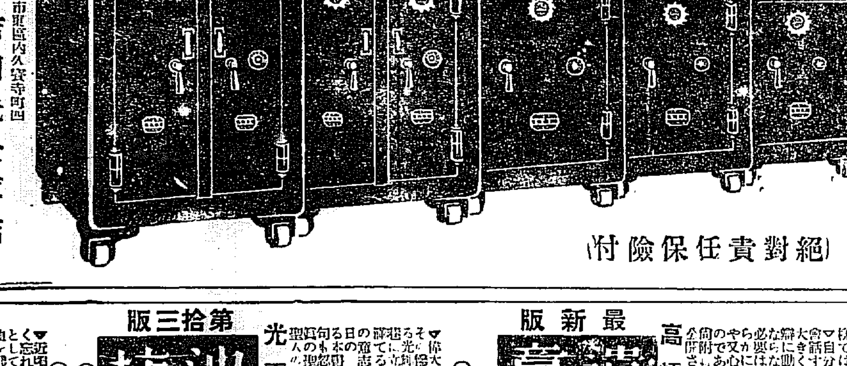
訂正　三月二十九日の京日短歌（早春・八）中蒸原嶽頭樓とあるは小松原厚氣樓の誤りにつき訂正

吉光金庫

あるのみ！

災害に豫告なし

非常時に際し金庫たるの眞價を全ふし絕對安全確實に奏効するは



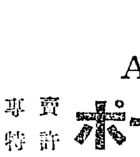
特約店未設の地方は特約に應ず

（カタログ進呈）

大阪市東區內久寶寺町四
吉田光金庫店
電話東長一六〇三番
振替大阪四七一一四番

（絕對責任保險付）

ラヂオ界に一大センセーション起る



大發明

ABC電池一切不要

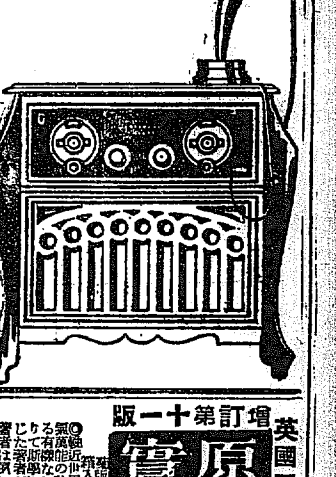
特許專賣　ポーダイン受信機

一、電池代不要
二、調整容易
三、音量強大且ツ肉聲
四、消耗取替品ナシ
五、價格低廉

大阪　高麗橋　三越吳服店
心齋橋　丹平藥局

發賣元　大阪市東區糸屋町一丁目二五
吉田商店

○代理店一名募集



增訂第十一版

英國工學士　關口定伸先生著

原理及實驗　電氣學精義

定價金三圓八拾錢　送料四拾五錢　代引六十錢

菊版總布堅牢箱入頁七〇〇

◎最近世界の進運にともない凡ゆる文明の利器として電氣の力を藉らざるはなく二十世紀は全く電氣萬能の時代と化したのであり近時右に關する著書の夥しき作出は枚擧にいとまあらざるも或は理論的となり或は實際に流れるものあり亦は內容の貧弱を免がれざるもの等あり志ざす學生技術者の爲に實驗を主として編述せられたる類書の餘り多く見受けざるに感じた著者が卽ち本書を編の動機となつたのである

著者は夙に斯界の大家として名聲あり著書も亦少なからず殊も本書はその最も精力を傾注せられたる物である從つてその題名に示すが如く理論及び實驗について汎く外の實例を述べ學生及び多數技術者の爲に無二の參考書たらん事を所期して編纂せられたるもので敎科書の範圍に原き數百の寫眞版凸版を挿入し電氣及び磁氣の測定並びに電壓電流の計數上に必要なる數學の諸式を表す爲に幾何學と代數學上の公式を挿入しあり此方面の智識は勿論電磁氣百般の智識に殘らず本書に依つて得らる

第三版

上田作一先生著

受驗資料　自動車の操縱と修繕

定價金二圓二十錢　送料二十五錢　代引送料三十五錢

四六版總布　堅牢箱入　頁五〇〇

○運轉手たらんとする諸子よ

○何よりも先本書を播け

近代我國に於ける自動車の發展振は實に目覺ましきものにて今や全國至る處の山間避地と雖も至らざるは無き有樣である

從つて運轉手は最も進歩せる職業として收入多き自動車運轉手を志ざす者も亦逐年急激の增加を來すに至つた然るに一面その職業とする運轉手試驗に不幸落選して實驗の志を空しくする者の亦多いのを遺憾とする

著者はかつて自動車學校を經營し或は關係書を著し以つて技術者を養成し多數の成功者を出したのが本書である

以上の理由の下に自動車運轉手志望の爲に本書は自動車の操縱法と修繕と共に全國各府縣にて施行の敎習の受驗問題に對する百數十の解說を極めたる說明とを施し有り如何なる難關も易々として自習出來るを得るもので實に各府縣の改訂現行自動車取締令及施行細則を附して受驗者の爲に參考書

第五版

麻生幸二郎先生編

最新雄辯　五分間演說と挨拶

定價金一圓　送料八錢　代引送料貳拾四錢

三五版洋裝　天金・裝附美本　總頁四〇〇

○雄辯を練れそうして○

○社會の落伍者たる勿れ○

◎スピーチは時代の要求である雄辯は克く國家を左右す百千萬の民衆を己が意の如く動かし得る武器では唯一無二の是非雄辯の力あつて自己の思ふ自己の言はんとする事を一層明白に最も率直に言表せない人は自分で自己を窮地に陷るであらう……

最新版

高橋悠久先生著

遺文意譯　日蓮聖人法話

定價金貳圓　送料十二錢

○四六版總布箱入頭高尚總頁百七十五

○不世出の大聖人の法の御聲を聞け

現今言論界の第一人者永井柳太郎氏濱口雄幸氏及び其他の政界諸名士の雄辯の秘訣がありますの然れども……

第十三版

光雲齋雄甫宗匠著

池坊流　生花の手ほどき

（圖解壹百四十葉）

定價金九十五錢　送料十四錢

四六版入和綴　上下全二冊　兩入裝幀美本

○大好評賣行如飛○

○初心者の理想的敎授書○

發行所　大阪市東區安土町二丁目　松要書店　振替大阪三一一番

仁川汽船出帆

定期航路

海州線（隔日出帆）
仙掌線（隔日出帆）
延安線（隔日出帆）
舊島線（毎月十回）
唐津線（毎月九回）
瓮津線（隨時出帆）

各沿岸行帆船積荷物取扱
朝鮮總督府鐵道局貨物取扱

仁川本町四丁目（電話三一・三二番）
仁川汽船株式會社
築港荷捌所（電一四〇番）
花町荷捌所（電一〇五八番）

朝鮮郵船定期出帆

（日本行）
●漢江丸　四月二日　新義州發　西鮮各港經由門司博多行
●釜山丸　四月三日　浦項發　北鮮各港經由博多行

○仁川出帆（代理店內國通運支店）

東京行	東顯丸	四月一二日
大阪行	漢江丸	四月五日
長崎三角鹿兒島行	羅南丸	四月三日
木浦行	昌原丸	四月一日
海州行	櫻井丸 巨濟丸	奇數日 偶數日
鎭南浦行	盈德丸	四月一日
大連青島行	會寧丸	四月三日
釜山上海行	平安丸	四月一四日
大連行	羅南丸	四月一九日

○木浦出帆（代理店山野回漕店）

東京行	東顯丸	四月一四日
大阪行	漢江丸	四月七日
濟州島行	濟州丸	四月三日
多島海行	興與丸	四月一日
仁川行	昌原丸	四月六日
釜山上海行	平安丸	四月一八日

○釜山出帆（取扱店大池回漕部）

東京西鮮	東顯丸	四月一六日
東京北鮮	大日丸	四月五日
大阪西鮮	漢江丸	四月九日
大阪北鮮	釜山丸	四月九日
長崎三角鹿兒島行	羅南丸	四月二八日
大阪（釜山大阪線）行	咸鏡丸	四月一一日
北鮮行	春川丸	四月二日
浦鹽行	清津丸	四月五日
鬱陵島行	隱城丸	四月一日
上海行	平安丸	四月一日
江原道行	新義州丸	四月二日
濟州島行	鏡城丸	四月一日
宇品大阪行	立神丸	四月八日
元山清津行	立神丸	三月三一日

○元山出帆（代理店內國通運支店）

東京行	大日丸	四月三日
大阪行	釜山丸	四月七日
大阪行	春川丸	四月六日
沿岸經由	雄基丸	四月一日
江原道行	白頭山丸	四月一四日
鮮滿敦賀		
元山清津 迎日船行	光濟丸	四月一日
雄基行	榮江丸	四月五日
浦鹽行	清津丸	四月七日
宇品大阪行	立神丸	四月六日
品津直行	立神丸	四月二日

▲右之外各地共臨時臨時船ヲ配船致船腹ノ潤澤ヲ取計ヒ居候

⊕日本郵船出帆

滿州行	諏訪丸	橫濱四月九日 神戶四月一二日 門司四月一四日
象港行	天津丸	神戶四月一〇日 橫濱四月一一日
滿州行	安藝丸	橫濱四月一三日 神戶四月一八日 長崎四月二〇日

朝鮮汽船出帆廣告

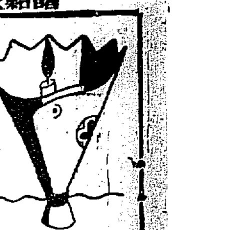
●釜山出帆（取扱店釜山回漕店）

麗水行（急行）	毎日前十一時
麗水行 各港寄港	毎日後一時
木浦行 各港寄港	隔日後一時
馬山行 各港寄港	毎日前九時
統營行（急行）	毎日後半時
浦項行 各港	毎日後十一時
方漁津行 各港寄港	毎日前十時

●木浦發（取扱店吉田回漕店）

釜山行 各港寄港	隔日後十時

京城南大門通五
朝鮮郵船株式會社
電話本局（四一九五番・四一九六番・四一九七番・四一九九番）



？……の人の其の後【NO6】

御前藝におほめ 貧にも朽ちぬ名人氣質
贔負筋の心盡しも甲斐なく 海老一、再び歸らず

海老一鐵五郎

黄金の都に歡樂の花が咲き亂れ、光りの波に絢爛な雜踏と歡樂が浮きだしてくる、歡樂の世界の大阪道頓堀は萬の觀衆を呑んでゐる、舞の愛好者が萬の人々の歡然たる姿がみなぎつて居る『まり』が曲藝を魔のやうに走る、人は『まり』に隱れて『まり』は生けるが如く蝶の如くあやしく踊る、觀衆魅惑級のやうな拍手が空をゆりうごかす、舞臺においた引幕は『天下名人』と紙太な俠客佐兵衛が贈つたもの、大阪千日前樂天地で天下の名人はかく晴れの夜がつゞくのであつた、それから何年になるであらうか、當時の名人海老一鐵五郎は、流れて京城に隱れ八年、老いの再びかへらず『名人』は京城の彼方に語られて、かなしくも京城を去つて二年前の日のられひは、けふをあすを海老一はどこへさまよへるであらうか――の心ある人の心やりなのである

◇

曲藝の海老一は天下一品かつて海老藏、虎子の一座の立者として觀に對すも觀仰は東京大阪の檜舞臺に響いたのである、彼の父も叔父の助太郎も、弟もみな藝人で、藝の中から生れ出た海老一が江戸前の藝事に生粹な味と意氣は天下にうたはれたものであつた、東京の魚河岸の兄イ御兜町の大ひいき筋大阪では堂島北濱の人氣を背負ひ藝人冥加には英國のコンノート殿下の御前藝で御ほめの言葉を賜はつたものであつた、天才藝は驚きまことや名人海老一は榮譽の日によい氣前だつたのである

◇

本舞臺、檜舞臺で踊れるやうな人氣も、病氣がそれをむしばんでしまつた『哀れな姿はさらせねえや』名人氣質が内地を見捨させて、藝路遙に京城に錦をおちつけさせたのが十年前の或日のことである

◇

『海老一は余興ものは御免です』と札だけを興業師にたゝきつけたのも、病氣の海老一が思ひ出によみかへらす懸い誇りの一つであつた、おちぶれても尾羽打枯らしてでも、名人氣質の氣位の高いのは失はれなかつたのである、その失はれぬ江戸前さにちこむ粹なひいき筋も京城になくはなかつたのであつたが

◇

春や昔、花や昔、昔の夢や追へど歸らずはかなき暮しの八年浪花節の舞臺に病氣のための手をふるはしながら、創作になる十八番『土瓶と湯呑み』を苦しみながら演ずる彼の舞臺姿こそ、浮き沈み激しひまなき世のはかなさを思はせたものはなかつた

◇

十八番を隱しのうす暗き樂屋裏で、出番をまつてゐた海老一の姿、それは大正十四年秋九月廿日の夜である、『笑つておくれやす』と彼の座中を知る人に彼は自分自身を嘲笑するかのやうにいつたのであつた、花茂登の主人などが、名人再生のために、心盡くしの演藝會の夜であつたが、恐らく京城での最後の彼の舞臺とはなつたのである

◇

二年前、海老一の秘藏弟子鐵之助が彼を見限つて内地にはしつた人氣に見限られつゝある彼に、この事實は顚動であつた、ひいき客をたよつて細々と生きて居た海老一がそれから半年、何に感ずつたのか、京城をあとにした事であつた

それから海老一はどうなつたか

◇

仁川の藝妓惡吉は海老一の愛女である、三味線に日をくらす彼女もそれを知らない、齊藤節の光江といふ人の家、そこには隱子といふ五歳位の女の子が居る、それこそ海老一が愛兒なのである、海老一はどうして居るか、新町界隈の噂は『正月に大阪にてと聞いた年賀状がきました、消印が大阪府下の高槻となつてゐるので、あゝへんにお暮しでせう』といひ、海老一の後援者であつた花茂登の主人は『東京にゐて、また一座をつくつて地方巡業をやつて居るらしいです』と語した、親子離別も寂寞ではあらう、しかし海老一にとつて天下をあげての人氣をうしなつた彼は傷心、彼の深い悲哀でこそあらう東京、大阪、その檜舞臺を見捨て、町から町へ、海老一はさまよつて居るのであらうか、果して天才藝をうたはるゝ昔を今にかへす日があらうか、藝人の半生を慰つて、名人海老一は、今日の夜を、あじきなき酒をくみつゝ、杯にかげらふ往日の夢影にふけつて居るのではなからうか

水都、水原に朱塗りの驛舍
基礎工事も出來 今夏中には完成

園の都、水の都といはれるだけあつて京釜線の水原は朝鮮では稀に見る景色のいゝ土地であつて、水原城趾の東西南北の四大門、華虹門、八達山の翠綠、西行宮の藍碧殿、萬歳堤の松並木と西湖の眺め、と昔から風光の名所と古蹟の名所とを兼ねてゐる、殊に花見時になると京城から流遊に出かける風流人士が多いが、水原の玄關である水原驛があまりにみすぼらしい、第一印象をスッカリ惡くされるので、昨年から改築にとりかゝつてゐたが、いろ〳〵基礎工事が出來上がつたので本建築に移ることになつた、總建坪は百七十七坪で總工費二萬八千圓、七月一杯に出來上がるはずであるが、詩の都に洋式の建物はふさはしくないと、屋根かわらから窓までスッカリ朝鮮式とし、朱塗りの建物で水原の特色を現すことになつた、なほ朝鮮式建物の驛は現在では成歡驛の朱乙驛だけであるが、朝鮮人に非常に親みを持たれなかく評判がよいので、今後はなるべく朝鮮建てのものにする計畫である

この月の下旬頃 兩殿下久方振りの御歸鮮
大妃殿下の御喜びもさこそ 李堈公殿下もお出迎へ

萬里の海を越えて歐洲御巡遊の旅を終らせられた李王、同妃兩殿下には、御歸航の船路もおすこやかに、いよ〳〵來たる九日朝をもつて芽出度神戸港に御上陸遊ばされ、約一ヶ年ぶりに故國の土をお踏になるのであるが、一方昌德宮の內殿にあつて、さきに到着した彼の地における兩殿下の御動靜を御覽ぜられ、ひたすら御歸國のほどをお待ちかね遊ばされつゝある大妃殿下の御悦びの程もお察しするだに畏き極みである。李堈公殿下には早くも一日朝京城驛發の列車にて御東上、兩殿下御歸着の九日朝までには神戸に成らせられるが一方李王職では韓長官をはじめ、松寺次官代理、宮島通譯官の一行は六日朝京城發これまた李堈公殿下と共に神戸埠頭で御出迎へすることに決定したが韓長官、宮島通譯官は李堈公殿下と共に兩殿下に御隨行東京に直行し松寺次官代理は神戸より直に歸鮮のはずである、なほ兩殿下には當分東京に御滯在の上故李王殿下御二年祭前には御歸鮮のはずで多分本月下旬になる御豫定である（寫眞は李王同妃兩殿下）

平壤臭水子間の長距離飛行
四月廿日から決行

平壤飛行隊の平壤臭水子間四百キロメートル編隊長距離飛行は愈來る廿日より五月二日までの十三日間にわたり決行されることになつたが、中二班は單に兩地間を往復するに過ぎないが一班は同地において大連附近に駐箚する諸部隊と連合演習を行ふこととなつて居るなほ實施の際は萬一をおもんぱかつて海上に着水しても五時間乃至六時間の浮游に堪ゆる汎を取付けることになつて居る飛行日程および搭乘者左の如し

▲第一次 十五日往航二十四日、歸航二十五日

第一班（三機）

	操縦士	同乘者
往航	中井大尉	川本中尉
歸航	百武中尉	三木少尉
往航	中山曹長	札本曹長
歸航	宮崎曹長	土井軍曹
往航	中林特務曹長	陰井曹長
歸航	坂井伍長	磯村少尉

▲第二次 往航二十七日、歸航二十八日

第二班（三機）

	操縦士	同乘者
往航	金谷特務曹長	多田曹長
歸航	城寺中尉	西岡少尉
往航	高橋曹長	佐藤少尉
歸航	則安曹長	橋本中尉

連合演習班

▲往航廿四日、歸航廿九日

	操縦士	同乘者
往航	金澤少尉	石川大尉
歸航	市丸中尉	坂本少尉
往航	尾形特務曹長	
歸航	山崎曹長	金井中尉
往航	小川軍曹	
歸航	安東特務曹長	

佛飛行士六日出發
印度支那へ

【立川電報】フランス飛行家コスト大尉、ルブリ中尉は一日立川町飛行第五聯隊を訪問し飛行機の一部借用につき當局と打合せを行つた使用機は聯隊のまゝ檢閲より當地に輸送されたが組立に二日を要しその上で試驗を行ひ六日頃一氣に印度支那河內に飛翔してペリに向ふはずである

小包から生阿片
犯人一名のみ檢事局へ

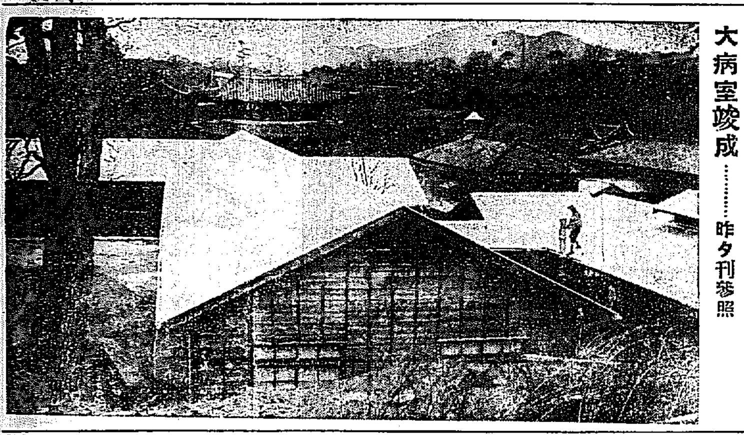
咸北道吉州郡鶴城面長興里四六農業金京俊（こ）は同地農朴錫柱と共謀し、去る三月十日自宅において朴錫柱と稱する者より生阿片二包一貫四百匁を二百五十圓で買受けこれをチヨツキの間に縫込み小包郵便物として吉州郵便局より京城府樂園洞一二〇七金某あてに送り出したが、チヨツキの小包としては目方が重すぎるので局員が不審をいだき開封の結果右の生阿片を發見、所轄署に屆出たので同署では各地に手配し犯人大搜査を行つてゐたが首謀者金京俊は數日前鍾路署にて逮捕、訊問の罪狀明確となつたので朝鮮阿片取締令違反として二日朝檢事局に送致された、共犯者は目下搜査中

宿泊料を踏み倒す

忠南瑞山郡生まれ崔基萬（こ）はかねて軍事金募集と稱して各地をはいかい多額の金品をせしめてゐる者であるがこの程西大門町二丁目某旅館に滯在、宿泊料三十圓を踏み倒して行方を晦ましたことあとにて同人の所爲と判明その筋では目下嚴探中である。

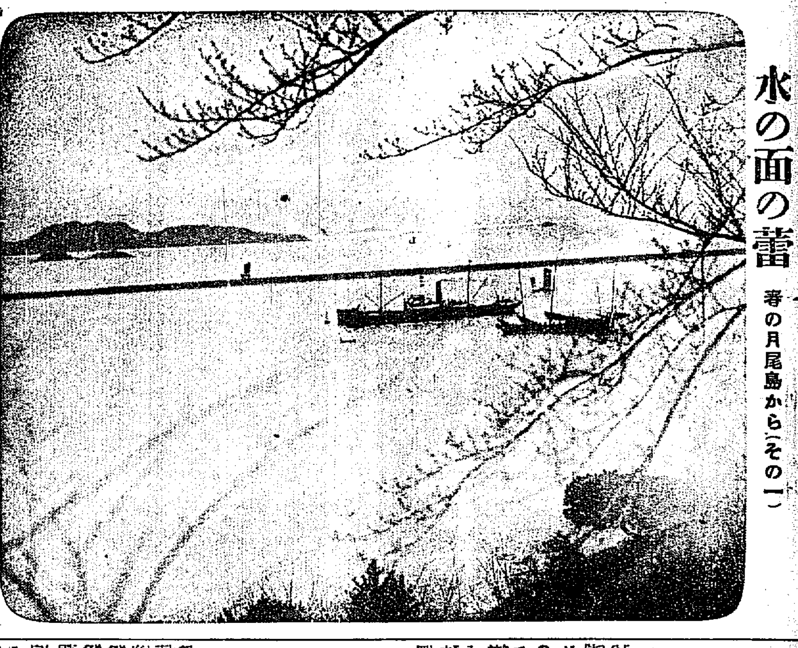
田村育英社愈よ認可
事務所は妙心寺內に

京城の富豪田村みね女が育英事業に私財五萬圓を投じた事は既報したが財團法人田村育英社はこの程認可を得、事業を開始する事となつた、事務所は京城長沙洞一八三妙心寺出張所內で理事に田村みね、松寺竹雄、佐々木四方志、赤木萬次郎、高見理事、監事に戎能義重、平岡光三郎、評議員、高橋理吉、秋山せき、大西久藏諸氏が就任した



大病室竣成……昨夕刊參照

水の面の蕾
春の月尾島から（その一）



吊された嬰兒死體
母親の怪しい申し立て

【東京電報】二日午前十一時三十分頃赤坂區青山六の一〇三青山署臨時高等係巡査玉造盛の妻いと（こ）が長女まさ（こ）長男勝三（こ）を茶の間四疊半に寢かせつけ買物に出て歸宅すると勝三は麻繩で絞殺されてなげしにつるしてあつたと青山署に屆出中の夫に電話で知らして來たので青山署は直に調査に着手したが或はいとが眠つて勝三を落して死に至らしめた後あはてゝ夫への申譯から虛僞の屆へにおよんだものでないかと見られてゐる

危篤者も多數あり
新發田聯隊の中毒騷ぎ

【新發田電報】新發田歩兵十六聯隊は三十一日夕食にナマスの副食物をとつたが中毒患者百三十名を出し生命危險のもの多數ありと傳へられてゐるが聯隊では秘密にしてゐる

十六歳前後の美少女ばかり
朝鮮ではじめてのバスの女車掌の試驗

新しい婦人の職業であるバスの女車掌試驗は二日午前十時から京城府廳で行はれた、應募者は七十五名あつたが、出てきたのは五十九名、皆十七歳前後の美少女で算術國語の筆記試驗と口頭試問を試驗官の內務係員から受けた、內鮮語に通じてねばならぬ條件なので鮮人が大部であつたが、中に二人の內地人があつた、普通學校卒業生が多く、一人だけ女子高普の學校卒業生があり、皆雄々しく生活戰線に乘りだす決心で明快な答案を出し、何れを採用するかに、わか試驗官を迷はせて居た、採用人員は第一期十二名で一週間後に決定する、運轉手も六十三名の應募者があり近く試驗を行つて十二名を採用する事となつた

地主から損害賠償
請負人に要求

【平壤特電】府內中平岩嚴氏の請負にかゝる中和郡唐井面同和水利組合灌漑區域四百町歩の內二百町歩の工事は昨年六月三十日までの期限であつたが工事が遲れて期限內に百五十町歩竣成したのみでこの百五十町歩も工事が不完全であつたゝめ半作しか收穫がなく、地主は十萬圓の收穫を擧げる豫定が僅に三萬圓の收穫があつたのみで七萬圓の損害を被りたる外、堤防に使用した砂代七千圓合計七萬七千圓の損害を被りたるとして地主數名は中平岩嚴氏を相手どり平壤地方法院に損害賠償の訴訟を起こした

京城名物 文化まんぢう 大和軒

高級タクシー メーター附 二哩 一圓
最新式自働車到着大增車 自働車が奇麗デ料金が正確
長谷川町 京城自働車 電本一〇四・二七四四

京大柔道部昨夜入城
けふ朝鮮軍と對抗戰

京都帝國大學柔道部選手錦金四段以下廿五名は、二日午後七時京城着列車で入城したが入城後直ちに、朝師に於てオール京城軍とメムバーの交換を行つた選手の京大軍を迎へて對戰するオール京城軍は、三日午後一時から府內長谷川町講道館支部に於て試合するはず、何れも四段五段の猛者ばかりであるから本年掉尾の壯觀を期待されてゐるメンバーは次の通りである

京城軍
大將 五段 岡野伸雄
副將 同 古澤勘兵衛
同 佐藤政太郎
四段 小玉達夫
同 大野二郎
同 井上勝一
二段 岡本金次郎
同 桑名吉十郎
同 飯島武一
同 木谷重利
同 菅□三郎
同 折口貞□
初段 松本清□
一級 笠松房之助
同 山口勝三

京大軍
大將 四段 錦金國一
副將 同 青木直行
三段 井上聡治
同 高橋□□
同 影山舜男
同 山根登一郎
同 齋藤文郎
同 木村孝一
同 矢島成一
同 久保明
二段 坂梨仁
同 富永□雄
同 中村□□
同 江藤□智
同 戸高博

六大學リーグ戰日割
廿一日から開始

【東京電報】六大學春期リーグ戰日割は左の如く決定した

四月二十一日 明大對法政 早大對立教
二十二日 明大對法政（二回戰） 早大對立教（二回戰）
二十五日 慶應留守軍對立教
二十八日 立教對帝大 早大對法政
二十九日 立教對帝大（二回戰） 早大對法政（同）
三十日 慶應（留守軍）對明治
五月一日 慶應留守軍對明治（二回戰）
四日 慶應留守軍對法政
五日 明治對立教 早大對帝大
六日 明治對立教（二回戰） 早大對帝大（同）
九日 慶應留守軍對早大
十日 慶應留守軍對早大（二回戰）
十二日 明治對帝大 法政對立教
十三日 明治對帝大 法政對立教（二回戰）
十六日 慶應留守軍對帝大
十九日 法政對帝大 早大對明治
二十日 法政對帝大（二回戰） 早大對明治

慶應留守軍對法政の二回戰は無し慶應留守軍の試合はリーグの順位を定むる成績に加算することなし

靜中勝つ 5―2
對松山商業戰

【大阪電報】松山商業對靜岡中學は二日午後〇時十分松本朝榮の先攻で開始五對二で靜岡中學勝つ閉戰二時五分。

高松勝つ 2―0
愛商敗る

【大阪電報】高松對愛知商業野球戰は高松先攻にて二日午後二時十分開始二對〇で高松快勝す閉戰四時五十分

稻門惜敗 1A―0
對駿台戰

【東京電報】稻門對駿台野球部第一回戰は一日午後二時四十分より神宮球場にて稻門先攻で開始駿台第一回に一點を入れた後は兩軍とも得點なく遂に一A對〇で駿台勝ち同四時二十分閉戰▲バッテリー 駿台（安田井川）稻門（淺倉永見）

安部君棄權
ロット選手權を握る

（オーガスタ一日發）一日の南太西洋沿岸トーナメント庭球大會決勝戰でロットと對戰する筈の安部民雄選手は足部の負傷に化膿したため出場不能となり棄權したのでロットは選手權を獲得した

債券相場

此相場は仲値ですから、實際の賣買値は十圓券十五錢上下五圓券十錢上下でありますす 本月十四日迄此相場

●印 來月くじ

各種案內御申越次第贈呈 債券送付 一口 十三錢

回別	五千圓附	三千圓附	二千圓附	五百圓附	百圓附	三千圓附	千五百圓附	千圓附	二千圓附
回別	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仲値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
抽籤月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京日比谷（日本勸業銀行構內） 日本勸業證券株式會社 電話銀座二四三三五―八 振替東京一八番

九州支店 福岡支店 福岡市博多下奥服町 電話福岡九五五〇番

推奨 六分四厘以上の利廻となる貯蓄に絕好の小券あり至急御投資を御勸めす、御照會即時返信差上ぐ

年數御相談 恩給金融 秘密嚴守○證書絕對責任手許保管○現金は全額即時迅速に取引○前利子一切なし○新規取引利子特別勉強○手數料頗る割安○御利用御希望の方は年齡等詳細記入の上封書を以て直接至急御照會を乞ふ 誠實一貫 親切第一 仁川府宮町九拾 森田耕

弊工場技工レンズハ外國製品ト絕對遜色ナキ自信ヲ以テ居マス 何卒御安神ノ下ニ御用命ノ程御願致マス
御指定 赤十字病院 鐵道病院 江頭眼科 金井眼科
京城府本町二丁目 大學堂眼鏡店 電本二三七五番 振替京城一二一九番

土木科生徒募集 晝、夜、各部五十名宛入學締切四月十二日 目的・水利鐵道一般土木ニ從事スル技術者ノ養成 入學資格高等小學校（又高普二年）卒業以上 京城府明治町二ノ八二 京城工學院

電信科生徒募集 ○高等小學校卒業程度 年齡十四歲以上十八歲未滿 人員三十名 〆切四月三十日 詳細ハ郵券二錢封入本所ニ照會スベシ 朝鮮總督府鐵道從事員養成所

模範 全乳 李王職御用 總督府御用病院 太正醫科肥牧場主 東亞牧場（電本五二二番）

京日案內 五號活字十五字詰五行一回 每回五拾錢 匿名ハ一回毎に弐拾錢增 料金ハ前納ノ事

講師 招聘數學、國漢（午前）法律（夜間）の自信ある講師を至急求む 姓名在社

女中 入用 電話交換女子入用 見習にても差支なし 京城府南大門通 笑門旅館

小使 入用 但し四十才以上の夫婦者 電話龍山六五〇番 龍山生□病院

恩給 最長期間立替即時取引 手續簡易其他手形 土地家屋電話 京城若草町九□ 丸□商會

齒科 醫術試驗準備講習會開始 每日自午後七時至十時 土日曜休 京城府貫鐵町二ノ八 京城齒科研究會

賣地 閑靜なる住宅適地 總督府北方約五丁 御希望の方は光化門本局三八番へ

下宿 閑靜なる場所 南山町三ノ一二 賀□家

讓渡 南山町高燥地 三百餘坪 希望者は電話本局六九五番

靴は 明星靴堅牢無比 京城南大門通二丁目

店員 要保證人 京城本町三丁目

讓店 本町四、高價なる買入れ 至急 姓名在社

敎生 上級見習生入用 十四歲より二十歲 京城本町三丁目

恩給 京城府光化門通 □□

乳母 至急入用 御近所なれば通ひ乳母にても宜し 本町二丁目 □□□ 大郎

小説 明石將軍（8）

白石實三作
多田穀三畫

御用商人を通じて

あやしいロシアの探偵を、明石がまいたのは、一つの秘である。明石の逃ずぐれて機敏なことを語る一つの例である。

『彼の身邊はロシア官憲に怪しまれてゐる』明石はさう直感すると共に、累を日本公使館と並びに秋月公使におよぼすことを恐れて旅館の方へ引移つたのであつた。

そこで、彼は、まづ變裝の稽古をした。前線の從卒を思ふと、時には敵國に入り込まねばならぬ場合もあらうし、いづれにしても日本人ではめだつて困る。そこで是非もあらうに、西洋人になりすまさうと決心したのである。さひはひなことに、彼の容貌はどことなく歐人くさい。茶色がゝつた眼、鮮明な物々しい面魂、それに赤ちやけた付けひげでもつければ、東洋人とは見えない。その上、彼の骨格はたくましく、身長は高く堂々たる押出し、日本人には珍しい立派な體格のとれた體である。

なほその上に、彼は、語學にかけては天才である。佛語を基礎として、英語、獨語、露語、自由にあやつれる。そればかりか、ある一ヶ國語に通じようとしてその國に入れば、僅々一二ヶ月でその、國の言葉を操縦出來る才能を持つてゐる實に稀に見る膽略の人でしかも剛大に、組織的精神に富み、至誠至忠、これを昔の古來の武人に比べても、其膽人にも遜色を見ないやうな人物なのであつた。

その夜も明石は、璣内の島に蟄んだ旅館で、ひそかに手紙を認めてゐたが、書き終ると、給仕を呼んだ。

『御用でございますか？』

若い給仕が、室の入口に立つと明石は、手紙を渡した。

『これを急いで、宛名の町の人まで屆けて來てくれ』

給仕は、かしこまつて、すぐと驛車で行つたが、まもなく戻つて來た。

『お客樣、宛名の家はあるにはありましたが、こんな人は知らないと申して手紙と、錢につき返されてしまひました』

『なに？こちらを知らないといつたか……はてな、そんなはずはないのだがなあ……』明石は不審さうに頭をひねつた。先方は、露都の兵器工廠へ材料を買込む商人で、現に先日會つた職工から紹介狀を貰つてそれを封じ込めてやつたはずである。それを知らないといつて突き返すとはどうしたわけであらう？

しかもたしかに手紙の封を切つた樣子もあるのに！明石が不審してゐるところへ、さつきの給仕がまたコツ〳〵とノツクして來た。

『お客樣、妙な人もあればあるものですなあ』

『？』明石は、默然る。

『でも、さうでせう、さつきは、現に私に向つて、こんな人は知らないといつた商店の主じが、自分であなたをたづねて來ましたよ』

『なに？自分でやつて來た？』

『はい、眞晝で――いかゞ致しませう、お通し致しませうか？』

『とにかく、會はう』

で、まもなく給仕に案内されてくる訪問者を見ると、やはり店主なので

『なあんだ、やつぱし君だつたのか？』と明石は笑つた『君なら君と最初からさういへば、よいのに……』

『いけません―いけません！』店主は手をふつてさゝやいだ『それでなくても、ロシア政府の警戒は非常なものです。……さすが、明石さん、喜んでください、兵器廠の職工とは、すつかり連絡がとれて、だん〳〵手廣く買収にかゝります』

『ぜひ、頼む、費用はいくらでも支出するからなあ』

新らしい出版物

◇我が殖民地（濱田恒之助、大山長資共著）著者は人も知る殖民學者にして曾つて共に關東州、滿洲、朝鮮、臺灣等を視察し殖民地事情を敍したものが即ち本書である。なほ著中兩者が互に意見の相容れない點は特に署名して討論會のやうな奇觀を呈してゐる所もあるが之は互に他の意見を尊重する精神に出たものであらう。綜合的に我國殖民地の實相を常識的に理解する上に大なる功績があるものと云ふべきである（定價八十錢東京神田富山房）

◇實業時代（四月）本月から普通號の頁數を二百頁に增頁し更に內容に向つても一層嚴選を加へてゐる（金十錢東京市日本橋區元大工町實業時代社）

◇實業之日本（四月）特輯號商店振興號と稱し學理と實際とを集錄し體裁を呈す（五十錢東京日本橋區元大工町其社）

◇殖民（四月）諸名士が日紀の一讃を解放した『海外生活の思ひ出』は教訓的であり浪漫的で好讀物たるべく『亞國の國籍法と日本人』はアルゼンチンに渡航せんとするもの丶是非讀まねばならぬもの、又『八個年の收支實錄』は神戶久一氏の爲らざるブラジル獨立農の體驗を敍し大殖氏の『新生の鄕士を求めて』その他と共に大讀物ぞろいである（五十錢東京市麹町下六番町日本殖民通信社）

◇詩歌（復活號）大正七年十月まで前田夕暮氏の主宰してゐたもので、長らく中絕してゐたが、今回また同氏らによつて復活されたものである『蔭葉以前に萌れ』といふ標語の下に詩歌における直心を主張してゐる。本號には、久松潜一氏の研究論文初め、夕暮氏を中心に、かの子、翠子、莊亮、第二郎、榮井、露風、庫基、光太郎諸氏の華々しい歌論、詩歌を集めてゐる。特に夕暮氏の新短歌と號して二十六首調の試作を發表してゐるのは注目される（普通號五十錢本號特に七十錢東京市外西大久保二八白日社發行）

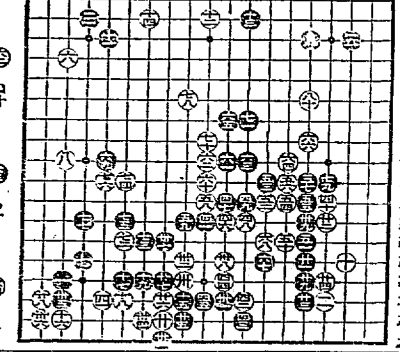
▲文學戰線（四月）三十五錢東京府杉並町高圓寺六一一其社▲法律春秋（三月）二十錢東京市牛込區矢來町四、南郊社▲東洋（四月）五十錢東京市牛込區（內）幸町二ノ二[illegible]協會▲佛教思想（四月）三十錢東京市芝區宕町三ノ二其普及會▲農民（四月）二十五錢東京府北多摩郡砧村北見谷農民文藝會▲佛蘭西文學（四月）三十錢東京府井荻町上荻窪四三七、青郊社

◇源平盛衰記上　物語日本史大系の第一篇で紙數は五百五十頁である。源平盛衰記は平氏の勃興によつて起し平氏が敗滅して源氏の天下となる迄の史實の裏表を詳說した有名な軍記物語である。平氏は源氏の閉息せるに乘じて權勢を極めたので衆怨の府となつた。後寬や頼政などの反は幸に平氏の勝利に歸したが驕る平家久しからず頼朝義仲等が兵を擧ぐるに及んで平氏は脆くも各地に敗戰し今やうやく京都から逃げ出さねばならぬやうになつた。之が上卷の大要で之に詳細した逸話俳說などが遺れなく網羅してある。なほ從來の源平盛衰記の版本には甚しい誤脫があつて一二行に亘る脫句すらもあるがこの本は足利時代の古寫本を對照してこの難を免かれてゐる。四六版豫約價一圓半（東京牛込區早稻田大學出版部）

出版物納本（三十日）

▲邦文の部▲京畿道警察報（第六五號）京畿道警察部▲朝鮮新生（第一四號）ウイリヤム、シ、ケール▲京城商工會議所月報（第六號）林菊次郎▲忠清北道報（號外）忠清北道▲會報（第五號）群山愛島會▲群山商報（第一一六號）群山商業會議所▲江原道報（第六一號）江原道▲錦江（第五號）江景公立商業學校▲實察之統營（第二號）統營實業協會▲平安南道報（號外）平安南道▲平安北道報（第一二號）平安北道▲成鏡北道報（第七九一號）咸鏡北道▲諺文の部▲同助（第一三號）吳祥根▲教會通信（第一九號）慶北老會▲天主教會報（第一三號）大邱天主公教青年會▲南山郡歌（第四八號）南山郡▲歌曲選 鍾城券番▲壬辰文丙子錄 朝鮮博文社▲密陽朴氏糾正公派世譜 朴蕭誠▲無雙唱歌集 美文堂

圍碁新局（四）

先番 田村 小島一


讀者らん

▲戀愛物萬能の新聞小說界に『明石將軍』の出現は嬉しい作者よどうぞ付まないやうにして下さい（新聞小說黨）▲明石が探偵をまく所は聊かあつけない然しこういふ種類の小說を採用した貴社の英斷を喜びます（水原生）▲モボモガ全盛の折から小說に『明石將軍』をお載せになるなぞ國分戯社も皮肉ですわねでも發刊とても待ち遠い思ひで拜見いたしておりますのよどうぞ長く續けて下さるやうに作者に御願ひして下さい（光▲子）明石將軍は半島とは殊に關係が深い歷史の繪巻に特した郷のある生存者も京城には隨分少くない事と思ふ、われ〳〵は筋の進行に最も深い興味をもつものである▲（京城子）御紙小說『明石將軍』愉快に拜見いたしております▲スケールの大きいと、人物の特徵があること筋の運びのテキパキしてゐること、更に挿繪にも敬服（しれんじん）▲モスクワの勞働者をあやつる明石の快腕はさて今度はどこへ伸びるか世ナポレオンよ活躍せよ（非露留兩班生）

小鳥 カナリヤ 十姉妹 各種 洋鳥 牧野小鳥店 京城明治町二丁目 電本三五〇八番

演藝案內

大正館
二十九日より 帝キネ特作 臨時的作 ……浮氣線大喜劇 松竹提供 岡村文子、吉川満子 主演 四卷 星光 ……監督 枝正義郎 原作 多島泰三 ……特作 德川の天下泰平なるも所にひそむ江戶の助六 ……任俠勘べ 六家各
任俠五十三次 九卷
痛快溌剌波瀾萬丈の時代劇 ……
中村翫若、中村梅之助、乃木秋子 主演 ……
村の花嫁 八卷
新井淳、飯田蝶子、田中絹代 ……

京龍館
卅一日より特別名畫週間 日活現代劇部作品
赤切符 全五卷
主演者なしの列車喜劇 ……
ウキリアムフオックス 大特作 ……
忠次御用篇 全十卷
伊藤大輔作品 日活時代劇部 大河內傳次郎、伏見直江、澤蘭子 ……

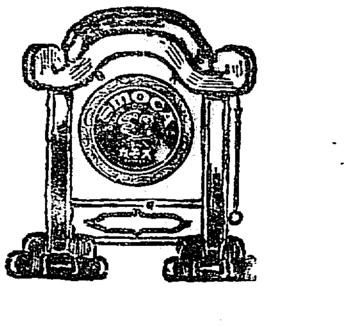
中央館
四月二日より特別大興行 マキノプロダクション特作
現代劇 黑怪流星 全七卷
武井龍三、大林猛雄 ……
時代劇 雪の夜話 九卷
月形龍之介、松浦築枝 ……
○マキノプロダクション特作映畫
△月形龍之介映畫を長らく問題となつてゐましたが今後もマキノ部に給ふと決定しました

喜樂館
春季超特別大興行式日より封切 日活時代劇
錦旗を楯に 七卷
大河內傳次郎、高橋瑳之助、市川百之助、松平 ……

浪花館
三月卅一日より
東西落語三人會
出演者 落語（三遊亭樂之助）落語（桂春雀）手踊（柳家三郎）……
妖婦……結婚二重奏 全部
監督 阿部豊 原作 菊池寛 ……

各道郡御指定 ニノミヤ式石油發動機 ……

ニノミヤ式 4,5,6,8,10,15,20 馬力 在庫品豐富 【型錄進呈】
地方特約店募集 京城府西界洞 京城鐵工所 京城驛前 京城鐵工所營業部

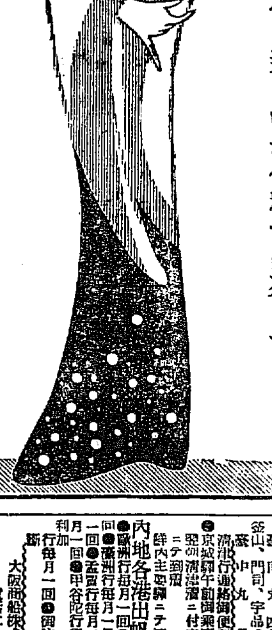

のみのコバタ
齒磨スモカ
有趣 特許 三日見ぬ間に白かな歯 南無妙法
定價 十五錢
178

優良な技師に依て作られた優良な品

お化粧順序 カテイ石鹸 クラブ洗粉 クラブつぼみ クラブ白粉 クラブ頬紅 クラブ粉白粉 美人

クラブ白粉

ならば……
自由自在に美しいお化粧が出來ます



顔のアレぬ……珍しい石鹸

カテイ石鹸

四十餘年の經驗から生れた日本で初ての科學的純良石鹸……顔のアレぬカテイ石鹸

資本金 一億五千萬圓
株式會社 安田銀行 京城支店
本店 東京市麹町區永樂町二丁目
支店 釜山 仁川 平壤 其他內地百四十二ケ所

比類なき優良の生地
比類なき獨特の加工
比類なきその履き心地
十人十色が皆ほめる

國譽足袋

先づ色を 香りを 味わひのある えも云われぬ良いお酒
朝の花
朝鮮酒造株式會社

大阪商船株式會社仁川支店
●關門神戶大阪行（群山木浦經由）蘇州丸 四月九日 山東丸 …… 北京丸 …… 朝鮮丸 ……
●名古屋、清水、東京行 金山丸 ……
●大連行 大智丸 四月八日前九時
●長崎、鹿兒島、三角行 大智丸 四月十四日
元山出帆 …… 清津、雄基行 ……
●京城驛午前御乘車、元山御乘船
內地各港出帆主要航路
●歐洲行毎月一回●南米行毎月一回●濠洲行毎月一回●北米行月二回●孟買行毎月二回●南洋行毎月一回●甲谷陀行毎月一回●紐約行毎月一回●御注意へ船客御利用
大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇、二一一番
京城代理店國際運送株式會社支店 電話一二〇七、一五九七番
專賣仲次 仁川本町一 ……
專屬荷扱 仁川港町六 ……

仁川出帆
山下汽船 川崎汽船
四日市、名古屋、清水、京濱 ……
協同海運株式會社

森信汽船 仁川出帆
……
森信汽船株式會社 仁川 電話長八二〇番

仁川出帆
……
高杉回漕部

嶋谷汽船 仁川出帆
大連天津直行 ……
裏日本北海道 樺太行 ……
鎭南浦行 ……
嶋谷汽船株式會社 仁川出張所 仁川本町四丁目 電話五八五・五〇一〇八